

横手市まちづくりアンケート

2017

第2次横手市総合計画の進行管理と行政評価制度の導入による新たな行財政マネジメントサイクルの一環として、各施策の成果や達成の度合い、また、市民からみた各施策の重要度・満足度を把握することを目的としたアンケートです。

結果報告書

平成 29 年 10 月

内容

I	調査の概要	3
1	調査の概要	3
2	回答者の属性	4
3	その他	6
II	アンケートの結果	7
1	住みよさ・定住意向について	7
2	健康・地域福祉について	13
3	学び・スポーツについて	21
4	暮らし・環境について	31
5	産業・雇用について	39
6	雪対策と道路交通について	45
7	移動・公共交通について	47
8	まちなみ・景観について	50
9	上下水道について	51
10	公園・緑地について	52
11	地域社会・コミュニティについて	54
12	男女共同参画社会について	55
13	各分野への「重要度」「満足度」	56
14	自由記載欄で寄せられたご意見等	71
	(1-1 子育て支援の充実)	71
	(1-2 健康な心と体づくりの推進)	72
	(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進)	72
	(1-6 福祉を支える人材の確保と育成)	74
	(2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実)	75
	(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備)	75
	(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進)	76
	(2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進)	77
	(2-5 よこての伝統文化の継承と再発見)	78
	(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進)	78
	(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全)	80
	(3-3 災害に強いまちづくりの推進)	80
	(3-4 循環型社会の一層の推進)	81
	(4-1 魅力ある農林業の振興)	81
	(4-2 活気ある商業の振興)	82
	(4-4 観光・物産資源の発掘と発信)	82
	(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策)	83
	(5-1 雪国の快適な暮らしの実現)	86

(5-2 快適な移動空間の実現)	88
(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実)	89
(5-4 地域拠点整備による市街地の活性化)	91
(5-5 安全で安心した水道水の供給と生活排水の適正処理)	92
(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)	92
(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)	93
(6-2 男女が尊重し合う社会づくり)	93
(6-3 情報を共有する環境の整備)	94
(7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進)	96
(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)	96
(7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実)	97
(横手市の取り組み全般について)	100
(アンケートについて)	106
(その他)	108
III 巻末資料	112
1 アンケート調査票	112

I 調査の概要

1 調査の概要

■ 調査の目的

第2次横手市総合計画の進行管理と行政評価制度の導入による新たな行財政マネジメントサイクルの一環として、総合計画に位置付けられている各施策の成果や達成の度合い、また、市民からみた各施策の重要度・満足度の把握を行うことを目的とします。

■ 調査の設計

- ・調査対象：横手市在住の満18才以上の市民（平成29年6月9日現在）
- ・抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出（地域・男女・年代の層別サンプリング）
- ・標本数：3,000人（想定回収率36.5%）
- ・調査方法：郵送による無記名回答調査
- ・調査時期：平成29年6月9日から7月2日まで
（ただし、7月10日到着分までを集計対象としています）

■ 回収の状況

- ・発送数：3,000通
- ・回収数：1,217通
- ・回収率：40.6%

2 回答者の属性

イ. 性別

	発送数	回答者数	(回答率)	回答者比率
男 性	1,499人	546人	(36.4%)	44.9%
女 性	1,501人	658人	(43.8%)	54.1%
無回答・重回答		13人	(-)	1.1%
合 計	3,000人	1,217人	(40.6%)	100.0%

ロ. 年齢

	発送数	回答者数	(回答率)	回答者比率
10歳代	177人	40人	(22.6%)	3.3%
20歳代	291人	71人	(24.4%)	5.8%
30歳代	450人	156人	(34.7%)	12.8%
40歳代	479人	166人	(34.7%)	13.6%
50歳代	581人	244人	(42.0%)	20.0%
60歳代	764人	373人	(48.8%)	30.6%
70歳代以上	258人	154人	(59.7%)	12.7%
無回答・重回答		13人	(-)	1.1%
合 計	3,000人	1,217人	(40.6%)	100.0%

ハ. 現在お住まいの地域

	発送数	回答者数	(回答率)	回答者比率
横手	1,182人	449人	(38.0%)	36.9%
増田	231人	96人	(41.6%)	7.9%
平鹿	403人	146人	(36.2%)	12.0%
雄物川	301人	133人	(44.2%)	10.9%
大森	197人	81人	(41.1%)	6.7%
十文字	417人	181人	(43.4%)	14.9%
山内	110人	55人	(50.0%)	4.5%
大雄	159人	65人	(40.9%)	5.3%
無回答・重回答		11人	(-)	0.9%
合 計	3,000人	1,217人	(40.6%)	100.0%

二. 職業

	回答数	回答比率
1. 農林業	121	9.9%
2. 自営業（商工業、サービス業など）	86	7.1%
3. 会社員（常勤）	287	23.6%
4. 会社員（パート、アルバイトなど）	183	15.0%
5. 専業主婦（夫）	119	9.8%
6. 公務員、団体職員	118	9.7%
7. 学生	38	3.1%
8. 無職	212	17.4%
9. その他	27	2.2%
無回答・重回答	26	2.1%
合 計	1,217	100.0%

ホ. 家族構成

	回答数	回答比率
1. 一人暮らし	91	7.5%
2. 夫婦のみ	232	19.1%
3. 二世帯同居（親と同居）	322	26.5%
4. 二世帯同居（子と同居）	266	21.9%
5. 三世帯同居	244	20.0%
6. その他	42	3.5%
無回答・重回答	20	1.6%
合 計	1,217	100.0%

ヘ. 同居家族内における高校生以下の子どもの有無

	回答数	回答比率
1. いる	326	26.8%
2. いない	853	70.1%
無回答・重回答	38	3.1%
合 計	1,217	100.0%

ト. 同居家族（自身を含む）における 65 歳以上の方の有無

	回答数	回答比率
1. いる	765	62.9%
2. いない	411	33.8%
無回答・重回答	41	3.4%
合 計	1,217	100.0%

3 その他**チ. インターネットの利用状況**

	回答者数	回答者比率
1. 利用している	906人	74.4%
2. 現在は利用していないが、今後利用したい	80人	6.6%
3. 現在も利用していないし、将来利用する見込みもない	212人	17.4%
無回答・重回答	19人	1.6%
合 計	1,217人	100.0%

リ. 市の情報を知る手段（主なもの3つまで選択）

	回答者数	回答率
1. 市報よこて	1,116人	91.7%
2. 市のホームページ	230人	18.9%
3. 市議会議員や市職員など市政運営に関わりのある人	105人	8.6%
4. 市発行のチラシや回覧	672人	55.2%
5. 横手かまくらFM（ラジオ）	167人	13.7%
6. 市のフェイスブック	39人	3.2%
無回答・重回答	36人	3.0%
合 計	2,365人	194.3%

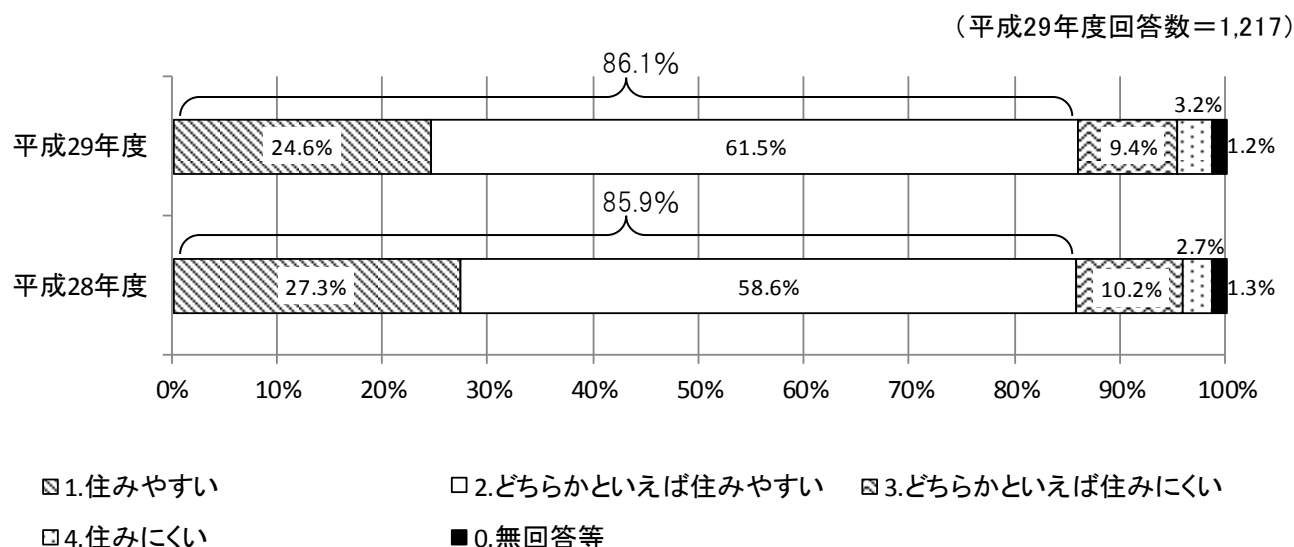
※複数回答のため回答率は100%を超えます。

II アンケートの結果

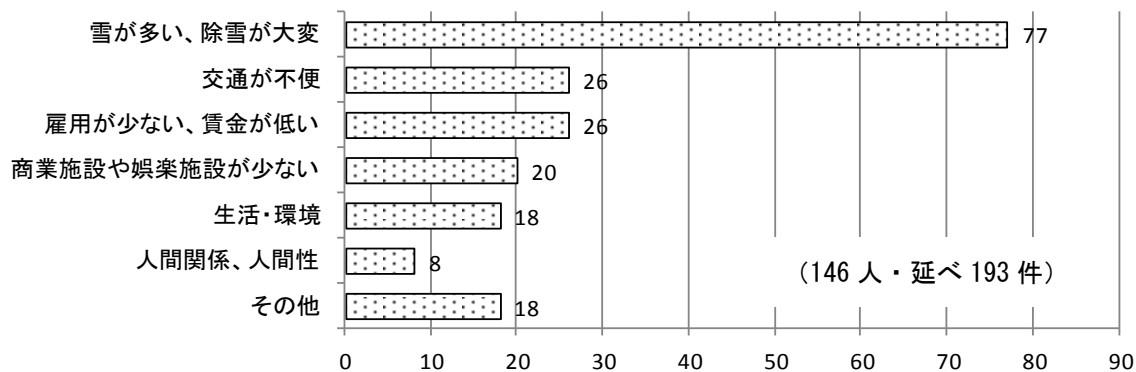
1 住みよさ・定住意向について

問1. 横手市は住みやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

- 全体の86.1%が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答。
- 前回調査と同じ傾向。
- 住みにくい理由の主なポイントは、雪、交通、雇用、商業・娯楽施設。



【住みにくいと思う主な理由】… 「3」「4」と回答した人154人中146人が記載



【住みにくいと思う主な理由（前ページ下段）の補足】

- 生活・環境について
 家賃が高い / 物価が高い / 公共施設が遠い / 税金が高い / 空き家が多い
 公共料金が都市部よりも高い / 臭いで窓が開けられない / 近くに店がない など
- 人間関係、人間性について
 意見を意見と聞かず文句と受け取る / 事なかれ主義が多い / 助け合いがない
 個人情報や噂話として広めすぎる / 人間関係がよくない / 大人のいじめ
 閉鎖的 / よそ者に対してウェルカムでない
 考えていることを表現するのが、どちらかという苦手な方が多いと感じている。
 人付き合いでストレスを溜め込んでしまうことが、住みにくさにつながるのでは？
- その他
 若者が少ない（進学先がない） / 平凡すぎる / 栄えていない / なんとなく
 公共施設の老朽化 / 高齢者に優しくない / 地域のバラつきが多い /
 合併後、すべてが悪くなっているように感じる / 近所がうるさい など

【表の読み方】

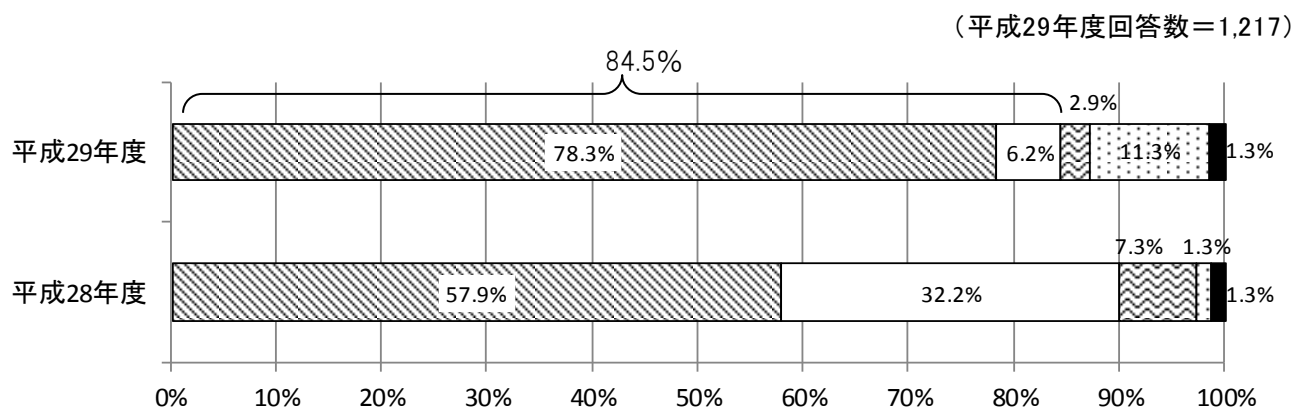
男性の21.1%（男性546人中115人）が「住みやすい」と回答

(単位:「人」「%」)

		1 住みやすい		2 どちらかといえば住みやすい		3 どちらかといえば住みにくい		4 住みにくい		無回答等		総計
性別	男性	115	21.1	350	64.1	54	9.9	24	4.4	3	0.5	546
	女性	182	27.7	394	59.9	61	9.3	15	2.3	6	0.9	658
	未回答	2	15.4	5	38.5		0.0		0.0	6	46.2	13
	総計	299	24.6	749	61.5	115	9.4	39	3.2	15	1.2	1,217
年齢	10歳代	12	30.0	26	65.0	2	5.0		0.0		0.0	40
	20歳代	20	28.2	41	57.7	2	2.8	5	7.0	3	4.2	71
	30歳代	28	17.9	105	67.3	14	9.0	9	5.8		0.0	156
	40歳代	40	24.1	102	61.4	17	10.2	6	3.6	1	0.6	166
	50歳代	52	21.3	149	61.1	33	13.5	8	3.3	2	0.8	244
	60歳代	96	25.7	232	62.2	35	9.4	7	1.9	3	0.8	373
	70歳代以上	50	32.5	89	57.8	12	7.8	3	1.9		0.0	154
	未回答	1	7.7	5	38.5		0.0	1	7.7	6	46.2	13
	総計	299	24.6	749	61.5	115	9.4	39	3.2	15	1.2	1,217
地域	横手	124	27.6	266	59.2	45	10.0	12	2.7	2	0.4	449
	増田	19	19.8	64	66.7	11	11.5	2	2.1		0.0	96
	平鹿	25	17.1	99	67.8	17	11.6	3	2.1	2	1.4	146
	雄物川	35	26.3	82	61.7	12	9.0	4	3.0		0.0	133
	大森	19	23.5	47	58.0	5	6.2	8	9.9	2	2.5	81
	十文字	44	24.3	118	65.2	14	7.7	4	2.2	1	0.6	181
	山内	17	30.9	26	47.3	8	14.5	3	5.5	1	1.8	55
	大雄	15	23.1	43	66.2	3	4.6	3	4.6	1	1.5	65
	未回答	1	9.1	4	36.4		0.0		0.0	6	54.5	11
	総計	299	24.6	749	61.5	115	9.4	39	3.2	15	1.2	1,217

問2. これからも横手市に住み続けたいと思いますか。(〇はひとつ)

- 全体の84.5%が「今の地域に住み続けたい」「市内の別の地域に移りたい(=横手市内には住み続けたい)」と回答。
- 特に78.3%が「今の地域に住み続けたい」と回答。



- 1.今の地域に住み続けたい(H28の選択肢は「1.ずっと住み続けたい」)
- 2.市内の別の地域に移りたい(H28の選択肢は「当分は住み続けたい」)
- 3.県内の別の市町村に移りたい(H28の選択肢は「どちらかといえば住みたくない」)
- 4.県外に移りたい(H28の選択肢は「住みたくない」)
- 0.無回答等

関連する自由記載 (抜粋)

- 私は今、市の援助支援なく会社員として働いています。しかし、横手にずっと住み続けると思うので、老後とか考えると不安なことが多いです。
(10歳代・女性・十文字)
- この先、ますます高齢化が進み、自身も歳をとったときに横手市に住んでいたいかと聞かれると「はい」とは言い難いです。自身の経済状況も将来不安がある中で、その時横手市が老人たちを支えられる体力があるのだろうかという見えない不安がよぎります。
(50歳代・男性・平鹿)
- 転居したばかりなのでよく分からない事ばかりですがずっと住み続けたいという気持ちは今の所ありません。お店等、閉店時間が早すぎです。(24Hがない)ガソリンスタンドも早い時間に閉まっているのでかなり不便さを感じています。
(40歳代・女性・山内)

横手市まちづくりアンケート

- 横手市にずっと住みたいと思っているので、子育て世代やお年寄りだけでなく、秋田に残っている若者や学生が住みやすく、働きつづけられる市であってほしいと思います。
(20歳代・女性・横手)
- 横手市全体を考えてみますと、住みよい街です。整備された道路、人情味あふれた市民、行政、ありがとうございます。
(70歳代以上・女性・横手)
- 横手市に住んで47年になりますが、交通産業、環境に恵まれて住みよい横手市でこれから続けてもらいたいと思います。
(60歳代・女性・横手)
- 横手市に来て20年になりますが、当初よりも、交通、病院、観光など、良くなってきた部分がたくさんあり、住みやすい町だと思っています。
(40歳代・女性・横手)
- 住みやすい横手市です。
(60歳代・男性・十文字)
- 横手市はとても住みやすく、居心地も良いと思っています。
(30歳代・女性・増田)

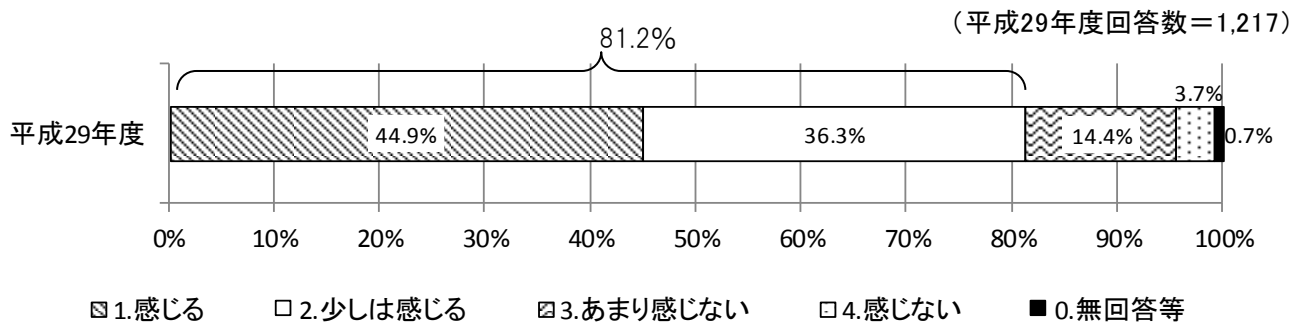
(単位:「人」「%」)

		1 今の地域 に住み続けた い		2 市内の別 の地域に移り たい		3 県内の別 の市町村に移 りたい		4 県外に移り たい		無回答等		総計
性別	男性	444	81.3	30	5.5	12	2.2	57	10.4	3	0.5	546
	女性	502	76.3	45	6.8	23	3.5	81	12.3	7	1.1	658
	未回答	7	53.8		0.0		0.0		0.0	6	46.2	13
	総計	953	78.3	75	6.2	35	2.9	138	11.3	16	1.3	1,217
年齢	10歳代	25	62.5	4	10.0	6	15.0	4	10.0	1	2.5	40
	20歳代	51	71.8	5	7.0	2	2.8	13	18.3		0.0	71
	30歳代	111	71.2	16	10.3	6	3.8	23	14.7		0.0	156
	40歳代	131	78.9	6	3.6	3	1.8	25	15.1	1	0.6	166
	50歳代	173	70.9	18	7.4	10	4.1	37	15.2	6	2.5	244
	60歳代	321	86.1	17	4.6	5	1.3	28	7.5	2	0.5	373
	70歳代以上	135	87.7	9	5.8	3	1.9	7	4.5		0.0	154
	未回答	6	46.2		0.0		0.0	1	7.7	6	46.2	13
総計	953	78.3	75	6.2	35	2.9	138	11.3	16	1.3	1,217	
地域	横手	344	76.6	27	6.0	14	3.1	63	14.0	1	0.2	449
	増田	73	76.0	8	8.3	1	1.0	14	14.6		0.0	96
	平鹿	123	84.2	8	5.5	2	1.4	13	8.9		0.0	146
	雄物川	109	82.0	5	3.8	3	2.3	15	11.3	1	0.8	133
	大森	58	71.6	11	13.6	2	2.5	8	9.9	2	2.5	81
	十文字	147	81.2	7	3.9	10	5.5	12	6.6	5	2.8	181
	山内	39	70.9	5	9.1	2	3.6	9	16.4		0.0	55
	大雄	55	84.6	4	6.2	1	1.5	4	6.2	1	1.5	65
	未回答	5	45.5		0.0		0.0		0.0	6	54.5	11
	総計	953	78.3	75	6.2	35	2.9	138	11.3	16	1.3	1,217

問3. 横手市に愛着や誇りを感じていますか。(〇はひとつ)

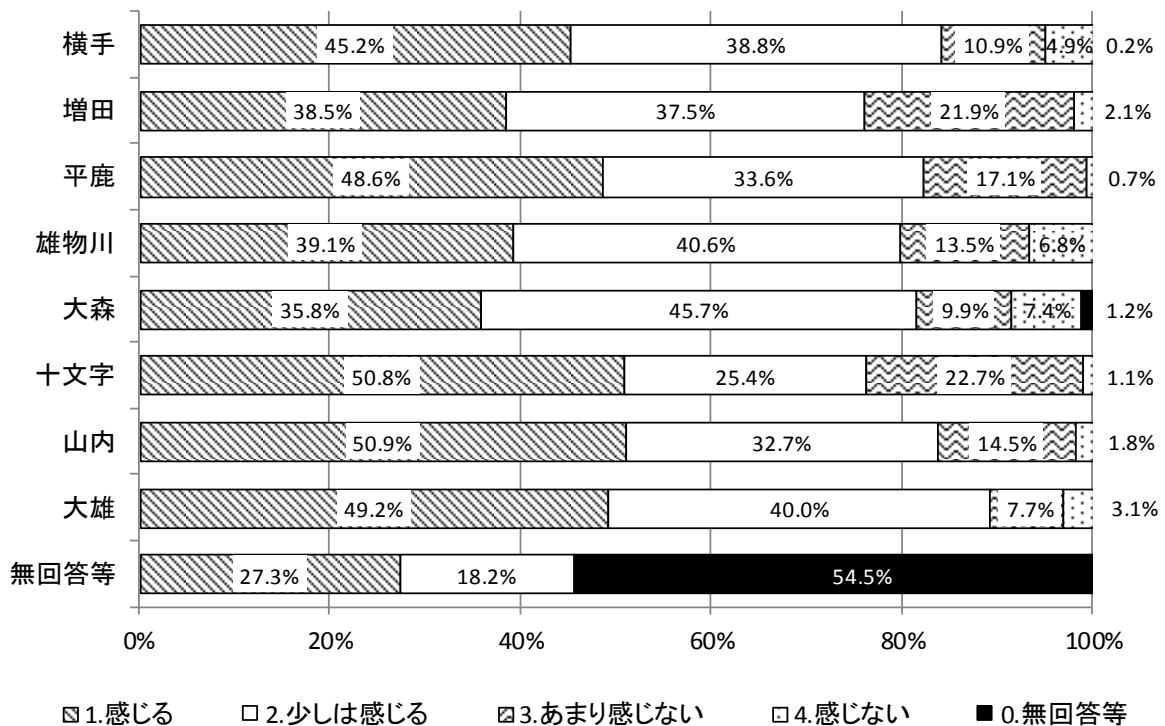
- 全体の81.2%が「1. 感じる」「2. 少しは感じる」と回答。
- 10歳代の30%が「3. あまり感じない」「4. 感じない」と回答。
- 一方、「1. 感じる」と回答したのは20歳代が59.2%で最多。

(平成29年度新規設問)



【地域別の回答の割合】

(平成29年度回答数=1,217)



横手市まちづくりアンケート

関連する自由記載（抜粋）

- 親として、今、反省していること。子供に「地元に残れ！こんなに住みやすい所はないんだぞ」というつぶやき、教えをしなかった事。⇒子供達に社会人となっても何とか生活していける、いこうという夢、気にさせる働きかけを皆でしていく政策、ベクトルを。（今は都会志向が主流）お金だけではないはず。自分達年寄りも、協力していきたい。いっぱいつぶやきたい。優しくしていきたい。
(60歳代・男性・雄物川)
- 横手は生まれ育った町なので大好きです。
(10歳代・女性・十文字)
- 生まれ育った横手市が大好きです。全国での知名度上位の“かまくら”“横手焼そば”“増田の蔵”などなど自慢できるものがいっぱい！！それをもっともっと利用して横手を全国に発信しましょう。
(50歳代・女性・平鹿)
- 基本的には横手が大好きなので、活気ある横手にしていきたい。
(40歳代・男性・横手)
- 私は十文字町が大好きです。
(20歳代・女性・十文字)

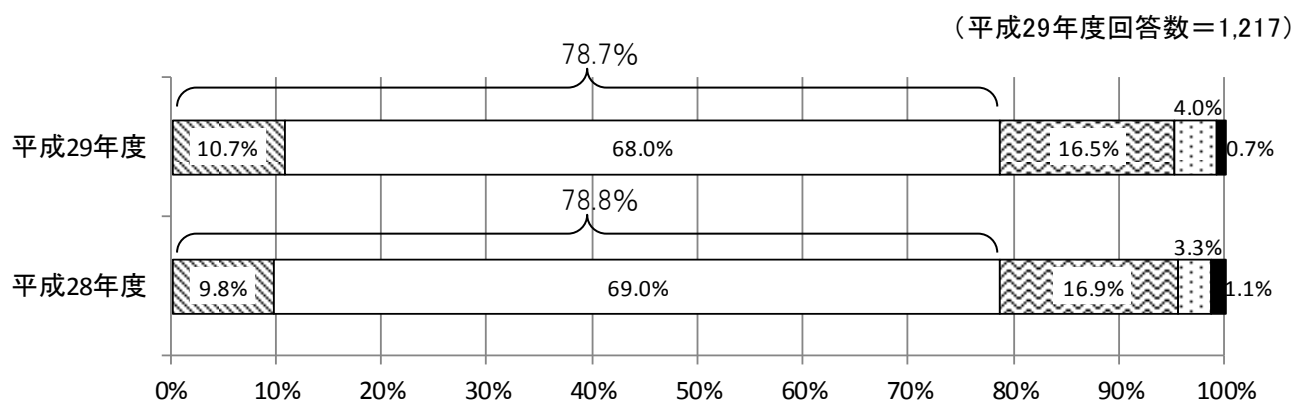
(単位:「人」「%」)

		1 感じる		2 少しは感じる		3 あまり感じない		4 感じない		無回答等		総計
性別	男性	249	45.6	193	35.3	85	15.6	18	3.3	1	0.2	546
	女性	296	45.0	245	37.2	89	13.5	27	4.1	1	0.2	658
	未回答	2	15.4	4	30.8	1	7.7		0.0	6	46.2	13
	総計	547	44.9	442	36.3	175	14.4	45	3.7	8	0.7	1,217
年齢	10歳代	18	45.0	10	25.0	11	27.5	1	2.5		0.0	40
	20歳代	42	59.2	16	22.5	9	12.7	4	5.6		0.0	71
	30歳代	62	39.7	54	34.6	27	17.3	13	8.3		0.0	156
	40歳代	65	39.2	76	45.8	18	10.8	7	4.2		0.0	166
	50歳代	93	38.1	103	42.2	39	16.0	8	3.3	1	0.4	244
	60歳代	177	47.5	132	35.4	56	15.0	7	1.9	1	0.3	373
	70歳代以上	86	55.8	49	31.8	15	9.7	4	2.6		0.0	154
	未回答	4	30.8	2	15.4		0.0	1	7.7	6	46.2	13
総計	547	44.9	442	36.3	175	14.4	45	3.7	8	0.7	1,217	
地域	横手	203	45.2	174	38.8	49	10.9	22	4.9	1	0.2	449
	増田	37	38.5	36	37.5	21	21.9	2	2.1		0.0	96
	平鹿	71	48.6	49	33.6	25	17.1	1	0.7		0.0	146
	雄物川	52	39.1	54	40.6	18	13.5	9	6.8		0.0	133
	大森	29	35.8	37	45.7	8	9.9	6	7.4	1	1.2	81
	十文字	92	50.8	46	25.4	41	22.7	2	1.1		0.0	181
	山内	28	50.9	18	32.7	8	14.5	1	1.8		0.0	55
	大雄	32	49.2	26	40.0	5	7.7	2	3.1		0.0	65
	未回答	3	27.3	2	18.2		0.0		0.0	6	54.5	11
	総計	547	44.9	442	36.3	175	14.4	45	3.7	8	0.7	1,217

2 健康・地域福祉について

問4. ご自身の健康状態をどう感じていますか。(〇はひとつ)

- 全体の78.7%が「1. とても健康だと思う」「2. 健康なほうだと思う」と回答。
- 前回調査結果と同じ傾向。



- 1. とても健康だと思う
- 2. 健康なほうだと思う
- 3. あまり健康ではないと思う
- 4. 健康ではないと思う
- 5. 無回答等

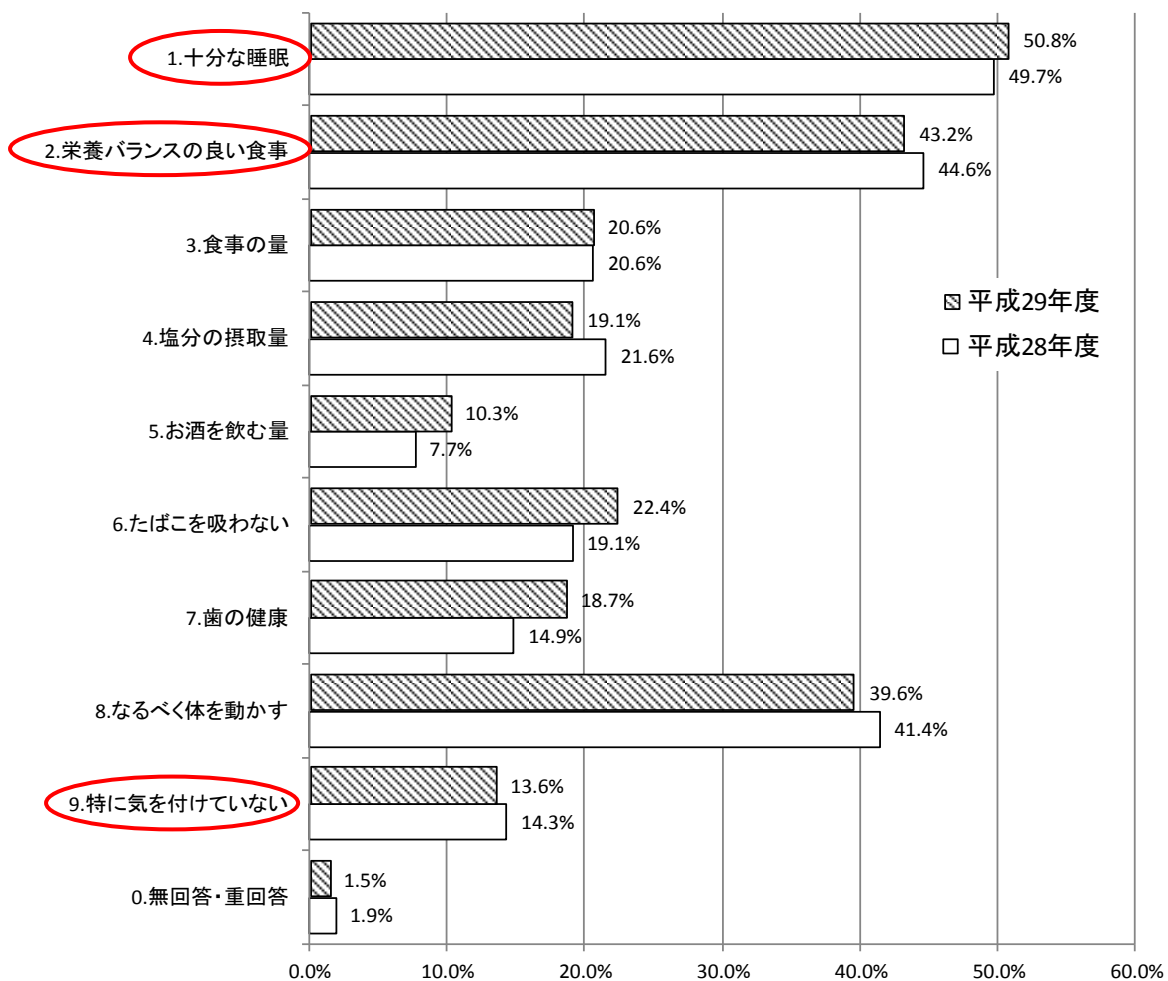
(単位:「人」「%」)

		1 とても健康 だと思 う	2 健康なほう だと思 う	3 あまり健康 ではないと思 う	4 健康では ないと思 う	無回答等	総計					
性別	男性	52	9.5	371	67.9	95	17.4	25	4.6	3	0.5	546
	女性	77	11.7	452	68.7	103	15.7	22	3.3	4	0.6	658
	未回答	1	7.7	5	38.5	3	23.1	2	15.4	2	15.4	13
	総計	130	10.7	828	68.0	201	16.5	49	4.0	9	0.7	1,217
年齢	10歳代	17	42.5	23	57.5		0.0		0.0		0.0	40
	20歳代	21	29.6	41	57.7	9	12.7		0.0		0.0	71
	30歳代	13	8.3	120	76.9	17	10.9	4	2.6	2	1.3	156
	40歳代	19	11.4	115	69.3	25	15.1	7	4.2		0.0	166
	50歳代	16	6.6	170	69.7	48	19.7	8	3.3	2	0.8	244
	60歳代	29	7.8	247	66.2	74	19.8	19	5.1	4	1.1	373
	70歳代以上	14	9.1	105	68.2	27	17.5	8	5.2		0.0	154
	未回答	1	7.7	7	53.8	1	7.7	3	23.1	1	7.7	13
総計	130	10.7	828	68.0	201	16.5	49	4.0	9	0.7	1,217	
地域	横手	53	11.8	312	69.5	61	13.6	18	4.0	5	1.1	449
	増田	8	8.3	67	69.8	18	18.8	2	2.1	1	1.0	96
	平鹿	20	13.7	93	63.7	28	19.2	5	3.4		0.0	146
	雄物川	5	3.8	91	68.4	29	21.8	8	6.0		0.0	133
	大森	13	16.0	52	64.2	9	11.1	6	7.4	1	1.2	81
	十文字	21	11.6	121	66.9	35	19.3	4	2.2		0.0	181
	山内	5	9.1	37	67.3	12	21.8	1	1.8		0.0	55
	大雄	4	6.2	49	75.4	8	12.3	3	4.6	1	1.5	65
	未回答	1	9.1	6	54.5	1	9.1	2	18.2	1	9.1	11
	総計	130	10.7	828	68.0	201	16.5	49	4.0	9	0.7	1,217

問5. 健康のため、特に気を付けていることはありますか。(〇は3つまで)

- 「1. 十分な睡眠」(50.8%)と「2. 栄養バランスの良い食事」(43.2%)、「8. なるべく体を動かす」(39.6%)を選択した人が多かった。
- 「5. お酒を飲む量」「6. たばこを吸わない」「7. 歯の健康」を選択した人が増加。

(平成29年度回答者数=1,217)



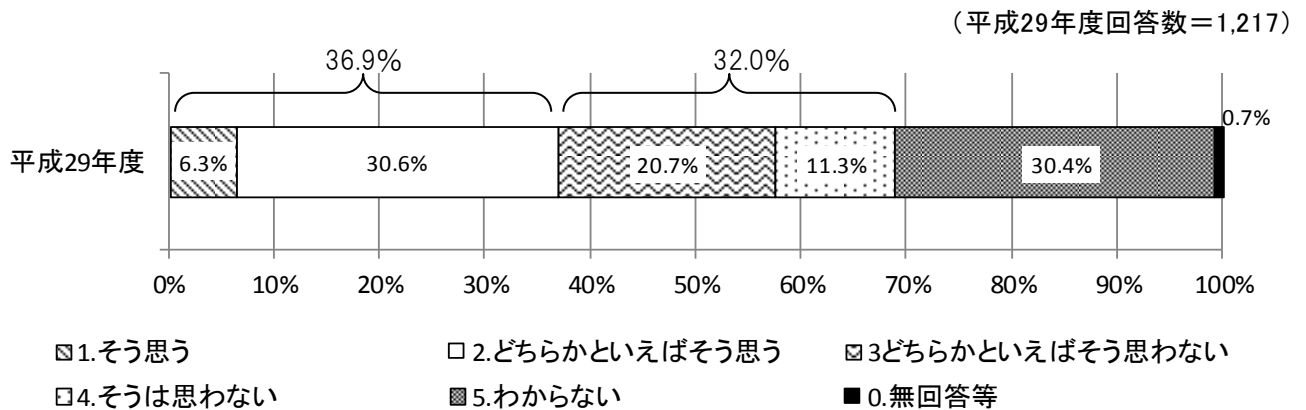
※複数回答可のため、各選択肢の合計は100%を超えます

※平成28年度の数値は、回答率を算出するために再集計したものです。

前回「各項目の回答数÷回答総数×100」⇒ 今回「各項目の回答数÷回答者数×100」

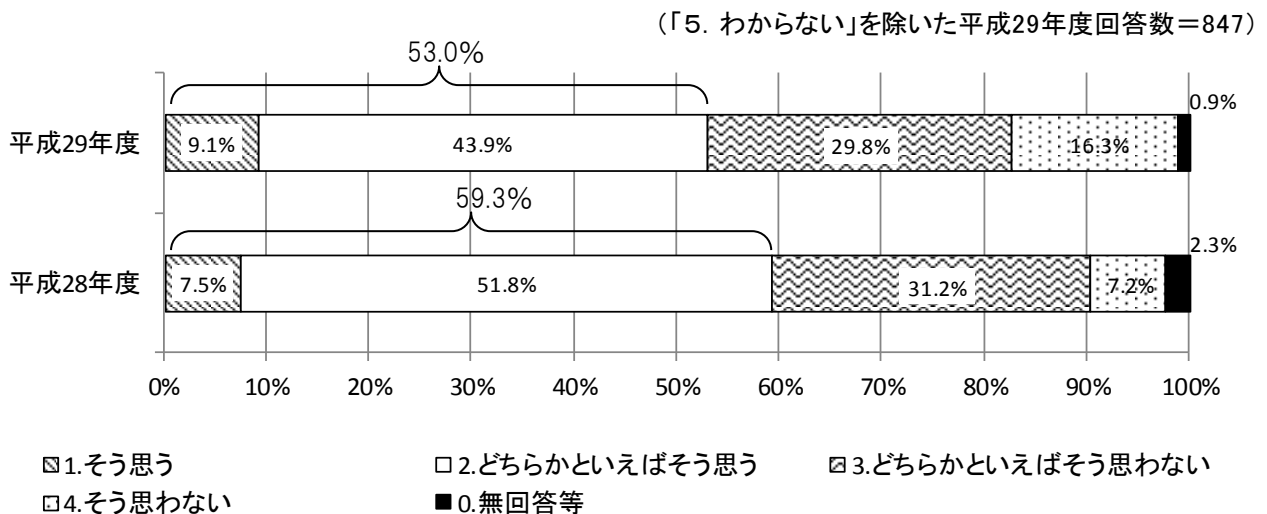
問6. 横手市は、障がいがある人もいきいきと暮らすことのできるまちだと思いますか。
(○はひとつ)

- 今回は選択肢に「5. わからない」を追加。(前回のアンケート意見を反映)
- 全体の36.9%が「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と回答。
- 32%が「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そうは思わない」と回答。



【参考比較】

平成29年度の回答「5. わからない」を除いた結果と平成28年度結果の比較



関連する自由記載（「障がい者」をキーワードに抜粋）

○ デマンドは大変ありがたいので続けてほしいが、利用できる区間が決まっていたり、デマンド運行中のシールを貼るのは、利用者にとって、不便だったり、いやな気持ちになるらしい。家族が送迎できない時や、高齢者、障害者などが主に利用すると思うので、改善していただければありがたい。デマンドを利用する家族が3人いるので、ぜひよろしくお願いします。できれば、予約なしや、時間帯の制限もなくしていただければ助かります。

(50歳代・女性・雄物川)

○ 高齢者が免許返納した際（障害者）、交通の不便の解消。助け合い、支え合いの、あたたかい市にしてほしい。

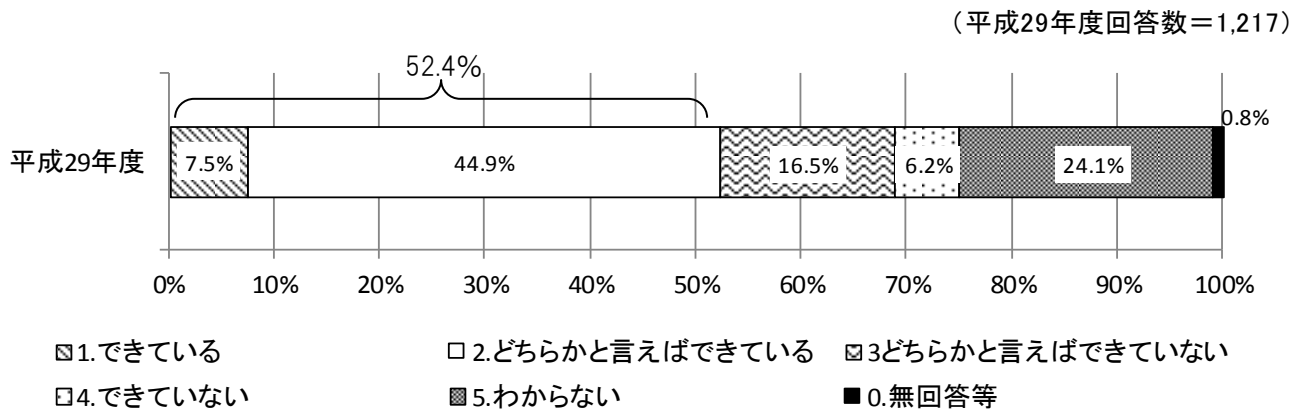
(40歳代・女性・横手)

(単位:「人」「%」)

		1 そう思う		2 どちらかといえばそう思う		3 どちらかといえばそう思わない		4 そうは思わない		5 わからない		無回答等		総計
性別	男性	36	6.6	164	30.0	133	24.4	60	11.0	151	27.7	2	0.4	546
	女性	40	6.1	202	30.7	119	18.1	77	11.7	216	32.8	4	0.6	658
	未回答	1	7.7	6	46.2		0.0	1	7.7	3	23.1	2	15.4	13
	総計	77	6.3	372	30.6	252	20.7	138	11.3	370	30.4	8	0.7	1,217
年齢	10歳代	8	20.0	11	27.5	5	12.5	2	5.0	14	35.0		0.0	40
	20歳代	4	5.6	21	29.6	10	14.1	13	18.3	23	32.4		0.0	71
	30歳代	7	4.5	32	20.5	43	27.6	18	11.5	54	34.6	2	1.3	156
	40歳代	8	4.8	58	34.9	37	22.3	24	14.5	39	23.5		0.0	166
	50歳代	16	6.6	64	26.2	60	24.6	35	14.3	68	27.9	1	0.4	244
	60歳代	22	5.9	123	33.0	74	19.8	32	8.6	118	31.6	4	1.1	373
	70歳代以上	12	7.8	57	37.0	23	14.9	12	7.8	50	32.5		0.0	154
	未回答		0.0	6	46.2		0.0	2	15.4	4	30.8	1	7.7	13
総計	77	6.3	372	30.6	252	20.7	138	11.3	370	30.4	8	0.7	1,217	
地域	横手	31	6.9	145	32.3	89	19.8	51	11.4	128	28.5	5	1.1	449
	増田	9	9.4	22	22.9	15	15.6	10	10.4	40	41.7		0.0	96
	平鹿	6	4.1	31	21.2	38	26.0	11	7.5	60	41.1		0.0	146
	雄物川	6	4.5	44	33.1	21	15.8	20	15.0	42	31.6		0.0	133
	大森	7	8.6	33	40.7	16	19.8	6	7.4	18	22.2	1	1.2	81
	十文字	12	6.6	51	28.2	37	20.4	27	14.9	53	29.3	1	0.6	181
	山内	4	7.3	14	25.5	19	34.5	5	9.1	13	23.6		0.0	55
	大雄	2	3.1	26	40.0	17	26.2	7	10.8	13	20.0		0.0	65
	未回答		0.0	6	54.5		0.0	1	9.1	3	27.3	1	9.1	11
	総計	77	6.3	372	30.6	252	20.7	138	11.3	370	30.4	8	0.7	1,217

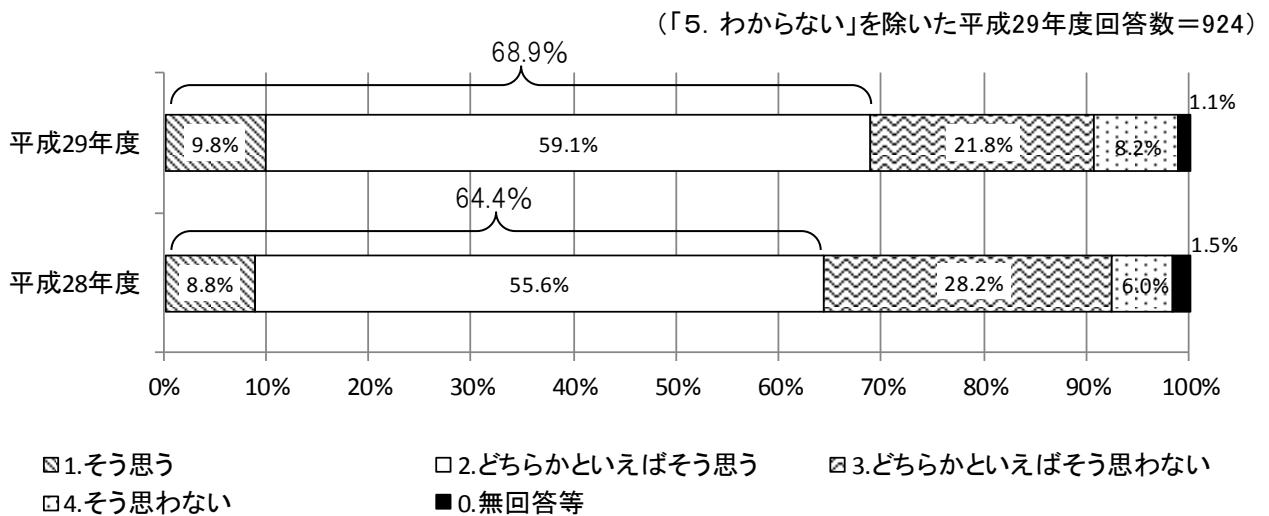
問7. 横手市は、高齢者が安心して暮らせる「地域での助け合い・支え合いの体制」が
できているまちだと思いますか。(〇はひとつ)

- 今回は選択肢に「5. わからない」を追加。(前回のアンケート意見を反映)
- 全体の52.4%が「1. できている」「2. どちらかといえばできている」と回答。
- 「5. わからない」を除くと、68.9%が「1」「2」と回答。【参考比較】



【参考比較】

平成29年度の回答「5. わからない」を除いた結果と平成28年度結果の比較



関連する自由記載（抜粋）

- 自身の経済状況も将来不安がある中で、その時横手市が老人たちを支えられる体力があるの
 だろうかという見えない不安がよぎります。
 (50歳代・男性・平鹿)
- 全体的にはうまくいっているとは思いますが一人暮らしの人達への対応（行政・個人共に）
 が不十分に思います。プライバシーもありますのでボランティアも不十分に思います。自分で
 考えて行動する様に心がけておりますがやはりボランティアはむずかしいです。
 (60歳代・女性・山内)
- 単身、高齢世帯が増えているが、安心して暮らしていくのに不安に思っている人が多いと思
 います。50代、60代の会話に「ひとりになったら、ここでは暮らしていけない」と話す人が
 多く、特に旧横手市以外で中心から離れている所は、色々な点で疎外を感じます。
 (50歳代・女性・大森)
- 高齢者の独居が増えているように感じます。独居の人たちが孤独死して何日も放置されるこ
 とのないように周りの家の人たちとも連携して見守っていただければより良いと思います。民生委
 員の人達だけだと負担が大きいのではないかと心配です。
 (50歳代・男性・横手)

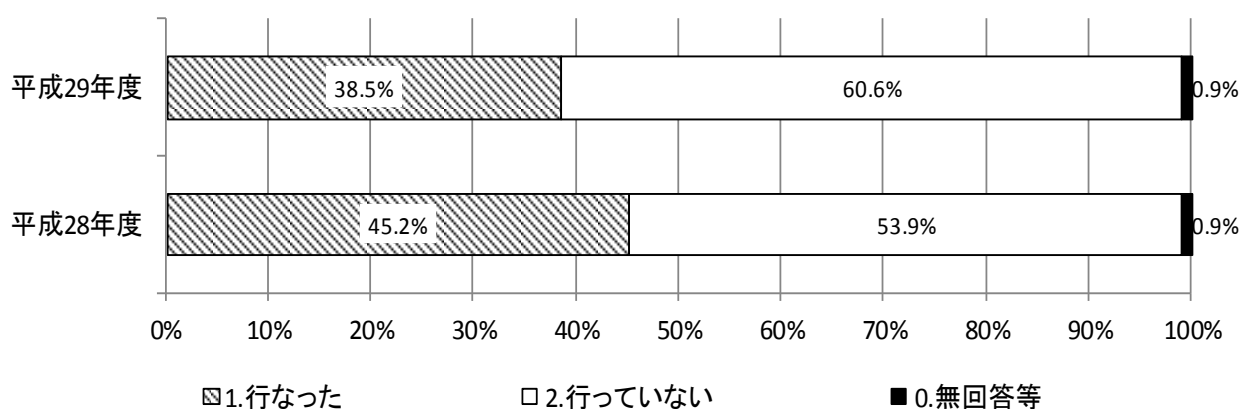
(単位:「人」「%」)

		1 できている		2 どちらかと言え ばできている		3 どちらかと言え ばできていない		4 できていない		5 わからない		無回答等		総計
性別	男性	39	7.1	230	42.1	111	20.3	36	6.6	128	23.4	2	0.4	546
	女性	51	7.8	311	47.3	89	13.5	39	5.9	163	24.8	5	0.8	658
	未回答	1	7.7	5	38.5	1	7.7	1	7.7	2	15.4	3	23.1	13
	総計	91	7.5	546	44.9	201	16.5	76	6.2	293	24.1	10	0.8	1,217
年齢	10歳代	7	17.5	18	45.0	1	2.5	1	2.5	13	32.5		0.0	40
	20歳代	4	5.6	37	52.1	14	19.7	4	5.6	12	16.9		0.0	71
	30歳代	11	7.1	65	41.7	24	15.4	12	7.7	41	26.3	3	1.9	156
	40歳代	14	8.4	81	48.8	26	15.7	7	4.2	38	22.9		0.0	166
	50歳代	14	5.7	109	44.7	47	19.3	21	8.6	52	21.3	1	0.4	244
	60歳代	24	6.4	157	42.1	65	17.4	24	6.4	99	26.5	4	1.1	373
	70歳代以上	16	10.4	72	46.8	24	15.6	5	3.2	36	23.4	1	0.6	154
	未回答	1	7.7	7	53.8		0.0	2	15.4	2	15.4	1	7.7	13
総計	91	7.5	546	44.9	201	16.5	76	6.2	293	24.1	10	0.8	1,217	
地域	横手	31	6.9	197	43.9	77	17.1	35	7.8	104	23.2	5	1.1	449
	増田	7	7.3	44	45.8	10	10.4	8	8.3	27	28.1		0.0	96
	平鹿	8	5.5	67	45.9	22	15.1	6	4.1	42	28.8	1	0.7	146
	雄物川	8	6.0	63	47.4	32	24.1	8	6.0	22	16.5		0.0	133
	大森	9	11.1	31	38.3	12	14.8	6	7.4	22	27.2	1	1.2	81
	十文字	17	9.4	85	47.0	19	10.5	9	5.0	49	27.1	2	1.1	181
	山内	5	9.1	22	40.0	12	21.8		0.0	16	29.1		0.0	55
	大雄	5	7.7	32	49.2	16	24.6	3	4.6	9	13.8		0.0	65
	未回答	1	9.1	5	45.5	1	9.1	1	9.1	2	18.2	1	9.1	11
	総計	91	7.5	546	44.9	201	16.5	76	6.2	293	24.1	10	0.8	1,217

問8. 過去1年間にボランティア活動を行いましたか。(〇は1つ)
 (有償・無償、個人・団体を問いません。地域での奉仕活動を含みます。)

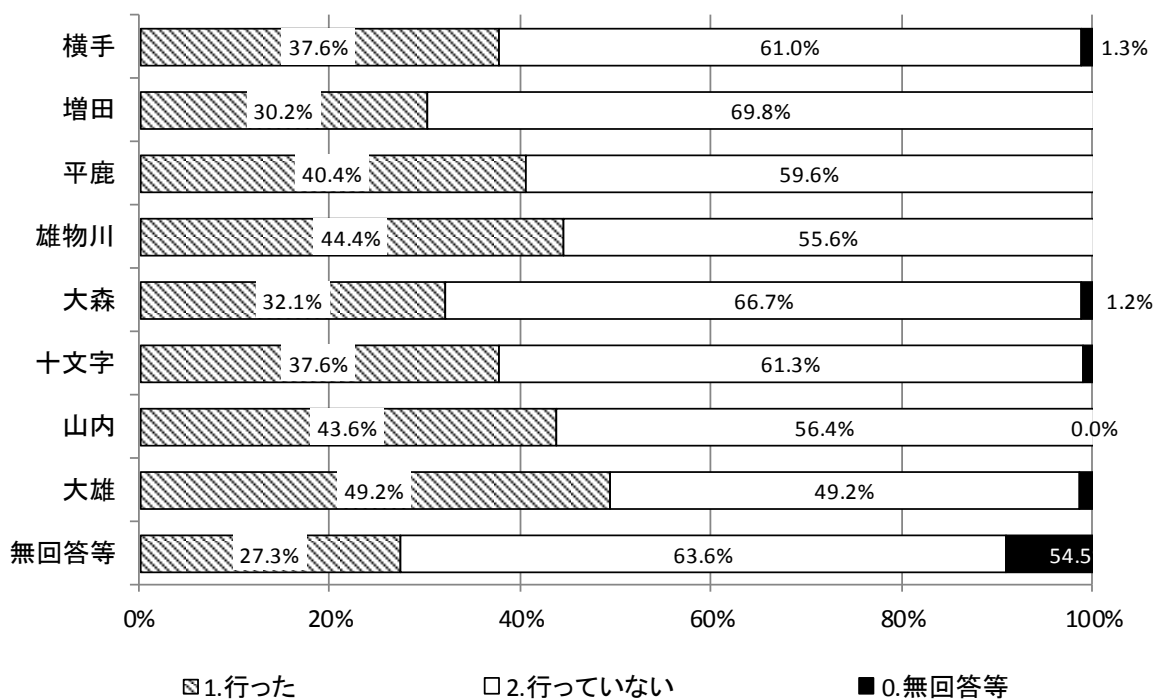
- 全体の38.5%が「1. 行った」と回答。
- 「1. 行った」と回答した人は、前回から6.7%減少。
- 「50歳代」と「60歳代」の40%以上がボランティア活動を行っている

(平成29年度回答数=1,217)



【地域別の回答の割合】

(平成29年度回答数=1,217)



横手市まちづくりアンケート

関連する自由記載（抜粋）

○ 全体的にはうまくいっているとは思いますが一人暮らしの人達への対応（行政・個人共に）が不十分に思います。プライバシーもありますのでボランティアも不十分に思います。自分で考えて行動する様に心がけておりますがやはりボランティアはむずかしいです。
 (60歳代・女性・山内)

○環境、保全活動は大切な事と思いますが、先に立っている方々の苦労と、時間がボランティアの域をこえているのではないかと思います。
 (60歳代・男性・十文字)

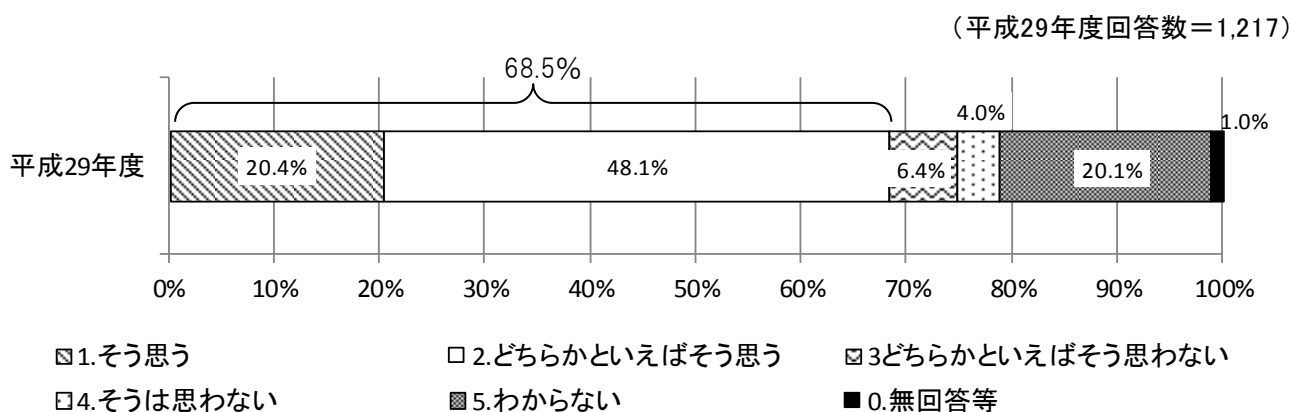
(単位:「人」「%」)

		1 行った		2 行っていない		無回答等		総計
性別	男性	262	48.0	281	51.5	3	0.5	546
	女性	204	31.0	449	68.2	5	0.8	658
	未回答	3	23.1	7	53.8	3	23.1	13
	総計	469	38.5	737	60.6	11	0.9	1,217
年齢	10歳代	11	27.5	29	72.5		0.0	40
	20歳代	16	22.5	54	76.1	1	1.4	71
	30歳代	52	33.3	102	65.4	2	1.3	156
	40歳代	63	38.0	103	62.0		0.0	166
	50歳代	100	41.0	143	58.6	1	0.4	244
	60歳代	164	44.0	206	55.2	3	0.8	373
	70歳代以上	61	39.6	90	58.4	3	1.9	154
	未回答	2	15.4	10	76.9	1	7.7	13
	総計	469	38.5	737	60.6	11	0.9	1,217
地域	横手	169	37.6	274	61.0	6	1.3	449
	増田	29	30.2	67	69.8		0.0	96
	平鹿	59	40.4	87	59.6		0.0	146
	雄物川	59	44.4	74	55.6		0.0	133
	大森	26	32.1	54	66.7	1	1.2	81
	十文字	68	37.6	111	61.3	2	1.1	181
	山内	24	43.6	31	56.4		0.0	55
	大雄	32	49.2	32	49.2	1	1.5	65
	未回答	3	27.3	7	63.6	1	9.1	11
		総計	469	38.5	737	60.6	11	0.9

3 学び・スポーツについて

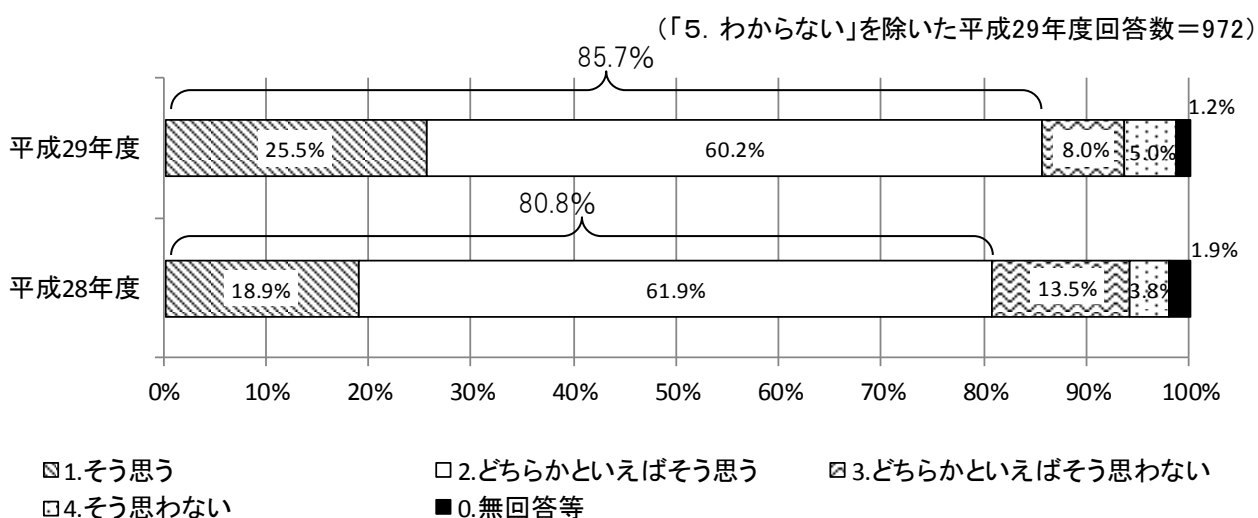
問9. 横手市の子どもたちにとって、安全・安心で充実した学校環境が整っていると思いますか。(〇はひとつ)

- 今回は選択肢に「5. わからない」を追加。(前回のアンケート意見を反映)
- 全体の68.5%が「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と回答。
- 「5. わからない」を除くと、85.7%が「1」「2」と回答。【参考比較】



【参考比較】

平成29年度の回答「5. わからない」を除いた結果と平成28年度結果の比較



関連する自由記載（抜粋）

- 学校帰りなど一人になることも多い。心配なので携帯電話を持たせるなどしたいが、中学生が学校に持ち込むことを禁止されている。今の時代に合わないと思う。学校教育についてもっと今の時代に合った考え方や教育委員会などで考えてほしいと思う。
(30歳代・女性・平鹿)
- 小中学生はスクールバスがあり大変便利で助かりました。高校入学となり、路線バスがない、本数が少ないなど通学に大変困っている家庭が多いです。本当にかっかりします。
(30歳代・女性・雄物川)
- 私には、今年中学生になった娘が一人いますが、冬だけでもスクールバスを出してほしいと思っています。
(30歳代・女性・十文字)

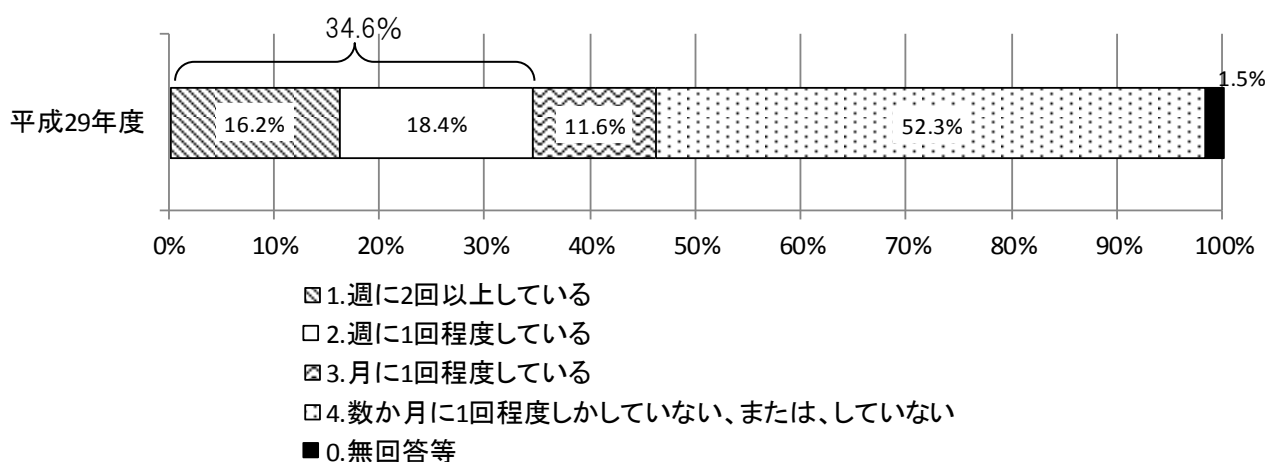
(単位:「人」「%」)

		1 そう思う		2 どちらかと言えばそう思う		3 どちらかと言えばそう思わない		4 そうは思わない		5 わからない		無回答等		総計
性別	男性	117	21.4	250	45.8	45	8.2	23	4.2	105	19.2	6	1.1	546
	女性	128	19.5	330	50.2	33	5.0	26	4.0	137	20.8	4	0.6	658
	未回答	3	23.1	5	38.5		0.0		0.0	3	23.1	2	15.4	13
	総計	248	20.4	585	48.1	78	6.4	49	4.0	245	20.1	12	1.0	1,217
年齢	10歳代	13	32.5	12	30.0	3	7.5	7	17.5	5	12.5		0.0	40
	20歳代	12	16.9	35	49.3	2	2.8	5	7.0	16	22.5	1	1.4	71
	30歳代	21	13.5	80	51.3	10	6.4	6	3.8	37	23.7	2	1.3	156
	40歳代	39	23.5	78	47.0	14	8.4	7	4.2	28	16.9		0.0	166
	50歳代	49	20.1	125	51.2	15	6.1	6	2.5	48	19.7	1	0.4	244
	60歳代	76	20.4	180	48.3	23	6.2	9	2.4	79	21.2	6	1.6	373
	70歳代以上	36	23.4	68	44.2	11	7.1	8	5.2	30	19.5	1	0.6	154
	未回答	2	15.4	7	53.8		0.0	1	7.7	2	15.4	1	7.7	13
総計	248	20.4	585	48.1	78	6.4	49	4.0	245	20.1	12	1.0	1,217	
地域	横手	100	22.3	200	44.5	41	9.1	15	3.3	87	19.4	6	1.3	449
	増田	17	17.7	50	52.1	3	3.1	6	6.3	20	20.8		0.0	96
	平鹿	23	15.8	75	51.4	10	6.8	3	2.1	34	23.3	1	0.7	146
	雄物川	29	21.8	76	57.1	7	5.3	4	3.0	16	12.0	1	0.8	133
	大森	20	24.7	32	39.5	3	3.7	3	3.7	21	25.9	2	2.5	81
	十文字	37	20.4	82	45.3	8	4.4	12	6.6	41	22.7	1	0.6	181
	山内	9	16.4	29	52.7	3	5.5	2	3.6	12	21.8		0.0	55
	大雄	11	16.9	36	55.4	3	4.6	4	6.2	11	16.9		0.0	65
	未回答	2	18.2	5	45.5		0.0		0.0	3	27.3	1	9.1	11
	総計	248	20.4	585	48.1	78	6.4	49	4.0	245	20.1	12	1.0	1,217

問10. 普段、何らかのスポーツや運動をしていますか。(〇はひとつ)
(ウォーキングや体操、ヨガなどの運動を含みます。)

- 全体の34.6%が、週に1回以上スポーツや運動をしている
- 週に1回以上スポーツや運動をしている人は、前回よりも6.4%減少。
- 全体の半数が、「4. 数か月に1回程度、または、していない」と回答。

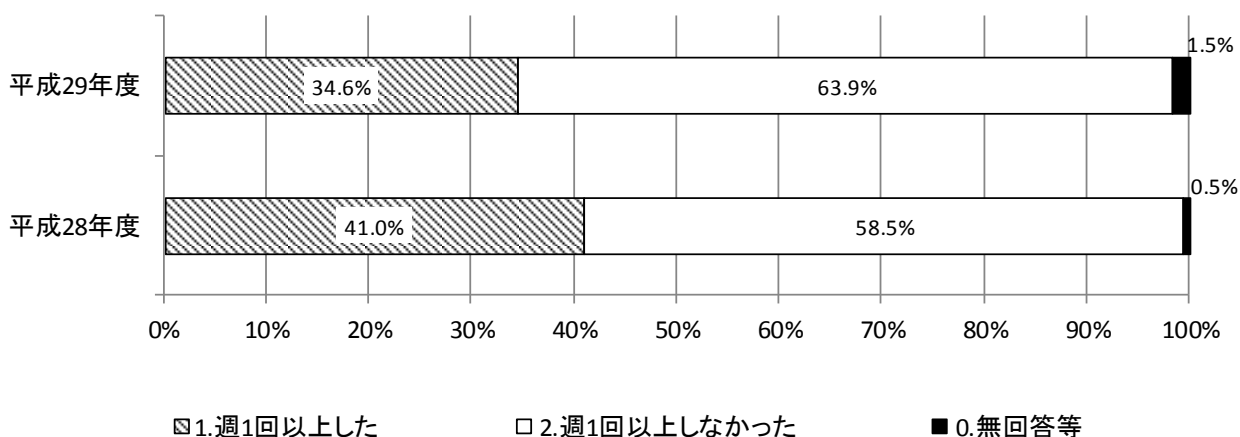
(平成29年度回答数=1,217)



【参考比較】

前回は「週1回以上スポーツや運動をしているか」を質問。今回「1」「2」と回答した人を「週1回以上した」、「3」「4」と回答した人を「週1回以上しなかった」として比較。

(平成29年度回答数=1,217)



関連する自由記載（抜粋）

○ <えがおの丘の水泳教室について>
 教室に入っておらず、自分の健康のため、時折プールを利用させて頂いております。しかし、利用できる時間が私自身限られており、午前10時からになります。11時からの水泳教室の人達が早々とプールに入り準備しております。フリーで利用する人の為に、1レーンだけ空けて頂いておりますが、高波が立って、自分のペースで運動できません。（あるいは賑やか過ぎる）11時からであれば、せめて5分位前から準備して頂き、フリーの方々が清々と利用できるよう配慮して頂ければ幸甚でございます。
 (60歳代・女性・雄物川)

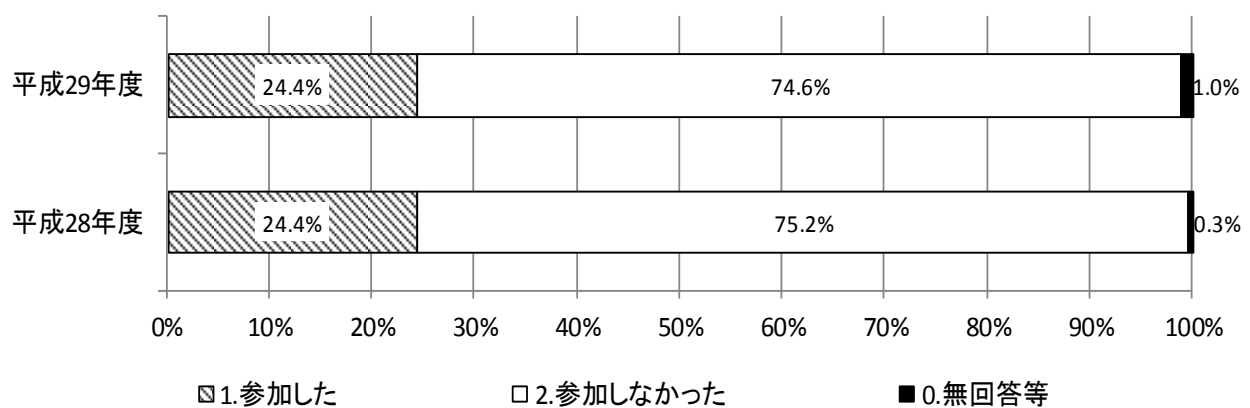
(単位:「人」「%」)

		1週に2回以上している		2週に1回程度している		3月に1回程度している		4数ヶ月に1回程度しかしていない。または、していない。		無回答等		総計
性別	男性	94	17.2	102	18.7	62	11.4	283	51.8	5	0.9	546
	女性	102	15.5	122	18.5	78	11.9	346	52.6	10	1.5	658
	未回答	1	7.7		0.0	1	7.7	8	61.5	3	23.1	13
	総計	197	16.2	224	18.4	141	11.6	637	52.3	18	1.5	1,217
年齢	10歳代	8	20.0	6	15.0	8	20.0	18	45.0		0.0	40
	20歳代	14	19.7	10	14.1	12	16.9	34	47.9	1	1.4	71
	30歳代	25	16.0	26	16.7	16	10.3	87	55.8	2	1.3	156
	40歳代	20	12.0	33	19.9	16	9.6	96	57.8	1	0.6	166
	50歳代	29	11.9	42	17.2	30	12.3	142	58.2	1	0.4	244
	60歳代	63	16.9	78	20.9	42	11.3	182	48.8	8	2.1	373
	70歳代以上	36	23.4	29	18.8	17	11.0	68	44.2	4	2.6	154
	未回答	2	15.4		0.0		0.0	10	76.9	1	7.7	13
総計	197	16.2	224	18.4	141	11.6	637	52.3	18	1.5	1,217	
地域	横手	71	15.8	104	23.2	54	12.0	213	47.4	7	1.6	449
	増田	8	8.3	16	16.7	6	6.3	65	67.7	1	1.0	96
	平鹿	18	12.3	23	15.8	15	10.3	88	60.3	2	1.4	146
	雄物川	27	20.3	22	16.5	14	10.5	70	52.6		0.0	133
	大森	12	14.8	16	19.8	10	12.3	40	49.4	3	3.7	81
	十文字	36	19.9	25	13.8	23	12.7	93	51.4	4	2.2	181
	山内	7	12.7	10	18.2	7	12.7	31	56.4		0.0	55
	大雄	16	24.6	8	12.3	12	18.5	29	44.6		0.0	65
	未回答	2	18.2		0.0		0.0	8	72.7	1	9.1	11
	総計	197	16.2	224	18.4	141	11.6	637	52.3	18	1.5	1,217

問11. 過去1年間に、スポーツ大会やスポーツ教室など、ご自身が体を動かすイベントに参加しましたか。(〇は1つ)
(市、NPO、民間等、主催者の別は問いません)

- 「1. 参加した」と回答した人は全体の24.4%で、前回と同じ。
- 「30歳代」が最も低く14.7%に留まる

(平成29年度回答数=1,217)



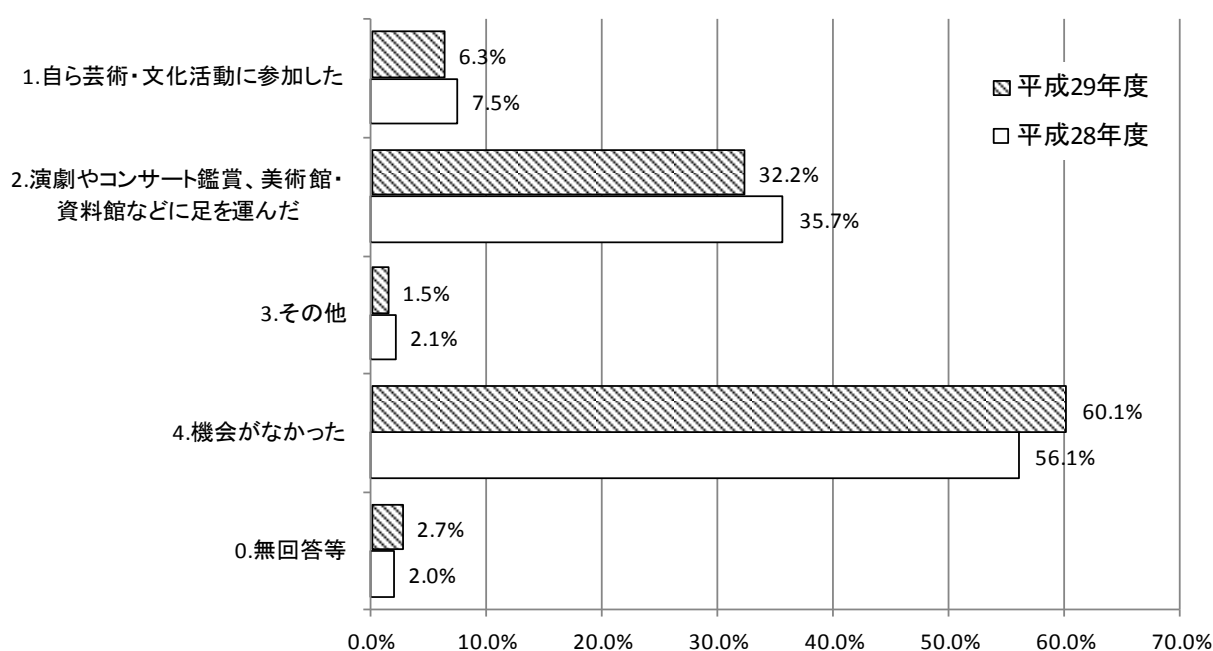
(単位:「人」「%」)

		1 参加した		2 参加しなかった		無回答等		総計
性別	男性	148	27.1	394	72.2	4	0.7	546
	女性	147	22.3	506	76.9	5	0.8	658
	未回答	2	15.4	8	61.5	3	23.1	13
	総計	297	24.4	908	74.6	12	1.0	1,217
年齢	10歳代	10	25.0	30	75.0		0.0	40
	20歳代	15	21.1	55	77.5	1	1.4	71
	30歳代	23	14.7	131	84.0	2	1.3	156
	40歳代	37	22.3	129	77.7		0.0	166
	50歳代	65	26.6	178	73.0	1	0.4	244
	60歳代	98	26.3	271	72.7	4	1.1	373
	70歳代以上	48	31.2	103	66.9	3	1.9	154
	未回答	1	7.7	11	84.6	1	7.7	13
総計	297	24.4	908	74.6	12	1.0	1,217	
地域	横手	101	22.5	342	76.2	6	1.3	449
	増田	14	14.6	82	85.4		0.0	96
	平鹿	30	20.5	115	78.8	1	0.7	146
	雄物川	39	29.3	93	69.9	1	0.8	133
	大森	20	24.7	60	74.1	1	1.2	81
	十文字	52	28.7	127	70.2	2	1.1	181
	山内	16	29.1	39	70.9		0.0	55
	大雄	24	36.9	41	63.1		0.0	65
	未回答	1	9.1	9	81.8	1	9.1	11
	総計	297	24.4	908	74.6	12	1.0	1,217

問12. 過去1年間に、市内で芸術・文化に触れる機会がありましたか。実際に体験した機会に○をつけてください。(○はいくつでも可※「4」の場合を除く)

- 全体の60パーセント以上が「4. 機会がなかった」と回答。
- 前回調査時よりも芸術・文化に触れる機会が減少傾向にある。

(平成29年度回答者数=1,217)



※複数回答可のため、各選択肢の合計は100%を超えます

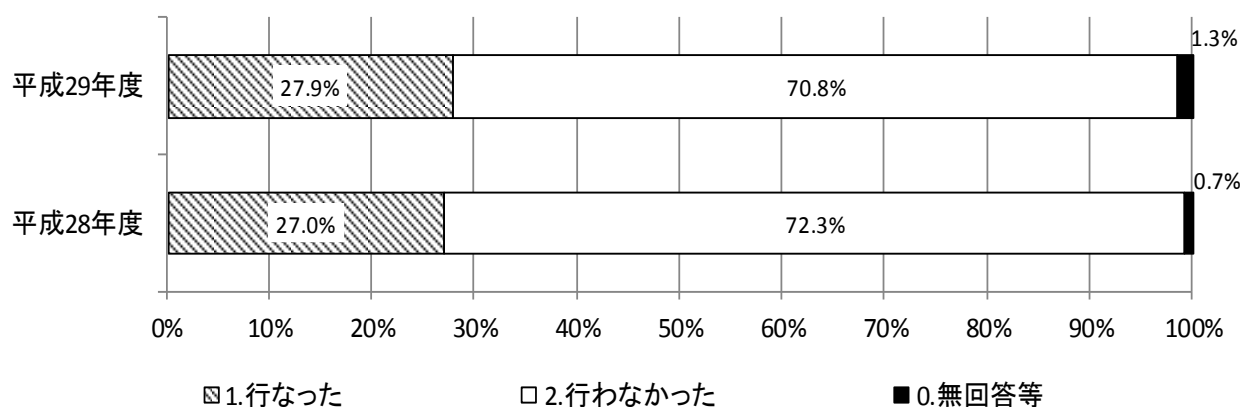
※平成28年度の数値は、回答率を算出するために再集計したものです。

前回「各項目の回答数÷回答総数×100」⇒ 今回「各項目の回答数÷回答者数×100」

問 1 3. 過去 1 年間に、生涯学習の活動を行いましたか。(○は 1 つ)

- 全体の 27.9%が「1. 行った」と回答。
- 年代の 30%以上が生涯学習活動を行っているのは 60 歳代と 70 歳代以上。

(平成29年度回答数=1,217)



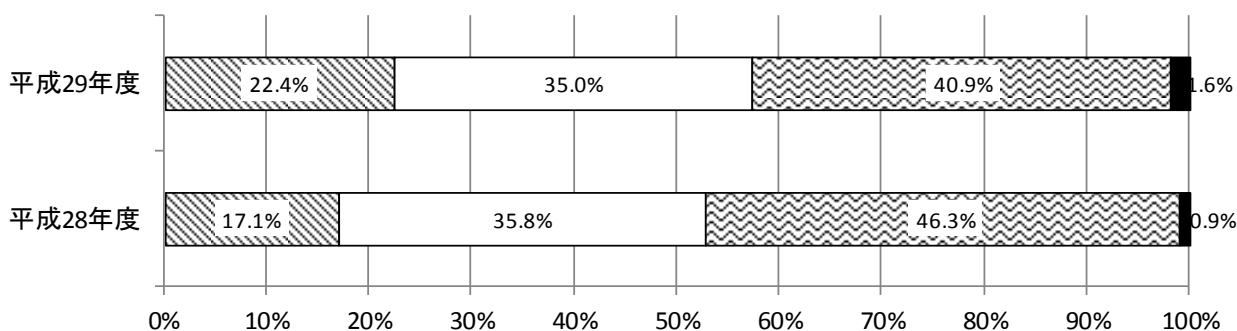
(単位:「人」「%」)

		1 行った		2 行わなかった		無回答等		総計
性別	男性	164	30.0	375	68.7	7	1.3	546
	女性	174	26.4	478	72.6	6	0.9	658
	未回答	1	7.7	9	69.2	3	23.1	13
	総計	339	27.9	862	70.8	16	1.3	1,217
年齢	10歳代	7	17.5	32	80.0	1	2.5	40
	20歳代	19	26.8	52	73.2		0.0	71
	30歳代	39	25.0	115	73.7	2	1.3	156
	40歳代	40	24.1	126	75.9		0.0	166
	50歳代	65	26.6	176	72.1	3	1.2	244
	60歳代	114	30.6	253	67.8	6	1.6	373
	70歳代以上	54	35.1	97	63.0	3	1.9	154
	未回答	1	7.7	11	84.6	1	7.7	13
総計	339	27.9	862	70.8	16	1.3	1,217	
地域	横手	117	26.1	324	72.2	8	1.8	449
	増田	18	18.8	78	81.3		0.0	96
	平鹿	24	16.4	121	82.9	1	0.7	146
	雄物川	52	39.1	80	60.2	1	0.8	133
	大森	26	32.1	54	66.7	1	1.2	81
	十文字	60	33.1	118	65.2	3	1.7	181
	山内	18	32.7	36	65.5	1	1.8	55
	大雄	23	35.4	42	64.6		0.0	65
	未回答	1	9.1	9	81.8	1	9.1	11
	総計	339	27.9	862	70.8	16	1.3	1,217

問14. 普段、本（電子書籍を含む）を読みますか。（○は1つ）

- 本を月に1冊以上読む人の割合は全体の22.4%。
- 本を月に1冊以上読む人の1カ月当たりの平均冊数は3.47冊。
- 比較的、若い年代が本をよく読む傾向がある。

(平成29年度回答数=1,217)



- 1.読む
- 2.たまに読む(2~3カ月に1冊程度)
- ▨ 3.まったく読まない、または、ほとんど読まない
- 4.無回答等

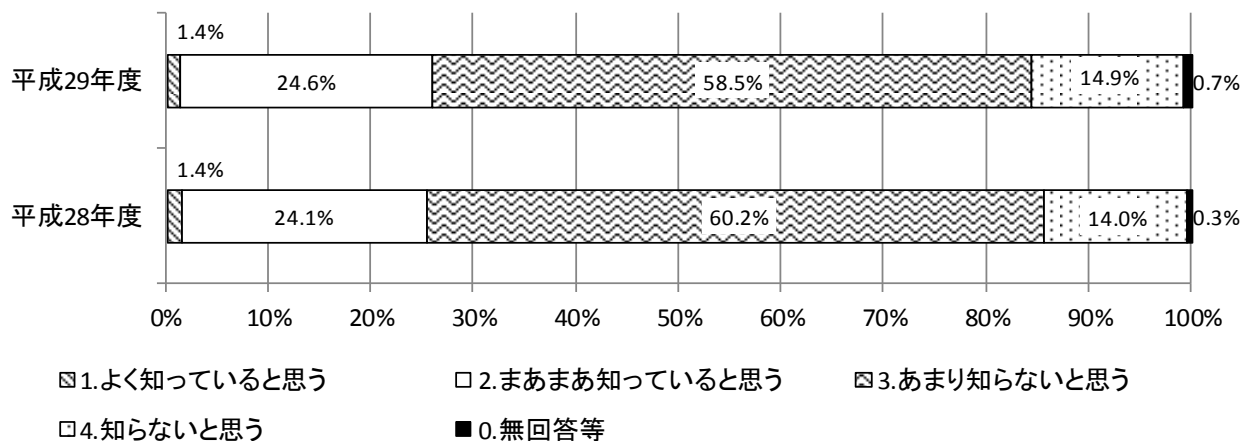
(単位:「人」「%」)

		1 1ヶ月に1冊以上		2 2~3ヶ月に1冊程度		3 年0~2冊程度		無回答等		総計
性別	男性	141	25.8	186	34.1	210	38.5	9	1.6	546
	女性	132	20.1	237	36.0	280	42.6	9	1.4	658
	未回答		0.0	3	23.1	8	61.5	2	15.4	13
	総計	273	22.4	426	35.0	498	40.9	20	1.6	1,217
年齢	10歳代	12	30.0	19	47.5	9	22.5		0.0	40
	20歳代	21	29.6	24	33.8	26	36.6		0.0	71
	30歳代	32	20.5	51	32.7	69	44.2	4	2.6	156
	40歳代	53	31.9	54	32.5	58	34.9	1	0.6	166
	50歳代	49	20.1	93	38.1	100	41.0	2	0.8	244
	60歳代	75	20.1	128	34.3	160	42.9	10	2.7	373
	70歳代以上	31	20.1	52	33.8	69	44.8	2	1.3	154
	未回答		0.0	5	38.5	7	53.8	1	7.7	13
総計	273	22.4	426	35.0	498	40.9	20	1.6	1,217	
地域	横手	86	19.2	167	37.2	188	41.9	8	1.8	449
	増田	13	13.5	39	40.6	42	43.8	2	2.1	96
	平鹿	40	27.4	39	26.7	65	44.5	2	1.4	146
	雄物川	38	28.6	42	31.6	52	39.1	1	0.8	133
	大森	20	24.7	32	39.5	28	34.6	1	1.2	81
	十文字	48	26.5	66	36.5	62	34.3	5	2.8	181
	山内	14	25.5	18	32.7	23	41.8		0.0	55
	大雄	13	20.0	19	29.2	33	50.8		0.0	65
	未回答	1	9.1	4	36.4	5	45.5	1	9.1	11
	総計	273	22.4	426	35.0	498	40.9	20	1.6	1,217

問15. 郷土の歴史・文化財・伝統文化をどのくらい知っていますか。(〇は1つ)

- 「1. よく知っていると思う」と回答した人は全体の1.4%で前回と同じ。
- 全体の70%以上が「3. あまり知らないと思う」「4. 知らないと思う」と回答。

(平成29年度回答数=1,217)



(単位:「人」「%」)

		1 よく知っていると思う		2 まあまあ知っていると思う		3 あまり知らないと思う		4 知らないと思う		無回答等		総計
性別	男性	11	2.0	161	29.5	306	56.0	66	12.1	2	0.4	546
	女性	6	0.9	137	20.8	399	60.6	112	17.0	4	0.6	658
	未回答		0.0	1	7.7	7	53.8	3	23.1	2	15.4	13
	総計	17	1.4	299	24.6	712	58.5	181	14.9	8	0.7	1,217
年齢	10歳代		0.0	12	30.0	25	62.5	3	7.5		0.0	40
	20歳代	2	2.8	8	11.3	44	62.0	17	23.9		0.0	71
	30歳代		0.0	20	12.8	104	66.7	30	19.2	2	1.3	156
	40歳代	3	1.8	43	25.9	92	55.4	27	16.3	1	0.6	166
	50歳代	2	0.8	62	25.4	148	60.7	31	12.7	1	0.4	244
	60歳代	8	2.1	99	26.5	220	59.0	44	11.8	2	0.5	373
	70歳代以上	2	1.3	53	34.4	73	47.4	25	16.2	1	0.6	154
	未回答		0.0	2	15.4	6	46.2	4	30.8	1	7.7	13
総計	17	1.4	299	24.6	712	58.5	181	14.9	8	0.7	1,217	
地域	横手	5	1.1	128	28.5	253	56.3	58	12.9	5	1.1	449
	増田	2	2.1	17	17.7	59	61.5	18	18.8		0.0	96
	平鹿	1	0.7	38	26.0	82	56.2	25	17.1		0.0	146
	雄物川	3	2.3	39	29.3	75	56.4	16	12.0		0.0	133
	大森	1	1.2	18	22.2	49	60.5	13	16.0		0.0	81
	十文字	1	0.6	31	17.1	117	64.6	30	16.6	2	1.1	181
	山内	2	3.6	14	25.5	32	58.2	7	12.7		0.0	55
	大雄	2	3.1	13	20.0	39	60.0	11	16.9		0.0	65
	未回答		0.0	1	9.1	6	54.5	3	27.3	1	9.1	11
	総計	17	1.4	299	24.6	712	58.5	181	14.9	8	0.7	1,217

問16. 次の項目について、満足度をお聞かせください。(〇はそれぞれ1つ)

【各項目の上段が平成29年度、下段が平成28年度の数値】

単位：%

項目	満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答等
1.生涯学習の機会とその情報提供	4.9 (7.0)	58.7 (58.7)	26.1 (25.2)	4.7 (3.7)	5.6 (5.4)
2.公民館や交流センター等の数や設備	11.6 (11.5)	58.5 (57.2)	19.9 (22.2)	5.0 (4.3)	5.0 (5.1)
3.スポーツ大会やイベント、スポーツ教室への参加とその情報提供	5.5 (7.8)	55.7 (56.3)	28.3 (25.8)	4.6 (5.0)	5.8 (5.0)
4.スポーツ施設の数や設備	6.7 (9.2)	47.7 (45.3)	30.4 (31.9)	9.0 (8.6)	6.1 (5.0)
5.芸術・文化活動の機会とその情報提供	5.0 (7.4)	54.8 (53.4)	29.0 (29.1)	5.6 (5.2)	5.6 (5.0)
6.芸術・文化施設の数や設備	5.5 (8.9)	50.2 (50.7)	32.0 (28.7)	6.5 (7.2)	5.8 (4.6)

※網かけは、一番多数となった満足度。

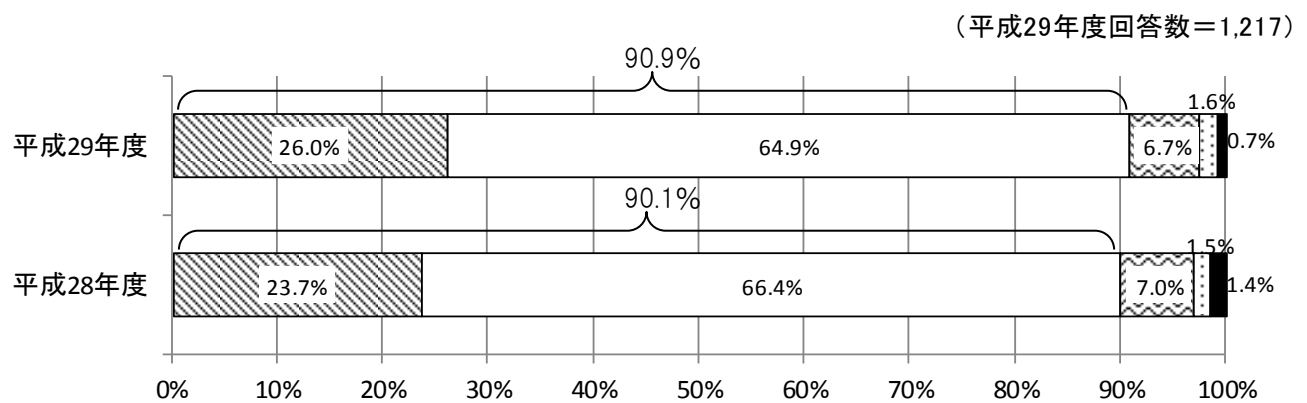
関連する自由記載（抜粋）

- 大型スポーツ施設を設置してほしい。(スーパーアリーナ等)
(60歳代・男性・十文字)
- スポーツ立市をかかげながら、整備や用具は非常に不満です。テニスコートのネット、体育館の各種ネットはボロボロのものが多数あります。修理や買い替えを検討していただきたい。
(50歳代・女性・横手)
- 以前、横手アリーナの建設の議案がありましたが、ぜひ実現させてください。
(10歳代・女性・横手)
- 公共施設（文化センター、B&G、図書館等）老朽化が激しく見苦しい。
(30歳代・男性・十文字)
- スマートインターチェンジを作るより、コンサートホールを作してほしい。もう一度コンサートホールの案を議会に通していただきたいです。宜しく願い致します。
(30歳代・女性・平鹿)
- アーティストを呼んで、ライブ、コンサートができる施設（アリーナ、ライブハウス）を充実させてほしい。
(30歳代・男性・横手)
- 交流センター、公民館など利用者が少ないのに多すぎる。館長まで置く必要は無いと思う。
(50歳代・女性・雄物川)

4 暮らし・環境について

問17. 横手市は、事故や犯罪が少なく安心して住めるまちだと思いますか。
(○はひとつ)

○ 前回に続き、全体の90%以上が「1. 安心して住める」「2. おおむね安心して住める」と回答。



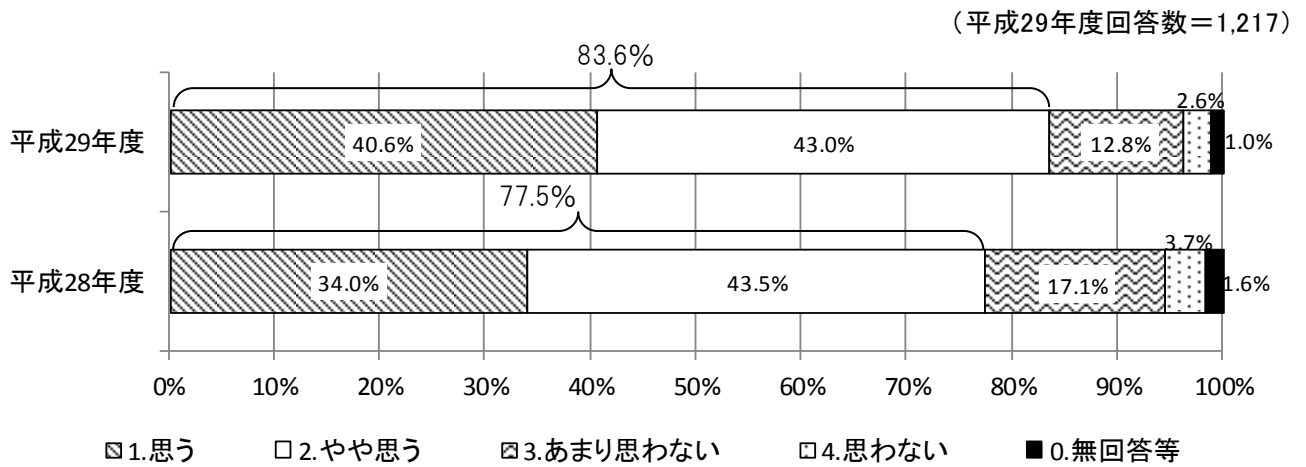
■ 1. 安心して住める □ 2. おおむね安心して住める ▨ 3. やや不安に思う □ 4. 不安に思う ■ 0. 無回答等

(単位:「人」「%」)

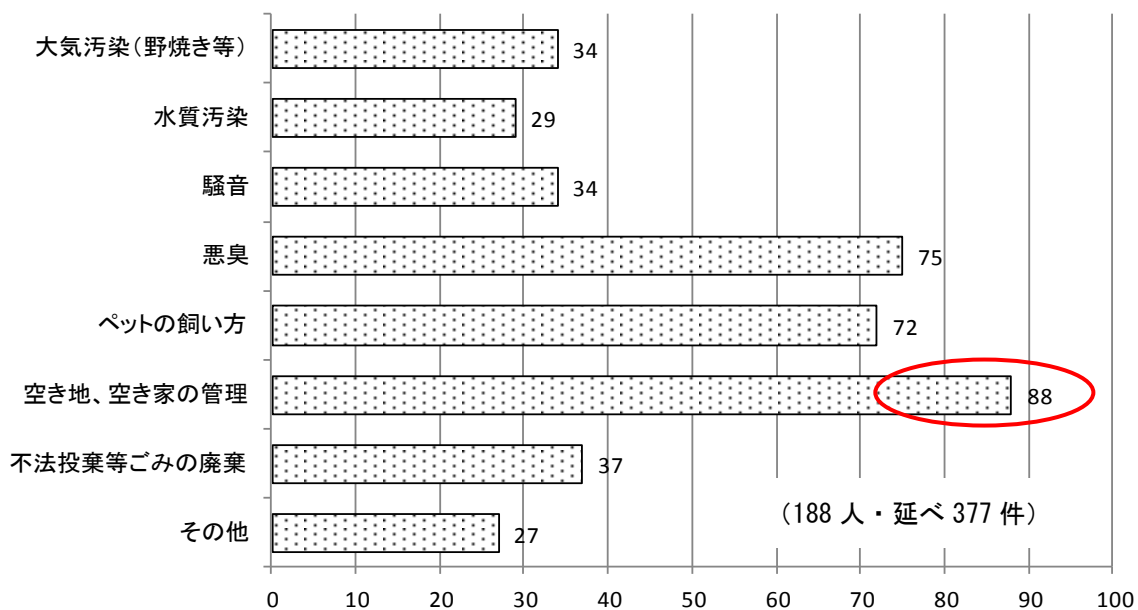
		1 安心して住める		2 おおむね安心して住める		3 やや不安に思う		4 不安に思う		無回答等		総計
性別	男性	139	25.5	358	65.6	35	6.4	10	1.8	4	0.7	546
	女性	176	26.7	424	64.4	45	6.8	10	1.5	3	0.5	658
	未回答	2	15.4	8	61.5	1	7.7		0.0	2	15.4	13
総計		317	26.0	790	64.9	81	6.7	20	1.6	9	0.7	1,217
年齢	10歳代	16	40.0	20	50.0	2	5.0	2	5.0		0.0	40
	20歳代	23	32.4	40	56.3	5	7.0	3	4.2		0.0	71
	30歳代	42	26.9	99	63.5	11	7.1	2	1.3	2	1.3	156
	40歳代	55	33.1	99	59.6	10	6.0	2	1.2		0.0	166
	50歳代	55	22.5	168	68.9	17	7.0	3	1.2	1	0.4	244
	60歳代	83	22.3	257	68.9	26	7.0	3	0.8	4	1.1	373
	70歳代以上	42	27.3	98	63.6	9	5.8	4	2.6	1	0.6	154
	未回答	1	7.7	9	69.2	1	7.7	1	7.7	1	7.7	13
総計		317	26.0	790	64.9	81	6.7	20	1.6	9	0.7	1,217
地域	横手	113	25.2	286	63.7	39	8.7	6	1.3	5	1.1	449
	増田	26	27.1	61	63.5	5	5.2	4	4.2		0.0	96
	平鹿	40	27.4	96	65.8	8	5.5	2	1.4		0.0	146
	雄物川	28	21.1	99	74.4	6	4.5		0.0		0.0	133
	大森	23	28.4	50	61.7	2	2.5	4	4.9	2	2.5	81
	十文字	54	29.8	110	60.8	14	7.7	2	1.1	1	0.6	181
	山内	15	27.3	34	61.8	5	9.1	1	1.8		0.0	55
	大雄	17	26.2	46	70.8	1	1.5	1	1.5		0.0	65
	未回答	1	9.1	8	72.7	1	9.1		0.0	1	9.1	11
	総計		317	26.0	790	64.9	81	6.7	20	1.6	9	0.7

問18. お住まいの周辺は、清潔で衛生的な生活ができる環境になっていると思いますか。(〇はひとつ)

- 全体の83.6%が「1. 思う」「2. やや思う」と回答。
- 前回調査時よりも6.1%増加。
- 清潔で衛生的な生活ができない理由は、「空き家・空き地の管理」が最多



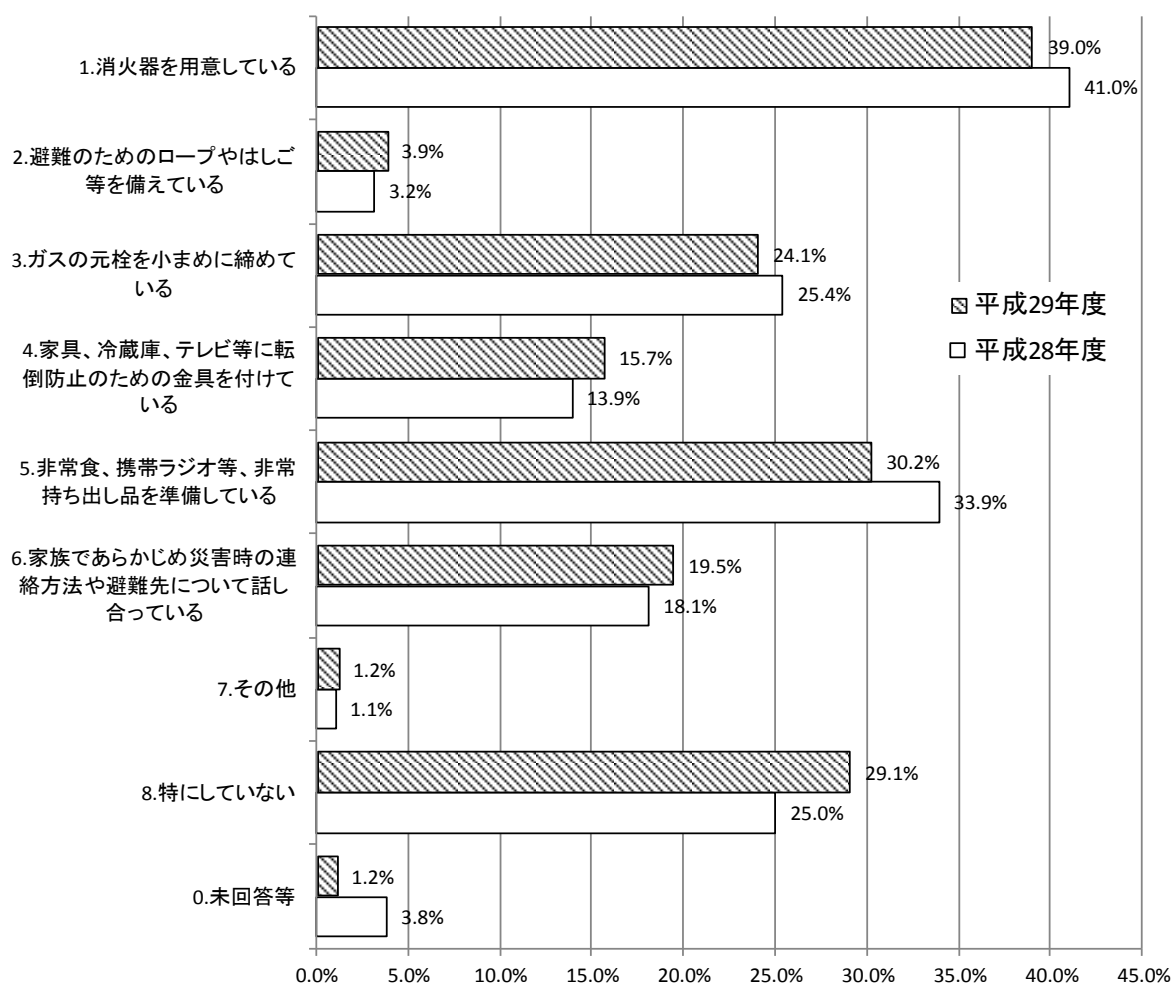
【清潔で衛生的な生活ができない理由】… 「3」「4」と回答した188人が記載



問19. 災害に備えて、どのようなことをしていますか。
 (〇はいくつでも可 ※「8. 特にしていない」場合を除く)

- 「8. 特にしていない」と回答した人は29.1%。
- 「1. 消火器を用意している」と回答した人が最も多く39%。
- 「7. その他」では、自家発電機の購入や情報収集が挙げられた。

(平成29年度回答者数=1,217)



※複数回答可のため、各選択肢の合計は100%を超えます

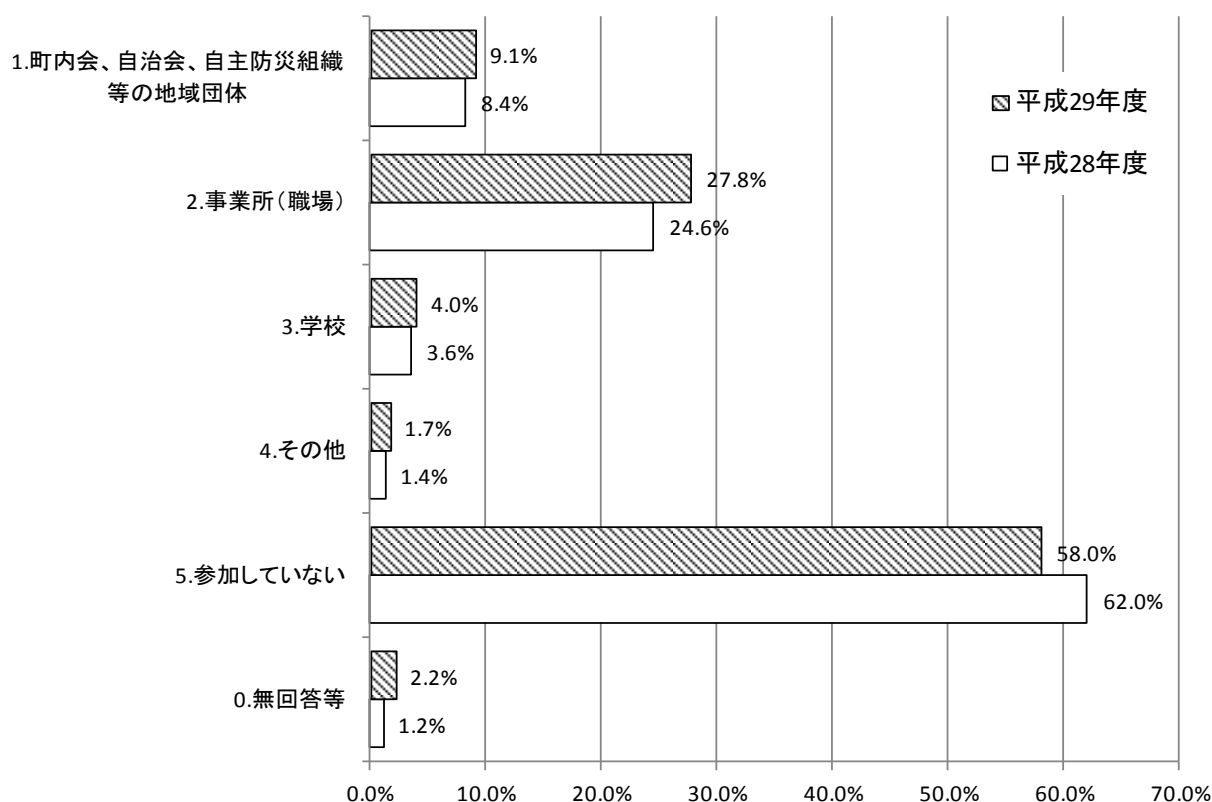
※平成28年度の数値は、回答率を算出するために再集計したものです。

前回「各項目の回答数÷回答総数×100」⇒今回「各項目の回答数÷回答者数×100」

問20. 過去1年間に、防災訓練に参加しましたか。
 (○はいくつでも可 ※「5. 参加していない」場合を除く)

- 「5. 参加していない」と回答した人は58%。
- 「2. 事業所(職場)」と回答した人が27.8%で前回よりも3.2%増加。
- 「4. その他」では、保育園が挙げられた。

(平成29年度回答者数=1,217)



※複数回答可のため、各選択肢の合計は100%を超えます

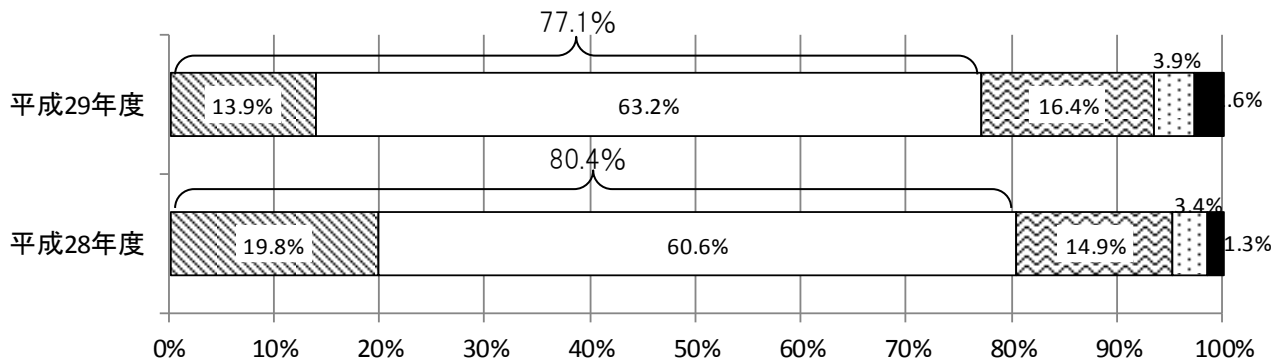
※平成28年度の数値は、回答率を算出するために再集計したものです。

前回「各項目の回答数÷回答総数×100」⇒今回「各項目の回答数÷回答者数×100」

問 2 1. お住まいの地域の消防・救急体制に、どのくらい安心できますか。
(○はひとつ)

- 全体の77.1%以上が「1. 安心している」「2. ほぼ安心している」と回答。
- 70歳代以上の22.7%が「3. やや不安に感じている」。

(平成29年度回答数=1,217)



■ 1.安心している □ 2.ほぼ安心している ▨ 3.やや不安を感じている □ 4.不安である ■ 0.無回答等

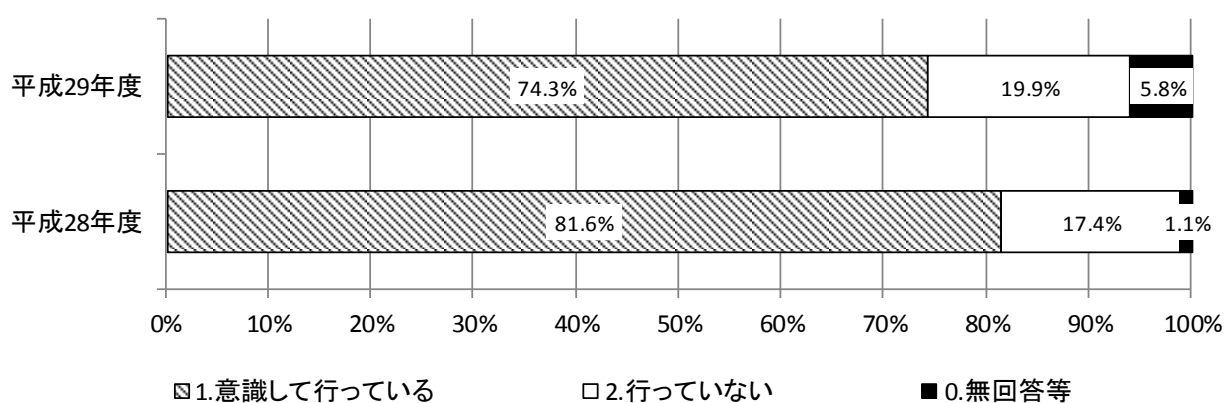
(単位:「人」「%」)

		1 安心している		2 ほぼ安心している		3 やや不安を感じている		4 不安である		無回答等		総計
性別	男性	74	13.6	356	65.2	90	16.5	16	2.9	10	1.8	546
	女性	93	14.1	407	61.9	107	16.3	31	4.7	20	3.0	658
	未回答	2	15.4	6	46.2	3	23.1	0.0	0.0	2	15.4	13
	総計	169	13.9	769	63.2	200	16.4	47	3.9	32	2.6	1,217
年齢	10歳代	6	15.0	27	67.5	4	10.0	2	5.0	1	2.5	40
	20歳代	12	16.9	38	53.5	18	25.4	3	4.2	0.0	0.0	71
	30歳代	18	11.5	107	68.6	21	13.5	7	4.5	3	1.9	156
	40歳代	27	16.3	109	65.7	22	13.3	6	3.6	2	1.2	166
	50歳代	21	8.6	167	68.4	38	15.6	11	4.5	7	2.9	244
	60歳代	56	15.0	237	63.5	59	15.8	9	2.4	12	3.2	373
	70歳代以上	28	18.2	77	50.0	35	22.7	8	5.2	6	3.9	154
	未回答	1	7.7	7	53.8	3	23.1	1	7.7	1	7.7	13
総計	169	13.9	769	63.2	200	16.4	47	3.9	32	2.6	1,217	
地域	横手	60	13.4	278	61.9	80	17.8	17	3.8	14	3.1	449
	増田	14	14.6	61	63.5	15	15.6	5	5.2	1	1.0	96
	平鹿	9	6.2	106	72.6	19	13.0	8	5.5	4	2.7	146
	雄物川	18	13.5	92	69.2	15	11.3	6	4.5	2	1.5	133
	大森	16	19.8	47	58.0	12	14.8	5	6.2	1	1.2	81
	十文字	28	15.5	114	63.0	25	13.8	5	2.8	9	5.0	181
	山内	13	23.6	29	52.7	12	21.8	1	1.8	0.0	0.0	55
	大雄	10	15.4	37	56.9	18	27.7	0.0	0.0	0.0	0.0	65
	未回答	1	9.1	5	45.5	4	36.4	0.0	0.0	1	9.1	11
	総計	169	13.9	769	63.2	200	16.4	47	3.9	32	2.6	1,217

問 2 2. 環境に負荷を与えないために暮らしの中で環境に優しい行動をしていますか。
(○はひとつ)

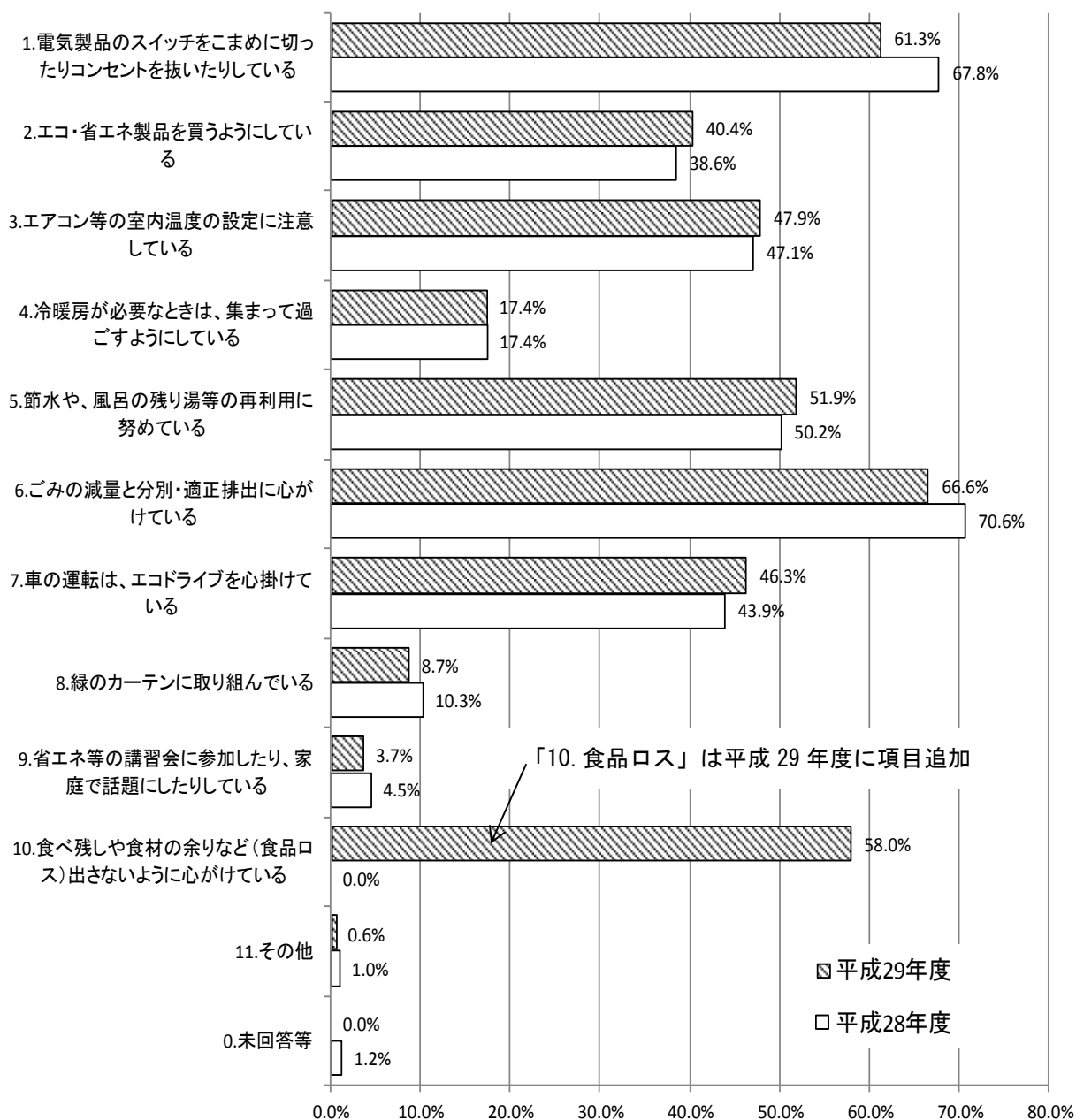
- 「1. 意識して行っている」と回答した人は74.3%。
- 「7. その他」では、自家発電機の購入や情報収集が挙げられた。

(平成29年度回答数=1,217)



【「1. 意識して行っている」 74.3% (904人) が具体的に行っていること】

(「1. 意識して行っている」と回答した人数・平成29年度=904)



※下の棒グラフは複数回答可のため、各選択肢の合計は 100%を超えます

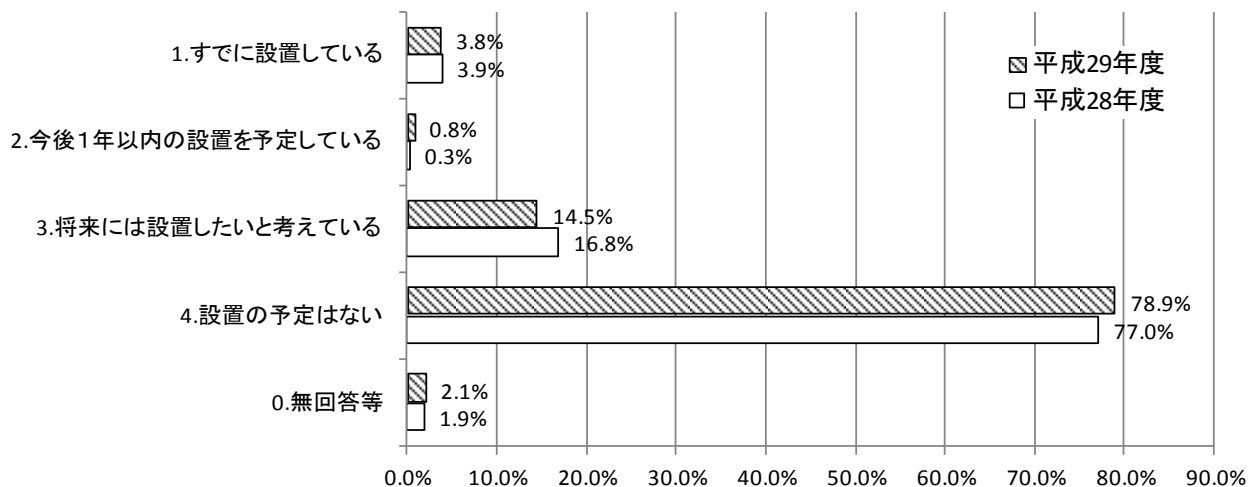
※平成 28 年度の数値は、回答率を算出するために再集計したものです。

前回「各項目の回答数÷回答総数×100」⇒ 今回「各項目の回答数÷回答者数×100」

問23. あなたのご家庭では、再生可能エネルギー設備を設置していますか。または、設置する予定はありますか。(〇はひとつ)

- 再生可能エネルギー設備の設置意向は増えていない。
- 約8割が「4. 設置の予定はない」と回答。

(平成29年度回答者数=1,217)

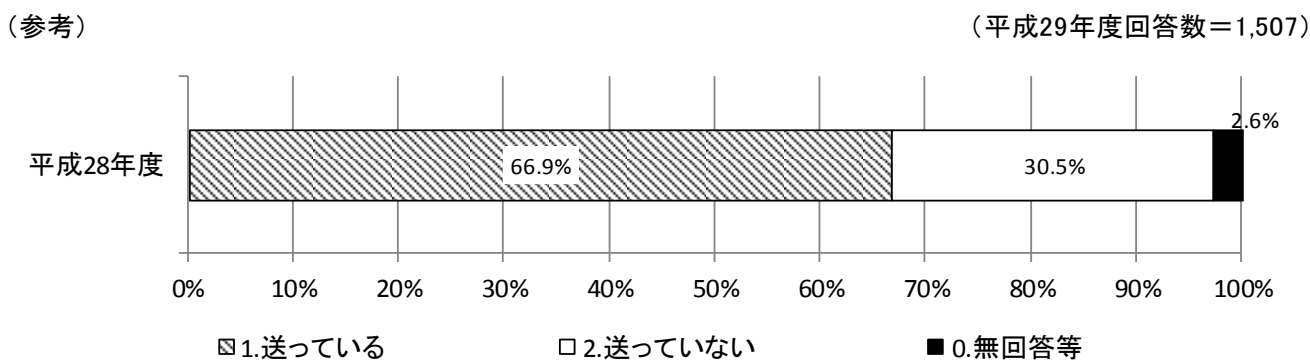
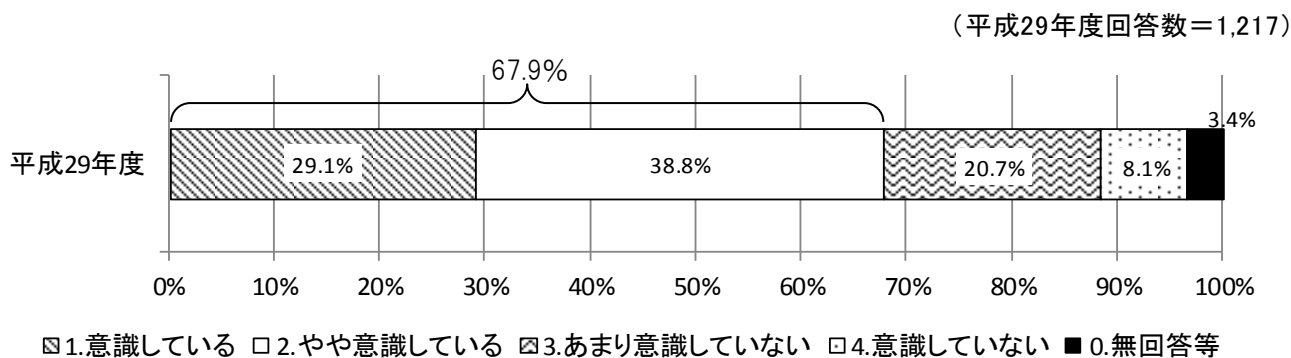


		1 すでに設置している		2 今後1年以内の設置を予定している		3 将来的には設置したいと考えている		4 設置の予定はない		無回答等		総計
性別	男性	13	2.4	4	0.7	96	17.6	420	76.9	13	2.4	546
	女性	33	5.0	6	0.9	79	12.0	530	80.5	10	1.5	658
	未回答		0.0		0.0	1	7.7	10	76.9	2	15.4	13
	総計	46	3.8	10	0.8	176	14.5	960	78.9	25	2.1	1,217
年齢	10歳代	2	5.0		0.0	4	10.0	33	82.5	1	2.5	40
	20歳代	10	14.1		0.0	11	15.5	50	70.4		0.0	71
	30歳代	5	3.2	5	3.2	22	14.1	121	77.6	3	1.9	156
	40歳代	3	1.8	1	0.6	20	12.0	141	84.9	1	0.6	166
	50歳代	6	2.5	2	0.8	43	17.6	191	78.3	2	0.8	244
	60歳代	14	3.8	2	0.5	61	16.4	288	77.2	8	2.1	373
	70歳代以上	6	3.9		0.0	14	9.1	125	81.2	9	5.8	154
	未回答		0.0		0.0	1	7.7	11	84.6	1	7.7	13
総計	46	3.8	10	0.8	176	14.5	960	78.9	25	2.1	1,217	
地域	横手	13	2.9	2	0.4	59	13.1	365	81.3	10	2.2	449
	増田	3	3.1	5	5.2	7	7.3	80	83.3	1	1.0	96
	平鹿	10	6.8		0.0	18	12.3	117	80.1	1	0.7	146
	雄物川	2	1.5		0.0	19	14.3	110	82.7	2	1.5	133
	大森	5	6.2		0.0	13	16.0	61	75.3	2	2.5	81
	十文字	7	3.9	1	0.6	40	22.1	126	69.6	7	3.9	181
	山内	3	5.5	2	3.6	10	18.2	40	72.7		0.0	55
	大雄	3	4.6		0.0	9	13.8	52	80.0	1	1.5	65
	未回答		0.0		0.0	1	9.1	9	81.8	1	9.1	11
総計	46	3.8	10	0.8	176	14.5	960	78.9	25	2.1	1,217	

5 産業・雇用について

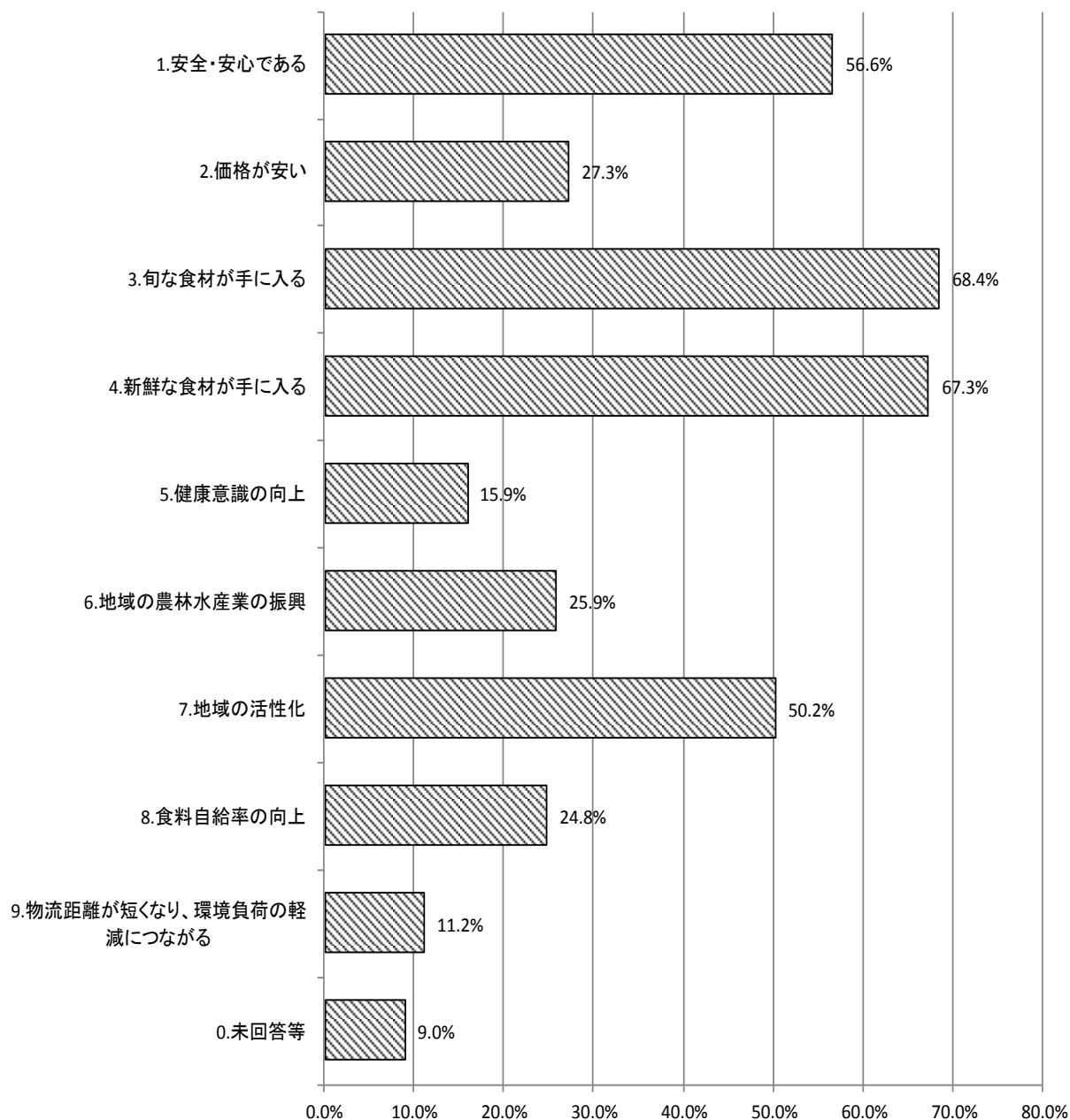
問24. 普段から「地産地消」を意識した生活を送っていますか。(〇はひとつ)

- 全体の67.9%が「1. 意識している」「2. やや意識している」と回答。
- 地産地消のメリットとして「3. 旬な食材が手に入る」「4. 新鮮な食材が手に入る」「1. 安全・安心である」「7. 地域の活性化」を感じている人が多い。



【地産地消のメリットとして、印象や実感に近いものはどれですか】 ※複数回答可
 (平成29年度新規設問)

(平成29年度回答者数=1,207)



問25. あなたは、下記の品物等を主にどこで購入しますか。

() 内に、該当する数字を1つずつ記入してください。

○ 「5. 家具」の主な購入先が「4. 市内の大型複合商業施設（イオン、ラッキー、トラスト等）」から「3. 市内の大型専門商業施設（ホームセンター等）」にシフト。

【各項目の上段が平成29年度、下段が平成28年度の数値】

単位：%

項目 (回答者数=1,217)	購入場所							
	規模な専門店	市内の個人商店や小	市内のスーパーマーケット	市内の大型専門商業施設	市内の大型複合商業施設	市内の他の市町村	県外	通信販売(インターネット等)
1.食料品・飲料	3.6 (4.1)	66.7 (65.9)	0.7 (1.5)	24.2 (22.4)	0.2 (1.0)	0.0 (0.2)	0.0 (0.2)	0.6 (1.5)
2.日用品・生活雑貨	3.0 (2.8)	15.0 (23.0)	43.2 (34.7)	31.2 (34.0)	0.8 (1.0)	0.0 (0.0)	0.7 (0.7)	0.2 (0.3)
3.衣料品	7.9 (7.2)	4.2 (4.3)	6.7 (6.1)	55.7 (61.8)	9.2 (6.0)	3.1 (2.6)	6.8 (8.2)	0.0 (0.0)
4.靴、かばん	8.0 (9.5)	2.5 (3.4)	8.1 (6.2)	52.2 (58.7)	10.2 (6.1)	3.4 (3.3)	7.7 (8.3)	0.0 (0.0)
5.家具	8.7 (11.7)	1.0 (1.7)	30.0 (23.0)	23.7 (33.6)	16.8 (15.3)	1.5 (1.3)	6.5 (5.6)	0.4 (0.3)
6.家電製品	9.6 (12.1)	1.5 (1.0)	42.6 (38.9)	24.6 (30.7)	3.2 (3.1)	0.3 (0.2)	6.0 (6.3)	0.2 (0.1)
7.書籍	16.8 (20.8)	3.4 (2.8)	7.6 (8.6)	43.4 (42.9)	2.8 (2.7)	0.1 (0.4)	10.9 (10.0)	3.1 (4.2)
8.外食	43.4 (47.5)	1.7 (2.0)	1.8 (2.2)	17.5 (19.4)	16.8 (15.3)	1.6 (0.9)	0.2 (0.2)	4.5 (3.8)

※網かけは、一番多数となった満足度。

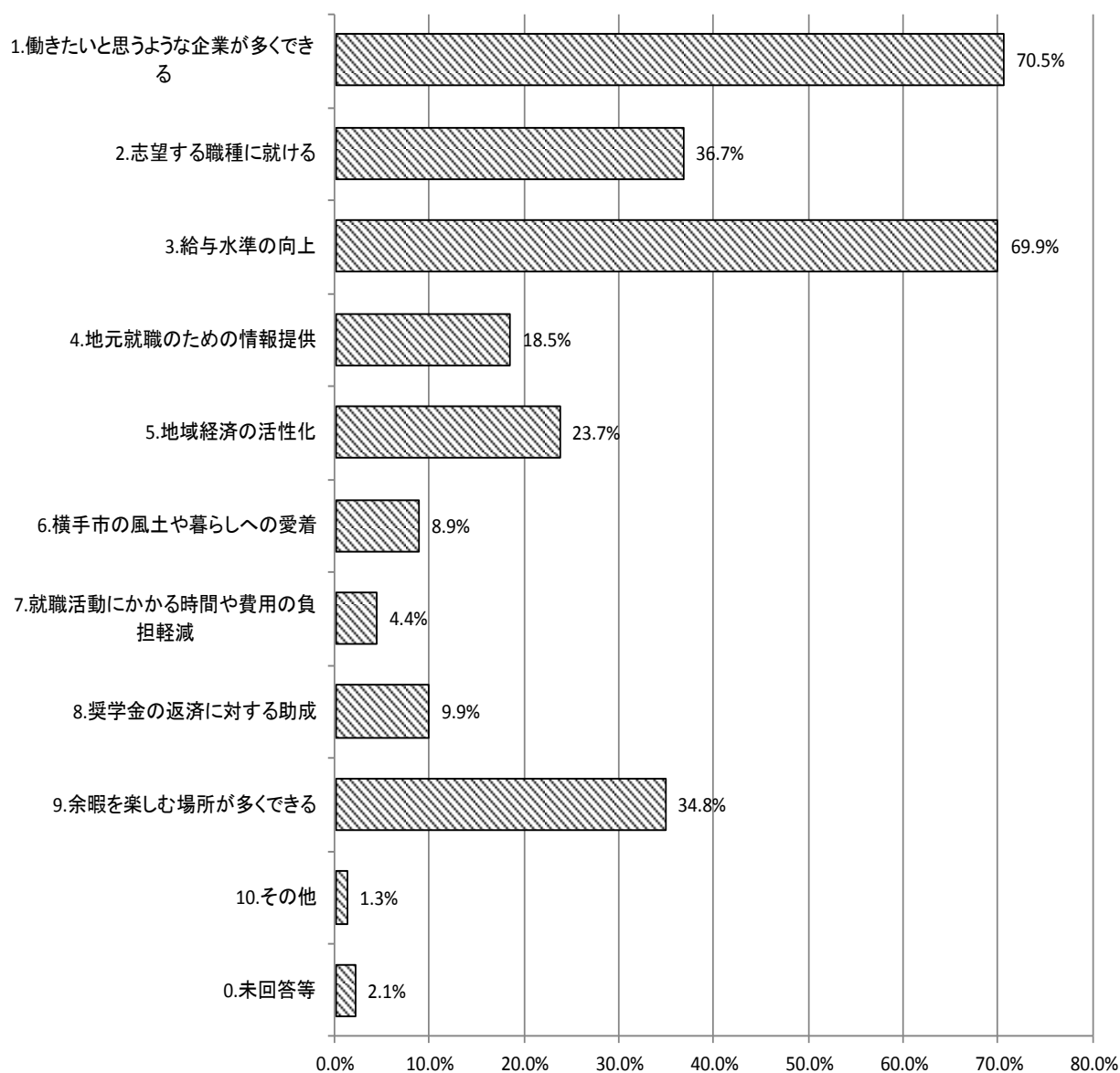
※各購入場所の合計が100とならないのは、無回答の数値を除いているためです。

無回答の数値は、100から各購入場所の合計を引いた数値となります。

問26. 若者が、働きたい・働き続けたいと思うまちになるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 約70%が「1. 働きたいと思うような企業が多くできる」「3. 給与水準の向上」と回答。
- 「9. 余暇を楽しむ場所が多くできる」と回答した人も34.8%にのぼる。
(平成29年度新規設問)

(平成29年度回答者数=1,207)

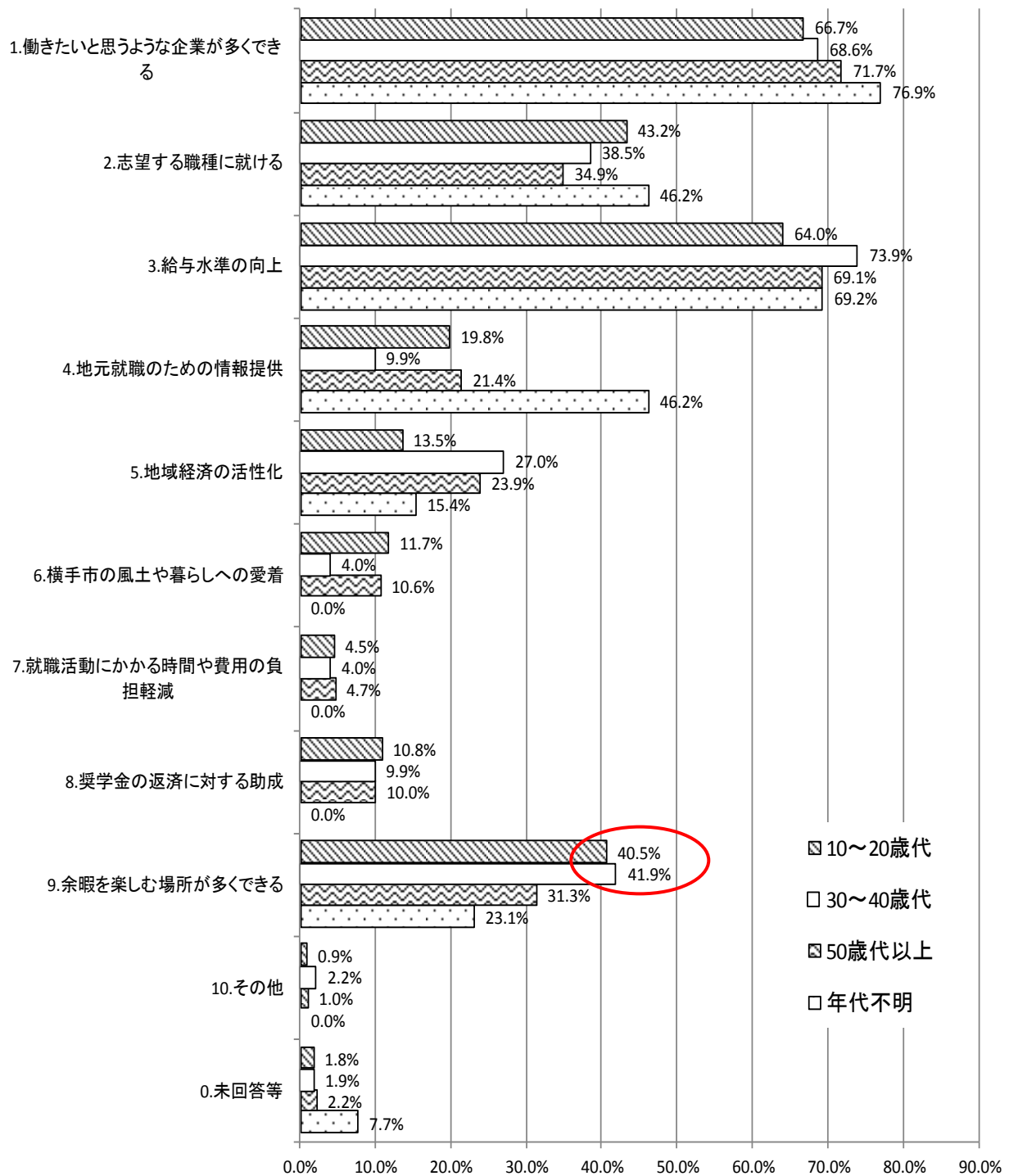


※複数回答のため、各選択肢の合計は100%を超えます

(問26のつづき)

○年代別では、10歳代から40歳代が特に「9. 余暇を楽しむ場所が多くできる」ことが必要と考えている。

(平成29年度回答者数=1,207)



※複数回答のため、各選択肢の合計は100%を超えます。

関連する自由記載（10歳代と20歳代の意見を抜粋）

○ ハローワークで求人を見てここに行ってみようと思っしてから、入社する前に体験？というか、会社側もここはこうゆう仕事内容です、こうゆう会社ですというのを直接見れる？きける？機会があったら嬉しいなと思います。働くにあたって人と人との関わりは、必ず相性が良いことではないですが、仕方ないことですが、本当に合わない場合もあると思います。1回会社の雰囲気やこれから一緒に働かせてもらう方を見ることによって良く言えば、よし頑張ろう！ってなるだろうし、ちょっとなあと感じる人もいると思います。入ってからこうなっても、すぐ辞めるわけにもいかないと思うので、嫌な気持ちのままズルズル働くので態度にも出るんでないかなあと思ったりしました。文章わかりづらくてすみません。少しでも伝わったら嬉しいです。求人票のイメージと実際に行ってみたら違うのは人それぞれの思い方で、どうしても変わってしまうと思います。ですが、本当に嘘だったり、ずっとうまく流されたりするのは良くないと思います。求人票を出すにあたってその会社を1回見に行っからの内容にするなど、何かあったら嬉しいです。

（20歳代・女性・大雄）

○ 秋田に、横手に、もっと人が残れるように真剣に取り組んでください。みんないなくなりました。

（10歳代・男性・十文字）

○ 若者が住み続けたいと思えるような市にして欲しい。働きたいと思える企業や、若者が集える（遊べる）施設をもっと増やしてほしい。

（20歳代・女性・平鹿）

○ もし持病を持っていても元気に生活に全く問題がない場合、マイナスになることなく市職員に採用されるという横手市であって欲しいと願っております。県外進学した子ども達が、横手で奨学金を返済しながら働ける企業の誘致も頑張っって欲しいです。

（10歳代・男性・十文字）

○ 子育て支援も重要ということは承知していますが、若者がずっと暮らしたいと思える環境整備（例えば、大学で学んだことが生かせる企業、給与等）をもっと前面に出してPRしてほしいと思います。私の周りでも「学んだことを生かせる企業があれば県内に残ったのに（高卒、大卒どちらも）」と話す県外就職者がたくさんいます。素敵で暮らしやすい横手市だからこそ、若者が戻っってくる街になるといいなと思っています。

（20歳代・女性・横手）

○ 横手市にずっと住みたいと思っているので、子育て世代やお年寄りだけでなく、秋田に残っている若者や学生が住みやすく、働きつづけられる市であっしてほしいと思います。

（20歳代・女性・横手）

○ 保育士になるため、2年制の短大に通っています。地元の友達と就職の話をしませんが、「地元には戻りたいけど就職先が少ない、あつたとしても給料が低いので、実家暮らししかできないよね。」という話に絶対なります。保育士は子どもの命を預かって仕事量も多いけどまだまだ給料は低いので地元に戻ろうか迷っています。みんな戻りたい気持ちはあるので、その部分少しでも改善して頂けるとありがたいです。

（10歳代・女性・平鹿）

6 雪対策と道路交通について

問27. 横手市の雪対策事業について、あなたの満足度をお聞かせください。
(○はそれぞれ1つ)

○ 全体的に「満足」「やや満足」が半数程度を超えるが、生活道路・歩道の除排雪、大雪に関連する情報提供について、「やや不満」の割合が30%を超えている。

【各項目の上段が平成29年度、下段が平成28年度の数値】

単位：%

項目	満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答等
1.市道のうち幹線道路の除排雪 (主な集約を結ぶ幅の広い道路)	23.3 (21.2)	51.4 (52.4)	16.4 (18.1)	6.1 (2.2)	2.8 (1.6)
2.市道のうち生活道路の除排雪 (幹線道路以外の道路)	13.3 (13.3)	39.9 (43.3)	31.8 (30.1)	11.9 (2.2)	3.0 (1.6)
3.歩道の除排雪	8.1 (9.4)	39.9 (43.3)	35.7 (31.7)	12.7 (2.0)	3.8 (2.0)
4.大雪に関連する道路状況や除雪に関する情報提供	9.4 (7.6)	41.7 (42.2)	37.2 (36.4)	8.5 (2.1)	3.1 (2.5)

※網かけは、一番多数となった満足度。

関連する自由記載（抜粋）

- 冬の除雪、私の所は美郷町とすぐ隣になっていますが、横手の除雪は余りにも、雑！！美郷町の除雪を少しは見習ってほしい。(平安の風わたる公園の境いで、すぐ、分かります)今は学校のスクールバスも通りますが、冬は道路が3車線になったりで腹立たしいかぎりです！！
(60歳代・女性・横手)
- 排雪の予算を取ってもらいたい。駐車場が狭くなっているのが困る。
(30歳代・女性・横手)
- 雪、地域差がある。キレイに除雪されている地域もあれば、本当に同じ市内かと思うような雑な除雪のところもあるので、改善してほしい。流雪溝を増やしてほしい。
(30歳代・女性・十文字)
- 冬期間の除排雪も丁寧に対応してもらっていると思いますが、道路によって除排雪の状況に差があると感じることがあります。
(50歳代・女性・横手)

問 2 8 . 横手市の道路と道路交通について、あなたの満足度をお聞かせください。
(○はそれぞれ 1 つ)

○ 全体的に「満足」「やや満足」が半数程度を超えるが、市道の交通安全対策について、「不満」「やや不満」の割合が 4 6 . 5 % となっている。

【各項目の上段が平成 29 年度、下段が平成 28 年度の数值】

単位：%

項目	満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答等
1.自動車通行の円滑さ	12.9 (15.9)	65.2 (65.4)	15.1 (13.9)	3.0 (2.6)	3.9 (2.2)
2.市道のうち幹線道路の整備状況 (主な集約を結ぶ幅の広い道路)	11.9 (14.2)	60.8 (66.2)	20.4 (14.3)	3.1 (3.2)	3.8 (2.2)
3.市道のうち生活道路の整備状況 (幹線道路以外の道路)	7.9 (10.6)	52.6 (57.1)	29.1 (25.9)	6.4 (4.3)	4.0 (2.0)
4.市道の交通安全対策 (カーブミラー、 ガードレール、街路灯、歩道や側溝等)	6.7 (7.2)	44.0 (47.5)	37.0 (33.9)	9.5 (9.2)	2.9 (2.1)

※網かけは、一番多数となった満足度。

関連する自由記載 (抜粋)

○ 横手駅西口から駅前まで出れる道路があれば、流れ的にも良くなると思います。大仙市の駅の周りは東西南北どこからも駅に向かう事ができ、その為、街の活性化につながっていると思います。

(50 歳代・男性・横手)

○ 通勤時、道路は広くしてもいつも車が渋滞する場所は同じなのでそれをなんとかして欲しい (十文字～だご間)

(60 歳代・女性・十文字)

○ 十文字町の旧国道 13 号線、梨木から町内に向かって車を運転して、いつも思っているのですが深夜の街灯は、あんなに必要なのでしょうか。一度、走ってみて下さい。

(50 歳代・女性・十文字)

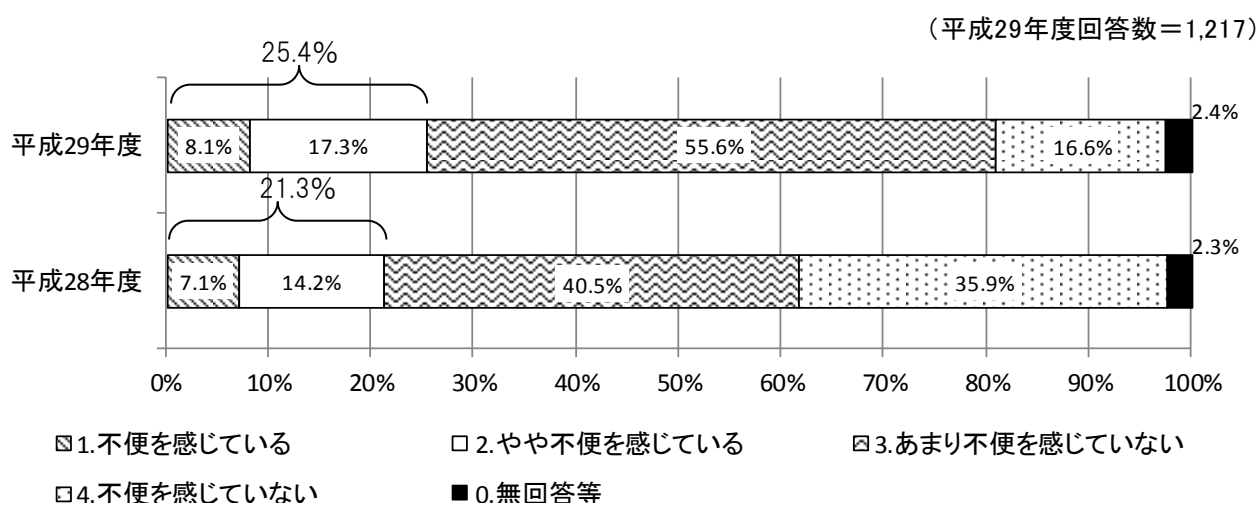
○ 冬道塩カリまきすぎ。新車が一年で足廻りがサビだらけ。アンケート取るだけではなく、行動してください！！あなたに言っています！！何言っただこいつと思われてもかまいません。私が 30 代になる前になにも変わっていなければ県外へ移ります…

(20 歳代・男性・山内)

7 移動・公共交通について

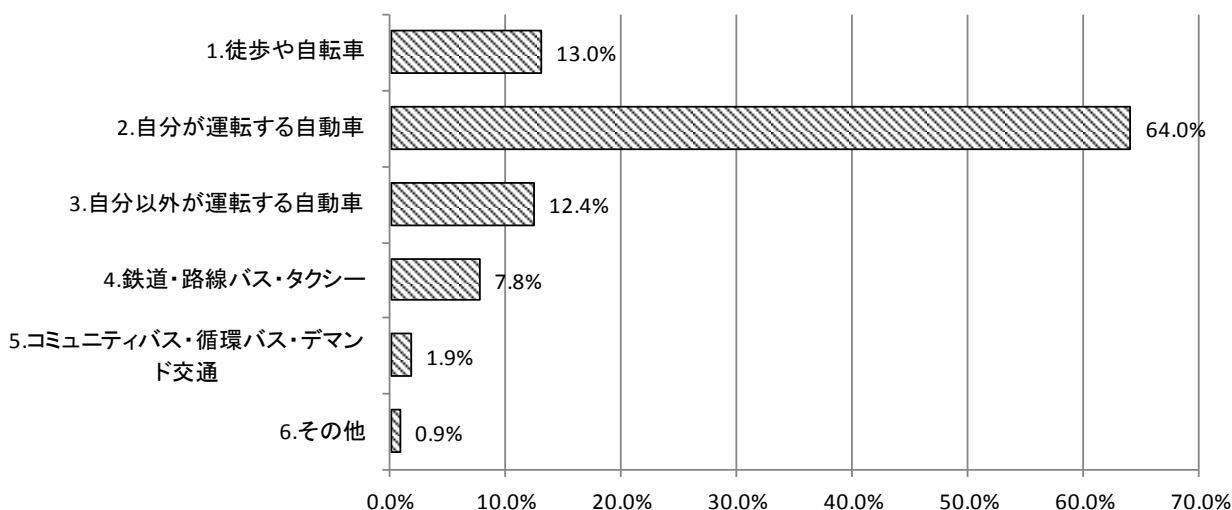
問29. 日常生活を送る上で、移動に不便を感じていますか。(〇はひとつ)

- 全体の25.4%が「1. 不便を感じている」「2. やや不便を感じている」と回答し、前回調査時よりも4.1%増加。
- 「1」「2」と回答した人の主な交通手段は「2. 自分が運転する自動車」。



【市内の移動における主な交通手段】

対象：「1. 不便を感じている」「2. やや不便を感じている」と回答した309人



横手市まちづくりアンケート

関連する自由記載

○ 公共交通機関をもう少し活用したい。便数増加や料金の値下げ、より活用しやすい方法を検討してほしい。高速道路の車線が増えるよう交渉してほしい。

(20歳代・女性・増田)

○ デマンドは大変ありがたいので続けてほしいが、利用できる区間が決まっていたり、デマンド運行中のシールを貼るのは、利用者にとって、不便だったり、いやな気持ちになるらしい。家族が送迎できない時や、高齢者、障害者などが主に利用すると思うので、改善していただければありがたい。デマンドを利用する家族が3人いるので、ぜひよろしくお願いします。できれば、予約なしや、時間帯の制限もなくしていただければ助かります。上下水道については要望書などを集めたりしなくても良いように早急に、全市内が上水道になるようにしてほしい。

(50歳代・女性・雄物川)

○ 将来車に乗れなくなる老人がたくさんおります。そうなった時は、病院行きの朝と帰りの1日1度でいいから小さな乗り合いバスがあると安心だなと思ってます。

(70歳代以上・女性・雄物川)

○ 広い市を維持し続けるコストよりもスモールシティ化して商業や交通の充実をするコストの方が効果的である。

(40歳代・男性・横手)

(単位:「人」「%」)

		1 不便を感じている		2 やや不便を感じている		3 あまり不便を感じていない		4 不便を感じていない		無回答等		総計
性別	男性	44	8.1	83	15.2	314	57.5	95	17.4	10	1.8	546
	女性	55	8.4	125	19.0	354	53.8	107	16.3	17	2.6	658
	未回答		0.0	2	15.4	9	69.2		0.0	2	15.4	13
	総計	99	8.1	210	17.3	677	55.6	202	16.6	29	2.4	1,217
年齢	10歳代	5	12.5	5	12.5	27	67.5	3	7.5		0.0	40
	20歳代	9	12.7	10	14.1	40	56.3	11	15.5	1	1.4	71
	30歳代	13	8.3	27	17.3	96	61.5	18	11.5	2	1.3	156
	40歳代	15	9.0	31	18.7	90	54.2	25	15.1	5	3.0	166
	50歳代	14	5.7	35	14.3	154	63.1	39	16.0	2	0.8	244
	60歳代	20	5.4	72	19.3	187	50.1	82	22.0	12	3.2	373
	70歳代以上	23	14.9	28	18.2	74	48.1	23	14.9	6	3.9	154
	未回答		0.0	2	15.4	9	69.2	1	7.7	1	7.7	13
総計	99	8.1	210	17.3	677	55.6	202	16.6	29	2.4	1,217	
地域	横手	39	8.7	81	18.0	255	56.8	62	13.8	12	2.7	449
	増田	13	13.5	17	17.7	42	43.8	23	24.0	1	1.0	96
	平鹿	8	5.5	34	23.3	84	57.5	19	13.0	1	0.7	146
	雄物川	12	9.0	19	14.3	75	56.4	24	18.0	3	2.3	133
	大森	5	6.2	12	14.8	40	49.4	21	25.9	3	3.7	81
	十文字	9	5.0	28	15.5	108	59.7	31	17.1	5	2.8	181
	山内	5	9.1	11	20.0	32	58.2	7	12.7		0.0	55
	大雄	8	12.3	6	9.2	33	50.8	15	23.1	3	4.6	65
	未回答		0.0	2	18.2	8	72.7		0.0	1	9.1	11
	総計	99	8.1	210	17.3	677	55.6	202	16.6	29	2.4	1,217

問30. 公共交通について、あなたの満足度をお聞かせください。(○はそれぞれ1つ)

- 全体的に「やや不満」「不満」と回答した人が、「満足」「やや満足」と回答した人を上回っている。
- 特に「2. 鉄道の本数等の便利さ」について、「やや不満」「不満」にシフトしている。

【各項目の上段が平成29年度、下段が平成28年度の数值】

単位：%

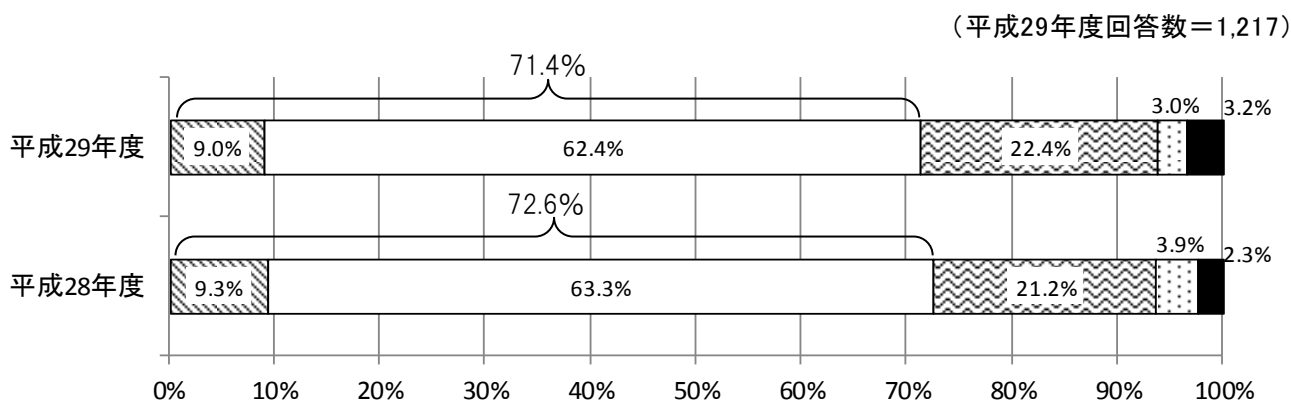
項目	満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答等
1.路線バスの本数や経路等の便利さ	3.2 (5.9)	34.3 (33.7)	35.0 (34.9)	20.0 (18.6)	7.6 (6.9)
2 鉄道の本数等の便利さ	3.0 (5.5)	33.9 (36.0)	35.6 (33.9)	18.2 (16.6)	9.2 (8.0)
3.駅や主要なバス停での乗り換え (電車・バス・タクシー等へ)の便利さ	3.5 (6.4)	37.9 (38.9)	34.2 (33.7)	15.6 (13.4)	8.9 (7.6)

※網かけは、一番多数となった満足度。

8 まちなみ・景観について

問3 1. 横手市のまちなみや景観が、調和や秩序が保たれた形で形成・保全されていると思いますか。(〇はひとつ)

〇 全体の7割以上が、「1. よく形成・保存されている」「2. まあまあ形成・保全されている」と回答。



- 1.よく形成・保全されていると思う
- 2.まあまあ形成・保全されていると思う
- 3.あまり形成・保全されていないと思う
- 4.形成・保全されていないと思う
- 0.無回答等

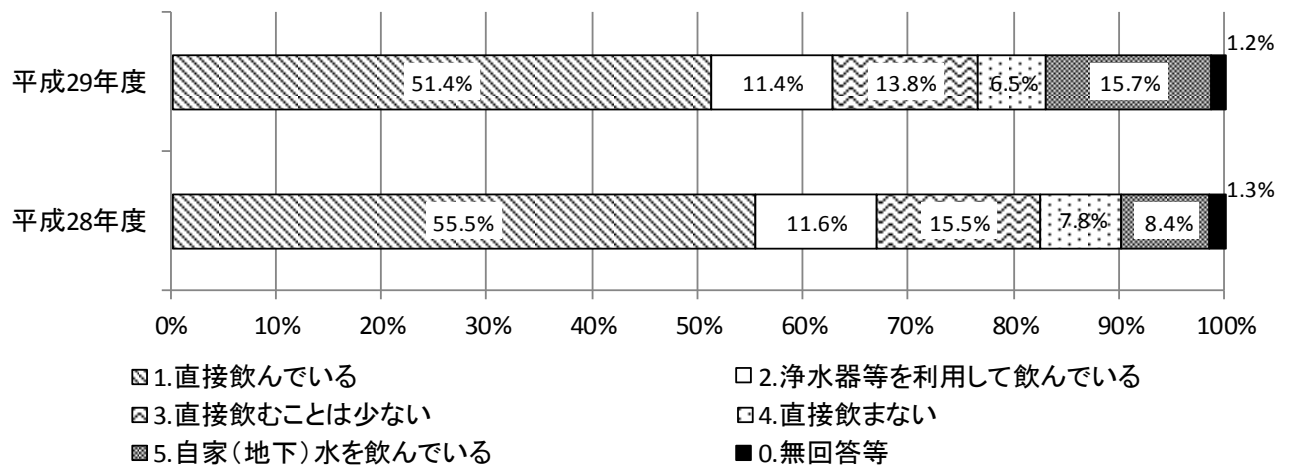
(単位:「人」「%」)

		1 よく形成・保全されていると思う	2 まあまあ形成・保全されていると思う	3 あまり形成・保全されていないと思う	4 形成・保全されていないと思う	無回答等	総計					
性別	男性	49	9.0	334	61.2	133	24.4	15	2.7	15	2.7	546
	女性	59	9.0	417	63.4	139	21.1	21	3.2	22	3.3	658
	未回答	2	15.4	8	61.5	1	7.7	0.0	0.0	2	15.4	13
総計		110	9.0	759	62.4	273	22.4	36	3.0	39	3.2	1,217
年齢	10歳代	12	30.0	21	52.5	5	12.5	2	5.0		0.0	40
	20歳代	10	14.1	46	64.8	10	14.1	5	7.0		0.0	71
	30歳代	24	15.4	97	62.2	27	17.3	4	2.6	4	2.6	156
	40歳代	22	13.3	109	65.7	30	18.1	5	3.0		0.0	166
	50歳代	10	4.1	161	66.0	63	25.8	7	2.9	3	1.2	244
	60歳代	23	6.2	228	61.1	94	25.2	8	2.1	20	5.4	373
	70歳代以上	8	5.2	87	56.5	43	27.9	5	3.2	11	7.1	154
	未回答	1	7.7	10	76.9	1	7.7	0.0	0.0	1	7.7	13
総計		110	9.0	759	62.4	273	22.4	36	3.0	39	3.2	1,217
地域	横手	42	9.4	290	64.6	94	20.9	14	3.1	9	2.0	449
	増田	13	13.5	57	59.4	23	24.0		0.0	3	3.1	96
	平鹿	8	5.5	103	70.5	28	19.2	4	2.7	3	2.1	146
	雄物川	7	5.3	81	60.9	34	25.6	4	3.0	7	5.3	133
	大森	8	9.9	54	66.7	9	11.1	5	6.2	5	6.2	81
	十文字	22	12.2	98	54.1	48	26.5	6	3.3	7	3.9	181
	山内	4	7.3	29	52.7	19	34.5	2	3.6	1	1.8	55
	大雄	5	7.7	38	58.5	18	27.7	1	1.5	3	4.6	65
	未回答	1	9.1	9	81.8		0.0	0.0	0.0	1	9.1	11
	総計		110	9.0	759	62.4	273	22.4	36	3.0	39	3.2

9 上下水道について

問3 2. 市の水道水を直接飲んでいきますか。(〇はひとつ)

(平成29年度回答数=1,217)



- ▣ 1. 直接飲んでいる
- ▣ 2. 浄水器等を利用して飲んでいる
- ▣ 3. 直接飲むことは少ない
- ▣ 4. 直接飲まない
- ▣ 5. 自家(地下)水を飲んでいる
- 0. 無回答等

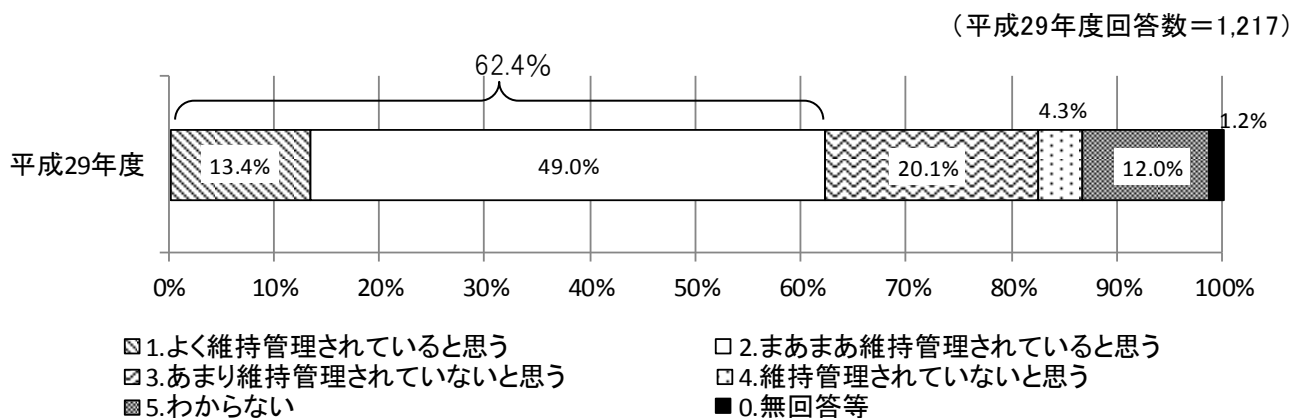
(単位:「人」「%」)

		1 直接飲んでいる		2 浄水器等を利用して飲んでいる		3 直接飲むことは少ない		4 直接飲まない		5 自家(地下)水を飲んでいる		無回答等		総計
性別	男性	315	57.7	55	10.1	77	14.1	31	5.7	63	11.5	5	0.9	546
	女性	304	46.2	82	12.5	91	13.8	47	7.1	126	19.1	8	1.2	658
	未回答	6	46.2	2	15.4		0.0	1	7.7	2	15.4	2	15.4	13
	総計	625	51.4	139	11.4	168	13.8	79	6.5	191	15.7	15	1.2	1,217
年齢	10歳代	22	55.0	8	20.0	5	12.5	2	5.0	3	7.5		0.0	40
	20歳代	33	46.5	13	18.3	6	8.5	5	7.0	14	19.7		0.0	71
	30歳代	70	44.9	19	12.2	28	17.9	15	9.6	22	14.1	2	1.3	156
	40歳代	96	57.8	12	7.2	21	12.7	15	9.0	21	12.7	1	0.6	166
	50歳代	129	52.9	25	10.2	39	16.0	12	4.9	38	15.6	1	0.4	244
	60歳代	194	52.0	43	11.5	46	12.3	18	4.8	65	17.4	7	1.9	373
	70歳代以上	77	50.0	15	9.7	23	14.9	11	7.1	25	16.2	3	1.9	154
	未回答	4	30.8	4	30.8		0.0	1	7.7	3	23.1	1	7.7	13
総計	625	51.4	139	11.4	168	13.8	79	6.5	191	15.7	15	1.2	1,217	
地域	横手	245	54.6	74	16.5	64	14.3	37	8.2	24	5.3	5	1.1	449
	増田	40	41.7	7	7.3	8	8.3	6	6.3	33	34.4	2	2.1	96
	平鹿	56	38.4	9	6.2	21	14.4	3	2.1	57	39.0		0.0	146
	雄物川	68	51.1	11	8.3	13	9.8	11	8.3	29	21.8	1	0.8	133
	大森	50	61.7	8	9.9	16	19.8	4	4.9	1	1.2	2	2.5	81
	十文字	97	53.6	19	10.5	27	14.9	6	3.3	30	16.6	2	1.1	181
	山内	33	60.0	3	5.5	4	7.3	5	9.1	9	16.4	1	1.8	55
	大雄	32	49.2	5	7.7	15	23.1	6	9.2	6	9.2	1	1.5	65
	未回答	4	36.4	3	27.3		0.0	1	9.1	2	18.2	1	9.1	11
	総計	625	51.4	139	11.4	168	13.8	79	6.5	191	15.7	15	1.2	1,217

10 公園・緑地について

問33. お住まいの地域にある公園や緑地（トイレ、東屋、遊具等を含む）は、適正に維持管理されていると思いますか。（○はひとつ）

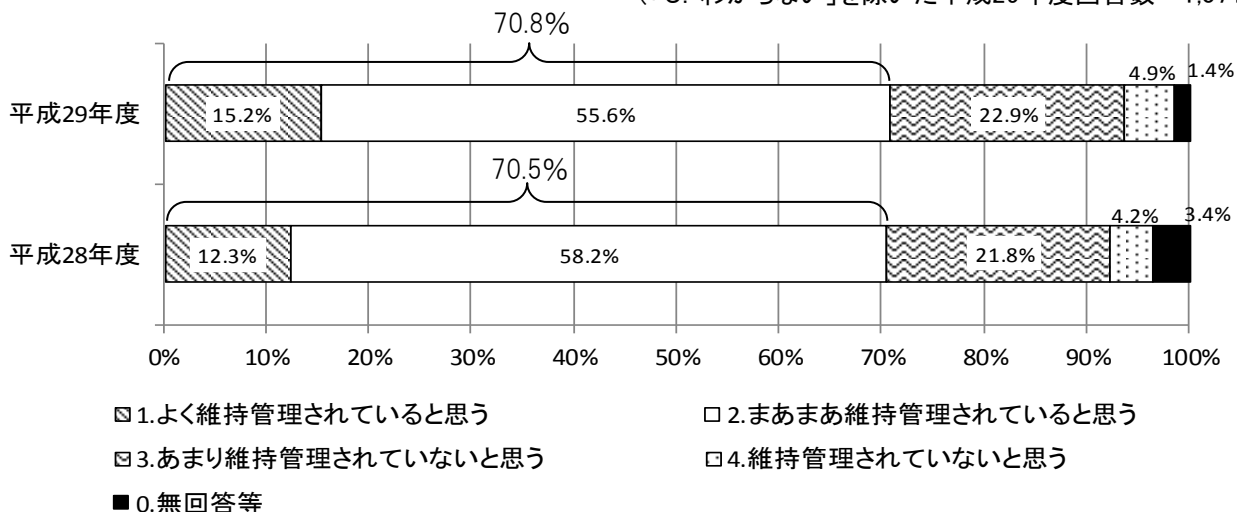
- 今回は選択肢に「5. わからない」を追加。（前回のアンケート意見を反映）
 ○ 前回との参考比較では、前回と同じ70%以上が「1. よく維持管理されていると思う」「2. まあまあ維持管理されていると思う」と回答。



【参考比較】

平成29年度の回答「5. わからない」を除いた結果と平成28年度結果の比較

（「5. わからない」を除いた平成29年度回答数=1,071）



関連する自由記載

○ 児童公園などに設置してあるトイレなどがとても汚れているので定期的に誰が掃除をするか、決めた方が良くと思います。

(60歳代・女性・十文字)

○ 横手公園のバラ園はその後どうなったのでしょうか。笑顔の少ない街のような気がします。他の方達にも声かけ、案内とか優しさのある街であって欲しいです。

(70歳代以上・女性・横手)

(単位:「人」「%」)

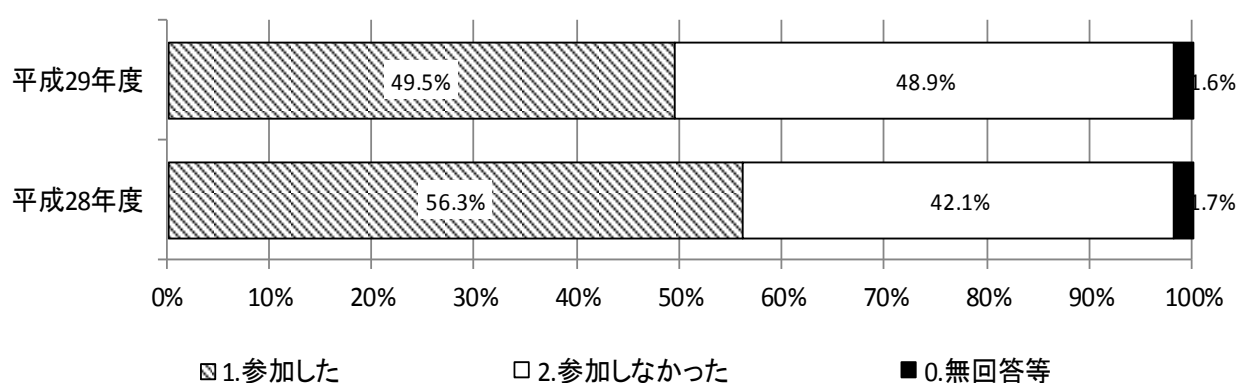
		1 良く維持管理されていると思う		2 まあまあ維持管理されていると思う		3 あまり維持管理されていないと思う		4 維持管理されていないと思う		5 わからない		無回答等		総計
性別	男性	70	12.8	286	52.4	106	19.4	24	4.4	55	10.1	5	0.9	546
	女性	92	14.0	305	46.4	135	20.5	28	4.3	90	13.7	8	1.2	658
	未回答	1	7.7	5	38.5	4	30.8		0.0	1	7.7	2	15.4	13
	総計	163	13.4	596	49.0	245	20.1	52	4.3	146	12.0	15	1.2	1,217
年齢	10歳代	9	22.5	15	37.5	12	30.0	3	7.5	1	2.5		0.0	40
	20歳代	9	12.7	36	50.7	12	16.9	8	11.3	6	8.5		0.0	71
	30歳代	23	14.7	79	50.6	24	15.4	6	3.8	22	14.1	2	1.3	156
	40歳代	36	21.7	81	48.8	32	19.3	5	3.0	12	7.2		0.0	166
	50歳代	23	9.4	138	56.6	47	19.3	9	3.7	26	10.7	1	0.4	244
	60歳代	40	10.7	179	48.0	79	21.2	16	4.3	51	13.7	8	2.1	373
	70歳代以上	23	14.9	63	40.9	34	22.1	5	3.2	26	16.9	3	1.9	154
	未回答		0.0	5	38.5	5	38.5		0.0	2	15.4	1	7.7	13
総計	163	13.4	596	49.0	245	20.1	52	4.3	146	12.0	15	1.2	1,217	
地域	横手	61	13.6	230	51.2	74	16.5	22	4.9	56	12.5	6	1.3	449
	増田	15	15.6	45	46.9	21	21.9	4	4.2	9	9.4	2	2.1	96
	平鹿	16	11.0	70	47.9	29	19.9	6	4.1	25	17.1		0.0	146
	雄物川	22	16.5	64	48.1	29	21.8	4	3.0	14	10.5		0.0	133
	大森	11	13.6	38	46.9	18	22.2	3	3.7	9	11.1	2	2.5	81
	十文字	24	13.3	89	49.2	37	20.4	8	4.4	21	11.6	2	1.1	181
	山内	7	12.7	33	60.0	10	18.2	2	3.6	2	3.6	1	1.8	55
	大雄	6	9.2	24	36.9	22	33.8	3	4.6	9	13.8	1	1.5	65
	未回答	1	9.1	3	27.3	5	45.5		0.0	1	9.1	1	9.1	11
	総計	163	13.4	596	49.0	245	20.1	52	4.3	146	12.0	15	1.2	1,217

11 地域社会・コミュニティについて

問34. 過去1年間に、町内会等の地域活動や行事に参加しましたか。(○はひとつ)

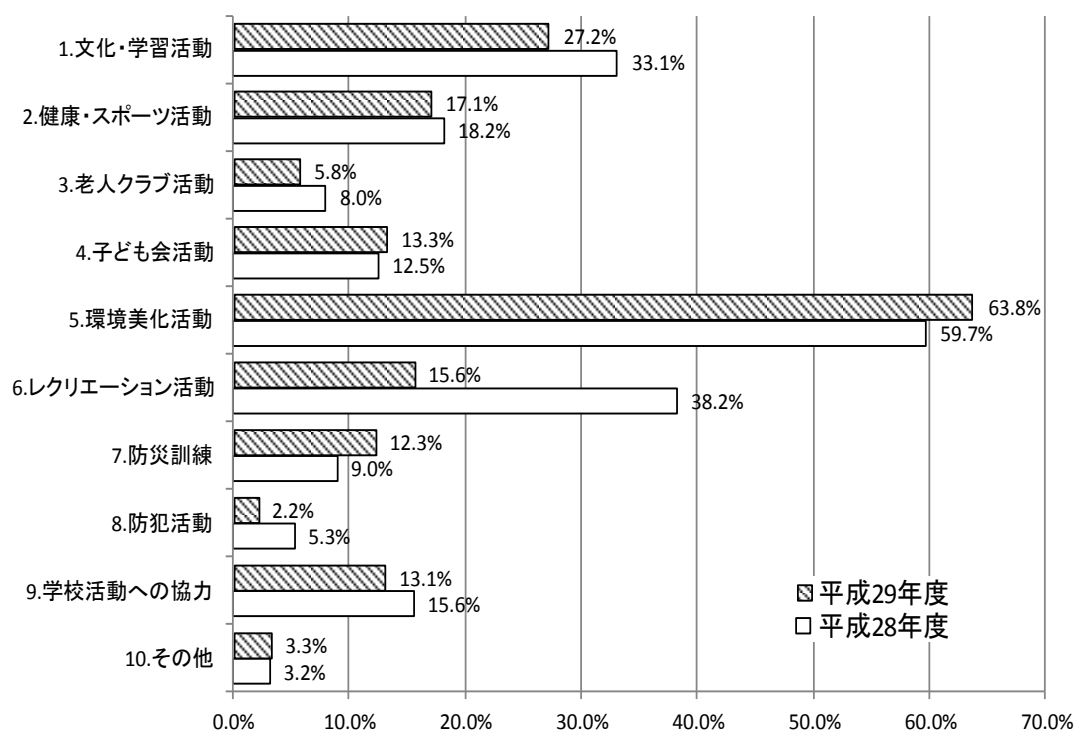
○ 前回よりも「1. 参加した」と回答した人が6.8%少ない。

(平成29年度回答数=1,217)



【「1. 参加したと」回答した49.5%が参加した活動】

(「1. 参加した」と回答した人数・平成29年度=602)

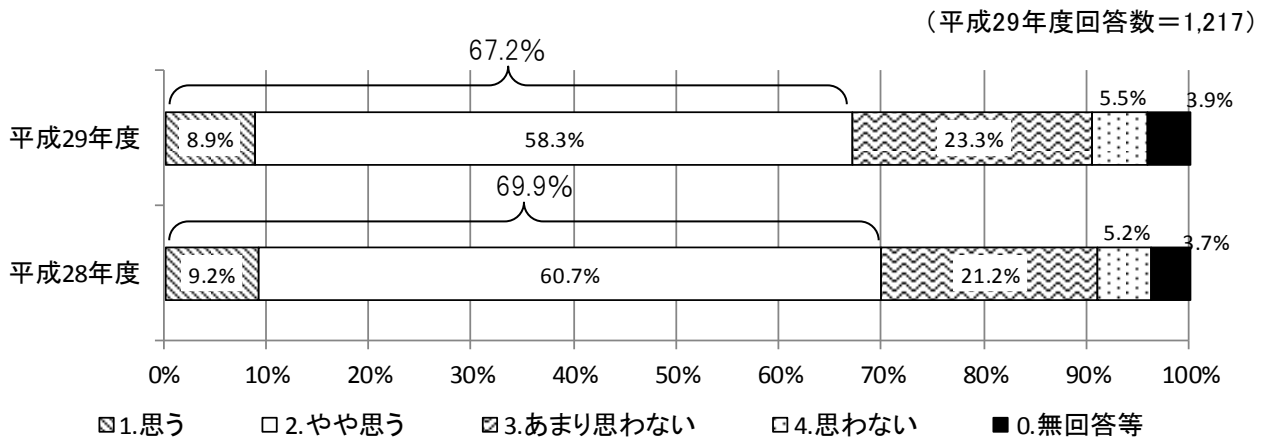


※複数回答可のため、各選択肢の合計は100%を超えます

12 男女共同参画社会について

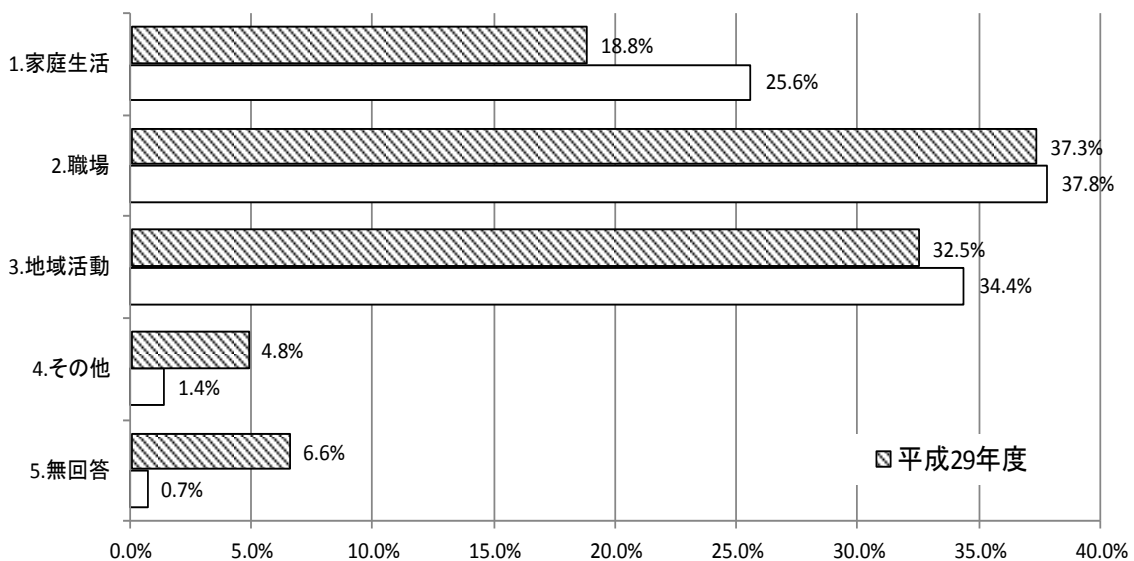
問35. ご自身の実感として、横手市が性別に関わらずみんなが活躍できる「男女共同参画社会」になってきていると思いますか。(〇はひとつ)

○ 「3. あまり思わない」「4. 思わない」場合に、「1. 家庭生活」を挙げる人の割合が前回よりも6.8%少ない。



【「3. あまり思わない」「4. 思わない」と67.2%が「思わない」場面】

(「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した人数・平成29年度=351)



13 各分野への「重要度」「満足度」

問36. まちづくりの各分野への「重要度」と「満足度」をお聞きします。
 (「重要度」と「満足度」それぞれに○を1つずつ)

項目	重要度					現在の満足度						
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	非常に不満		
例) ○○の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
○○○の推進、○○○の支援、○○○の相談 (※上の数字は各項目の点数)												

○ 設問ごとの平均点

項目	重要度	満足度	項目	重要度	満足度
1.児童福祉(子育て支援)の充実	5.16	3.96	18.商業の振興	4.65	3.44
2.保健活動・健康づくりの推進	4.96	4.05	19.工業の振興	4.73	3.50
3.高齢者福祉の充実	5.06	3.81	20.観光の振興	4.66	3.61
4.障がい者(児)福祉の充実	4.88	3.89	21.企業誘致の推進と雇用対策	5.12	3.15
5.低所得者福祉の向上	4.66	3.72	22.雪対策の充実	5.29	3.49
6.地域福祉の向上	4.67	3.95	23.道路網の整備	4.72	3.74
7.学校教育の充実	5.03	4.02	24.公共交通機関の利便性の向上	4.86	3.45
8.教育環境の整備	4.91	4.06	25.市街地等各拠点地区の整備	4.37	3.87
9.スポーツ・レクリエーションの振興	4.22	3.97	26.上水道の整備	5.01	3.94
10.生涯学習の推進	4.19	4.03	27.下水道等の整備	4.87	3.85
11.地域文化の振興	4.03	4.04	28.公園・緑地の整備	4.42	3.84
12.交通安全・防犯対策の推進	4.80	4.12	29.市民との協働・活動支援	4.30	3.75
13.自然環境と快適な生活環境の保全	4.78	3.92	30.男女共同参画社会づくりの推進	4.33	3.74
14.消防・防災体制の充実	4.98	4.14	31.広報・広聴の推進	4.38	3.86
15.環境保全政策の充実	4.83	4.23	32.他自治体等との連携・交流の推進	4.10	3.86
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	4.51	4.03	33.成果重視の行政運営の確立	4.45	3.58
17.農林業の振興	4.73	3.73	34.市職員の資質向上	4.79	3.43
			35.横手市の取り組み全般の満足度		3.68

横手市まちづくりアンケート

○ 各項目の回答数

【重要度】

項目	6.非常に重要	5.重要	4.やや重要	3.あまり重要でない	2.重要でない	1.全く重要でない	0.無回答	合計	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	425	523	163	22	9	1	74	1,217	5,902	5.16
2.保健活動・健康づくりの推進	292	566	255	23	8	2	71	1,217	5,689	4.96
3.高齢者福祉の充実	363	538	213	24	10	2	67	1,217	5,814	5.06
4.障がい者(児)福祉の充実	259	540	286	42	5	2	83	1,217	5,536	4.88
5.低所得者福祉の向上	241	402	390	90	13	6	75	1,217	5,318	4.66
6.地域福祉の向上	199	464	396	66	14	1	77	1,217	5,325	4.67
7.学校教育の充実	348	523	232	29	5	1	79	1,217	5,729	5.03
8.教育環境の整備	286	531	277	38	9	1	75	1,217	5,612	4.91
9.スポーツ・レクリエーションの振興	128	320	418	232	28	14	77	1,217	4,806	4.22
10.生涯学習の推進	81	303	527	212	10	6	78	1,217	4,771	4.19
11.地域文化の振興	81	243	487	282	26	13	85	1,217	4,560	4.03
12.交通安全・防犯対策の推進	256	485	323	66	7	3	77	1,217	5,468	4.80
13.自然環境と快適な生活環境の保全	242	472	362	54	4	2	81	1,217	5,432	4.78
14.消防・防災体制の充実	318	526	262	31	5	1	74	1,217	5,690	4.98
15.環境保全政策の充実	239	531	326	37	8	1	75	1,217	5,521	4.83
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	176	419	401	106	33	5	77	1,217	5,144	4.51
17.農林業の振興	219	492	348	49	22	3	84	1,217	5,360	4.73
18.商業の振興	210	427	408	79	3	9	81	1,217	5,279	4.65
19.工業の振興	232	467	359	67	7	5	80	1,217	5,383	4.73
20.観光の振興	195	486	366	81	9	6	74	1,217	5,331	4.66
21.企業誘致の推進と雇用対策	435	440	237	19	5	3	78	1,217	5,828	5.12
22.雪対策の充実	502	491	142	8	2	1	71	1,217	6,064	5.29
23.道路網の整備	223	452	376	68	7	1	90	1,217	5,321	4.72
24.公共交通機関の利便性の向上	291	461	334	44	6	2	79	1,217	5,533	4.86
25.市街地等各拠点地区の整備	141	342	448	162	14	6	104	1,217	4,868	4.37
26.上水道の整備	374	474	244	46	6	3	70	1,217	5,743	5.01
27.下水道等の整備	292	485	303	51	8	4	73	1,216	5,562	4.87
28.公園・緑地の整備	127	391	484	131	9	5	70	1,217	5,069	4.42
29.市民との協働・活動支援	125	337	479	177	20	7	71	1,216	4,929	4.30
30.男女共同参画社会づくりの推進	133	343	460	180	12	9	80	1,217	4,926	4.33
31.広報・広聴の推進	147	356	461	146	14	13	80	1,217	4,985	4.38
32.他自治体等との連携・交流の推進	77	300	481	225	35	17	82	1,217	4,648	4.10
33.成果重視の行政運営の確立	169	372	421	129	26	7	93	1,217	5,004	4.45
34.市職員の資質向上	298	435	307	83	14	6	74	1,217	5,474	4.79

平均 4.69
最大 5.29
最小 4.03

【満足度】

項目	6.非常に満足	5.満足	4.やや満足	3.やや不満	2.不満	1.非常に不満	0.無回答	合計	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	45	214	584	227	41	12	94	1,217	4,451	3.96
2.保健活動・健康づくりの推進	36	258	606	197	21	10	89	1,217	4,573	4.05
3.高齢者福祉の充実	30	198	542	272	83	11	81	1,217	4,331	3.81
4.障がい者(児)福祉の充実	26	195	574	257	38	10	117	1,217	4,284	3.89
5.低所得者福祉の向上	32	151	542	285	67	35	105	1,217	4,139	3.72
6.地域福祉の向上	23	201	646	206	31	10	100	1,217	4,417	3.95
7.学校教育の充実	45	230	596	185	36	15	110	1,217	4,446	4.02
8.教育環境の整備	45	275	560	193	30	16	98	1,217	4,540	4.06
9.スポーツ・レクリエーションの振興	30	232	607	199	28	23	98	1,217	4,444	3.97
10.生涯学習の推進	38	210	632	200	24	3	110	1,217	4,457	4.03
11.地域文化の振興	40	207	637	183	23	6	121	1,217	4,424	4.04
12.交通安全・防犯対策の推進	52	268	600	172	21	8	96	1,217	4,618	4.12
13.自然環境と快適な生活環境の保全	32	213	584	226	48	15	99	1,217	4,382	3.92
14.消防・防災体制の充実	49	268	621	159	17	6	97	1,217	4,635	4.14
15.環境保全政策の充実	68	321	568	141	20	7	92	1,217	4,755	4.23
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	49	220	618	191	35	6	98	1,217	4,515	4.03
17.農林業の振興	23	146	549	314	68	14	103	1,217	4,156	3.73
18.商業の振興	20	100	454	381	113	52	97	1,217	3,857	3.44
19.工業の振興	20	108	466	380	98	41	104	1,217	3,901	3.50
20.観光の振興	19	113	556	318	100	23	88	1,217	4,080	3.61
21.企業誘致の推進と雇用対策	18	53	330	475	159	83	99	1,217	3,519	3.15
22.雪対策の充実	27	152	404	380	123	56	75	1,217	3,980	3.49
23.道路網の整備	23	167	532	309	47	33	106	1,217	4,155	3.74
24.公共交通機関の利便性の向上	21	123	432	367	120	58	96	1,217	3,868	3.45
25.市街地等各拠点地区の整備	25	184	602	213	59	14	120	1,217	4,249	3.87
26.上水道の整備	40	245	554	218	60	19	81	1,217	4,474	3.94
27.下水道等の整備	40	235	511	242	69	36	84	1,217	4,359	3.85
28.公園・緑地の整備	29	180	601	241	73	9	84	1,217	4,356	3.84
29.市民との協働・活動支援	24	132	599	286	67	15	94	1,217	4,207	3.75
30.男女共同参画社会づくりの推進	20	112	623	290	55	14	103	1,217	4,166	3.74
31.広報・広聴の推進	32	182	614	224	44	29	92	1,217	4,347	3.86
32.他自治体等との連携・交流の推進	23	153	645	237	40	12	107	1,217	4,286	3.86
33.成果重視の行政運営の確立	24	94	514	376	75	28	106	1,217	3,976	3.58
34.市職員の資質向上	31	99	466	340	109	80	92	1,217	3,863	3.43
35.横手市の取り組み全般の満足度	9	150	592	284	77	32	73	1,217	4,210	3.68

平均 3.81
最大 4.23
最小 3.15

【定義】ウエイト平均 重要度(満足度) =
$$\frac{\text{「非常に重要(満足)」} \times 6 + \text{「重要(満足)」} \times 5 + \dots + \text{「全く重要でない(非常に不満)」} \times 1}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

横手市まちづくりアンケート

○ 各項目の回答数の構成割合

【重要度】

項目	6非常に重要	5重要	4やや重要	3あまり重要でない	2重要でない	1全く重要でない	0無回答	合計	「6」「5」割合
1.児童福祉(子育て支援)の充実	34.9%	43.0%	13.4%	1.8%	0.7%	0.1%	6.1%	100.0%	77.90%
2.保健活動・健康づくりの推進	24.0%	46.5%	21.0%	1.9%	0.7%	0.2%	5.8%	100.0%	70.50%
3.高齢者福祉の充実	29.8%	44.2%	17.5%	2.0%	0.8%	0.2%	5.5%	100.0%	74.03%
4.障がい者(児)福祉の充実	21.3%	44.4%	23.5%	3.5%	0.4%	0.2%	6.8%	100.0%	65.65%
5.低所得者福祉の向上	19.8%	33.0%	32.0%	7.4%	1.1%	0.5%	6.2%	100.0%	52.83%
6.地域福祉の向上	16.4%	38.1%	32.5%	5.4%	1.2%	0.1%	6.3%	100.0%	54.48%
7.学校教育の充実	28.6%	43.0%	19.1%	2.4%	0.4%	0.1%	6.5%	100.0%	71.57%
8.教育環境の整備	23.5%	43.6%	22.8%	3.1%	0.7%	0.1%	6.2%	100.0%	67.13%
9.スポーツ・レクリエーションの振興	10.5%	26.3%	34.3%	19.1%	2.3%	1.2%	6.3%	100.0%	36.81%
10.生涯学習の推進	6.7%	24.9%	43.3%	17.4%	0.8%	0.5%	6.4%	100.0%	31.55%
11.地域文化の振興	6.7%	20.0%	40.0%	23.2%	2.1%	1.1%	7.0%	100.0%	26.62%
12.交通安全・防犯対策の推進	21.0%	39.9%	26.5%	5.4%	0.6%	0.2%	6.3%	100.0%	60.89%
13.自然環境と快適な生活環境の保全	19.9%	38.8%	29.7%	4.4%	0.3%	0.2%	6.7%	100.0%	58.67%
14.消防・防災体制の充実	26.1%	43.2%	21.5%	2.5%	0.4%	0.1%	6.1%	100.0%	69.35%
15.環境保全政策の充実	19.6%	43.6%	26.8%	3.0%	0.7%	0.1%	6.2%	100.0%	63.27%
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	14.5%	34.4%	32.9%	8.7%	2.7%	0.4%	6.3%	100.0%	48.89%
17.農林業の振興	18.0%	40.4%	28.6%	4.0%	1.8%	0.2%	6.9%	100.0%	58.42%
18.商業の振興	17.3%	35.1%	33.5%	6.5%	0.2%	0.7%	6.7%	100.0%	52.34%
19.工業の振興	19.1%	38.4%	29.5%	5.5%	0.6%	0.4%	6.6%	100.0%	57.44%
20.観光の振興	16.0%	39.9%	30.1%	6.7%	0.7%	0.5%	6.1%	100.0%	55.96%
21.企業誘致の推進と雇用対策	35.7%	36.2%	19.5%	1.6%	0.4%	0.2%	6.4%	100.0%	71.90%
22.雪対策の充実	41.2%	40.3%	11.7%	0.7%	0.2%	0.1%	5.8%	100.0%	81.59%
23.道路網の整備	18.3%	37.1%	30.9%	5.6%	0.6%	0.1%	7.4%	100.0%	55.46%
24.公共交通機関の利便性の向上	23.9%	37.9%	27.4%	3.6%	0.5%	0.2%	6.5%	100.0%	61.79%
25.市街地等各拠点地区の整備	11.6%	28.1%	36.8%	13.3%	1.2%	0.5%	8.5%	100.0%	39.69%
26.上水道の整備	30.7%	38.9%	20.0%	3.8%	0.5%	0.2%	5.8%	100.0%	69.68%
27.下水道等の整備	24.0%	39.9%	24.9%	4.2%	0.7%	0.3%	6.0%	100.0%	63.90%
28.公園・緑地の整備	10.4%	32.1%	39.8%	10.8%	0.7%	0.4%	5.8%	100.0%	42.56%
29.市民との協働・活動支援	10.3%	27.7%	39.4%	14.6%	1.6%	0.6%	5.8%	100.0%	37.99%
30.男女共同参画社会づくりの推進	10.9%	28.2%	37.8%	14.8%	1.0%	0.7%	6.6%	100.0%	39.11%
31.広報・広聴の推進	12.1%	29.3%	37.9%	12.0%	1.2%	1.1%	6.6%	100.0%	41.33%
32.他自治体等との連携・交流の推進	6.3%	24.7%	39.5%	18.5%	2.9%	1.4%	6.7%	100.0%	30.98%
33.成果重視の行政運営の確立	13.9%	30.6%	34.6%	10.6%	2.1%	0.6%	7.6%	100.0%	44.45%
34.市職員の資質向上	24.5%	35.7%	25.2%	6.8%	1.2%	0.5%	6.1%	100.0%	60.23%

【満足度】

項目	6非常に満足	5満足	4やや満足	3やや不満	2不満	1非常に不満	0無回答	合計	「6」「5」割合
1.児童福祉(子育て支援)の充実	3.7%	17.6%	48.0%	18.7%	3.4%	1.0%	7.7%	100.0%	21.3%
2.保健活動・健康づくりの推進	3.0%	21.2%	49.8%	16.2%	1.7%	0.8%	7.3%	100.0%	24.2%
3.高齢者福祉の充実	2.5%	16.3%	44.5%	22.4%	6.8%	0.9%	6.7%	100.0%	18.7%
4.障がい者(児)福祉の充実	2.1%	16.0%	47.2%	21.1%	3.1%	0.8%	9.6%	100.0%	18.2%
5.低所得者福祉の向上	2.6%	12.4%	44.5%	23.4%	5.5%	2.9%	8.6%	100.0%	15.0%
6.地域福祉の向上	1.9%	16.5%	53.1%	16.9%	2.5%	0.8%	8.2%	100.0%	18.4%
7.学校教育の充実	3.7%	18.9%	49.0%	15.2%	3.0%	1.2%	9.0%	100.0%	22.6%
8.教育環境の整備	3.7%	22.6%	46.0%	15.9%	2.5%	1.3%	8.1%	100.0%	26.3%
9.スポーツ・レクリエーションの振興	2.5%	19.1%	49.9%	16.4%	2.3%	1.9%	8.1%	100.0%	21.5%
10.生涯学習の推進	3.1%	17.3%	51.9%	16.4%	2.0%	0.2%	9.0%	100.0%	20.4%
11.地域文化の振興	3.3%	17.0%	52.3%	15.0%	1.9%	0.5%	9.9%	100.0%	20.3%
12.交通安全・防犯対策の推進	4.3%	22.0%	49.3%	14.1%	1.7%	0.7%	7.9%	100.0%	26.3%
13.自然環境と快適な生活環境の保全	2.6%	17.5%	48.0%	18.6%	3.9%	1.2%	8.1%	100.0%	20.1%
14.消防・防災体制の充実	4.0%	22.0%	51.0%	13.1%	1.4%	0.5%	8.0%	100.0%	26.0%
15.環境保全政策の充実	5.6%	26.4%	46.7%	11.6%	1.6%	0.6%	7.6%	100.0%	32.0%
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	4.0%	18.1%	50.8%	15.7%	2.9%	0.5%	8.1%	100.0%	22.1%
17.農林業の振興	1.9%	12.0%	45.1%	25.8%	5.6%	1.2%	8.5%	100.0%	13.9%
18.商業の振興	1.6%	8.2%	37.3%	31.3%	9.3%	4.3%	8.0%	100.0%	9.9%
19.工業の振興	1.6%	8.9%	38.3%	31.2%	8.1%	3.4%	8.5%	100.0%	10.5%
20.観光の振興	1.6%	9.3%	45.7%	26.1%	8.2%	1.9%	7.2%	100.0%	10.8%
21.企業誘致の推進と雇用対策	1.5%	4.4%	27.1%	39.0%	13.1%	6.8%	8.1%	100.0%	5.8%
22.雪対策の充実	2.2%	12.5%	33.2%	31.2%	10.1%	4.6%	6.2%	100.0%	14.7%
23.道路網の整備	1.9%	13.7%	43.7%	25.4%	3.9%	2.7%	8.7%	100.0%	15.6%
24.公共交通機関の利便性の向上	1.7%	10.1%	35.5%	30.2%	9.9%	4.8%	7.9%	100.0%	11.8%
25.市街地等各拠点地区の整備	2.1%	15.1%	49.5%	17.5%	4.8%	1.2%	9.9%	100.0%	17.2%
26.上水道の整備	3.3%	20.1%	45.5%	17.9%	4.9%	1.6%	6.7%	100.0%	23.4%
27.下水道等の整備	3.3%	19.3%	42.0%	19.9%	5.7%	3.0%	6.9%	100.0%	22.6%
28.公園・緑地の整備	2.4%	14.8%	49.4%	19.8%	6.0%	0.7%	6.9%	100.0%	17.2%
29.市民との協働・活動支援	2.0%	10.8%	49.2%	23.5%	5.5%	1.2%	7.7%	100.0%	12.8%
30.男女共同参画社会づくりの推進	1.6%	9.2%	51.2%	23.8%	4.5%	1.2%	8.5%	100.0%	10.8%
31.広報・広聴の推進	2.6%	15.0%	50.5%	18.4%	3.6%	2.4%	7.6%	100.0%	17.6%
32.他自治体等との連携・交流の推進	1.9%	12.6%	53.0%	19.5%	3.3%	1.0%	8.8%	100.0%	14.5%
33.成果重視の行政運営の確立	2.0%	7.7%	42.2%	30.9%	6.2%	2.3%	8.7%	100.0%	9.7%
34.市職員の資質向上	2.5%	8.1%	38.3%	27.9%	9.0%	6.6%	7.6%	100.0%	10.7%
35.横手市の取り組み全般の満足度	0.7%	12.3%	48.6%	23.3%	6.3%	2.6%	6.0%	100.0%	13.1%

【重要度】

設問を「第2次横手市総合計画」の施策に対応させ、点数の高い順に並べました。

「26 上水道整備」と「27 下水道等の整備」は、施策「5-5 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理」にまとめています。(点数は2項目の平均)

施策番号	施策名称	重要度	順位
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	5.29	1
1-1	子育て支援の充実	5.16	2
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	5.12	3
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	5.06	4
2-1	横手を愛する心と生きる力をはぐくむ学校教育の充実	5.03	5
3-3	災害に強いまちづくりの推進	4.98	6
1-2	健康な心と体づくりの推進	4.96	7
5-5	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	4.94	8
2-2	安心して学べる教育環境の整備	4.91	9
1-4	障がい者(児)福祉の充実	4.88	10
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	4.86	11
3-4	循環型社会の一層の推進	4.83	12
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	4.80	13
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	4.79	14
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	4.78	15
4-1	魅力ある農林業の振興	4.73	16
4-3	活力ある工業の振興	4.73	17
5-2	快適な移動空間の実現	4.72	18
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	4.67	19
1-5	低所得者福祉の充実	4.66	20
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	4.66	21
4-2	活気ある商業の振興	4.65	22
3-5	エネルギーの地産地消の推進	4.51	23
7-1	住民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	4.45	24
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	4.42	25
6-3	情報を共有する環境の整備	4.38	26
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	4.37	27
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	4.33	28
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	4.30	29
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	4.22	30
2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	4.19	31
6-4	市内外との交流連携の推進	4.10	32
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	4.03	33

【満足度】

設問を「第2次横手市総合計画」の施策に対応させ、点数の低い順に並べました。

「26 上水道整備」と「27 下水道等の整備」は、施策「5-5 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理」にまとめています。(点数は2項目の平均)

施策番号	施策名称	満足度	順位
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	3.15	33
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	3.43	32
4-2	活気ある商業の振興	3.44	31
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	3.45	30
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	3.49	29
4-3	活力ある工業の振興	3.50	28
7-1	住民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	3.58	27
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	3.61	26
1-5	低所得者福祉の充実	3.72	25
4-1	魅力ある農林業の振興	3.73	24
5-2	快適な移動空間の実現	3.74	23
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	3.74	22
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	3.75	21
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	3.81	20
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	3.84	19
6-3	情報を共有する環境の整備	3.86	18
6-4	市内外との交流連携の推進	3.86	17
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	3.87	16
1-4	障がい者(児)福祉の充実	3.89	15
5-5	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	3.89	14
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	3.92	13
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	3.95	12
1-1	子育て支援の充実	3.96	11
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	3.97	10
2-1	横手を愛する心と生きる力をはぐくむ学校教育の充実	4.02	9
2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	4.03	8
3-5	エネルギーの地産地消の推進	4.03	7
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	4.04	6
1-2	健康な心と体づくりの推進	4.05	5
2-2	安心して学べる教育環境の整備	4.06	4
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	4.12	3
3-3	災害に強いまちづくりの推進	4.14	2
3-4	循環型社会の一層の推進	4.23	1

重要度・満足度の結果を基に、第2次横手市総合計画の施策の方向性について、4つの領域に分けた散布図に落とし込みます。

低-----重要度-----高

領域Ⅲ	領域Ⅰ
領域Ⅳ	領域Ⅱ

高
|
満足度
|
低

- 領域Ⅰ・・・現状を維持しつつ、コスト削減を目指す
- 領域Ⅱ・・・重点的に満足度の向上を目指す
- 領域Ⅲ・・・満足度を維持しつつ、コスト削減を図る
- 領域Ⅳ・・・行政の関わり方も含めた見直しをしつつ、成果の向上を目指す

(参考) 第2次横手市総合計画の施策一覧

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- 【施策 1-1】 子育て支援の充実
- 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進
- 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進
- 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実
- 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実
- 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成

政策2 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
- 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備
- 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進
- 【施策 2-4】 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進
- 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
- 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全
- 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進
- 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進
- 【施策 3-5】 エネルギーの地産地消の推進

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興
- 【施策 4-2】 活気ある商業の振興
- 【施策 4-3】 活力ある工業の振興
- 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信
- 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

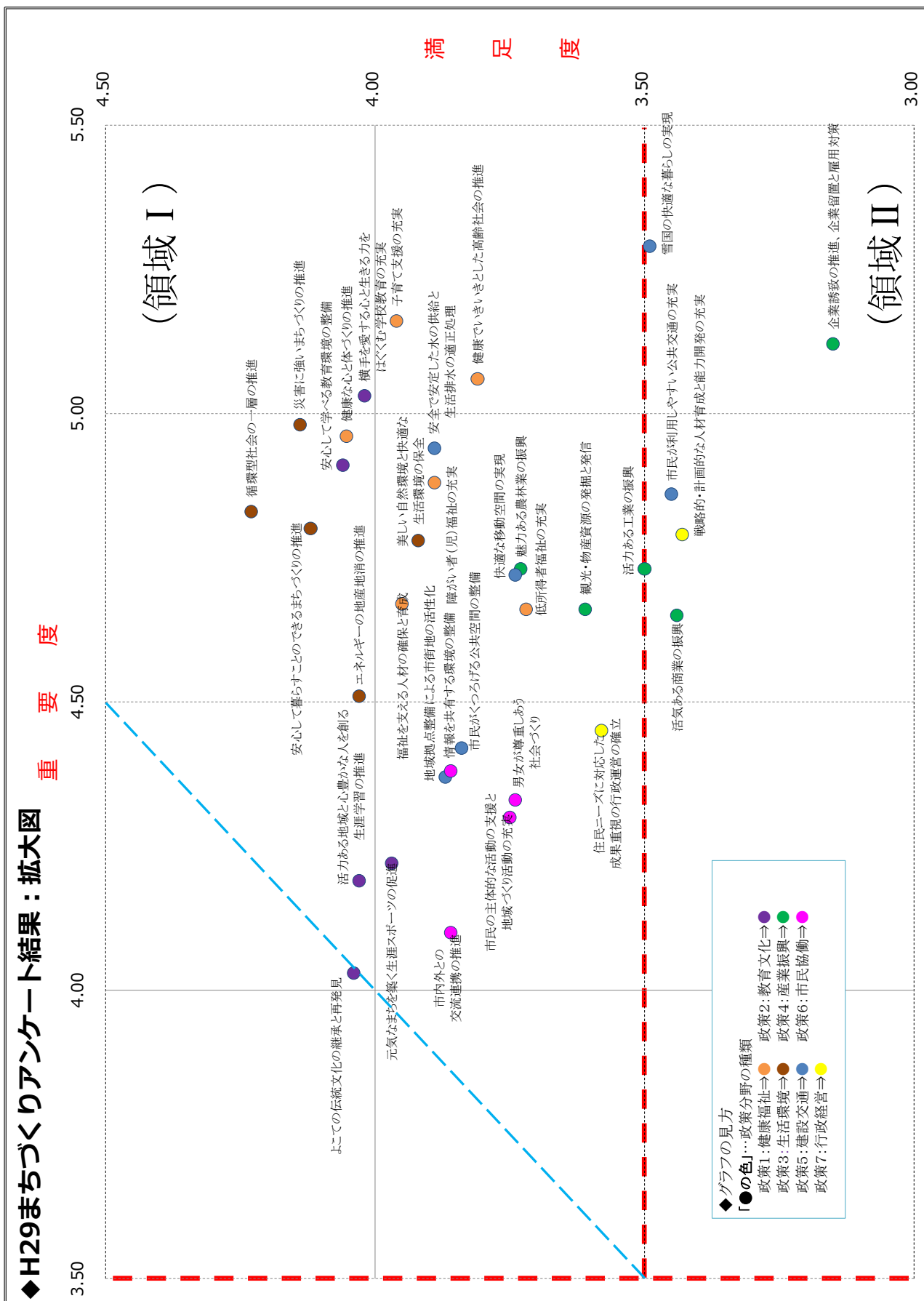
- 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現
- 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現
- 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実
- 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化
- 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
- 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

- 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
- 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり
- 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備
- 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進

政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

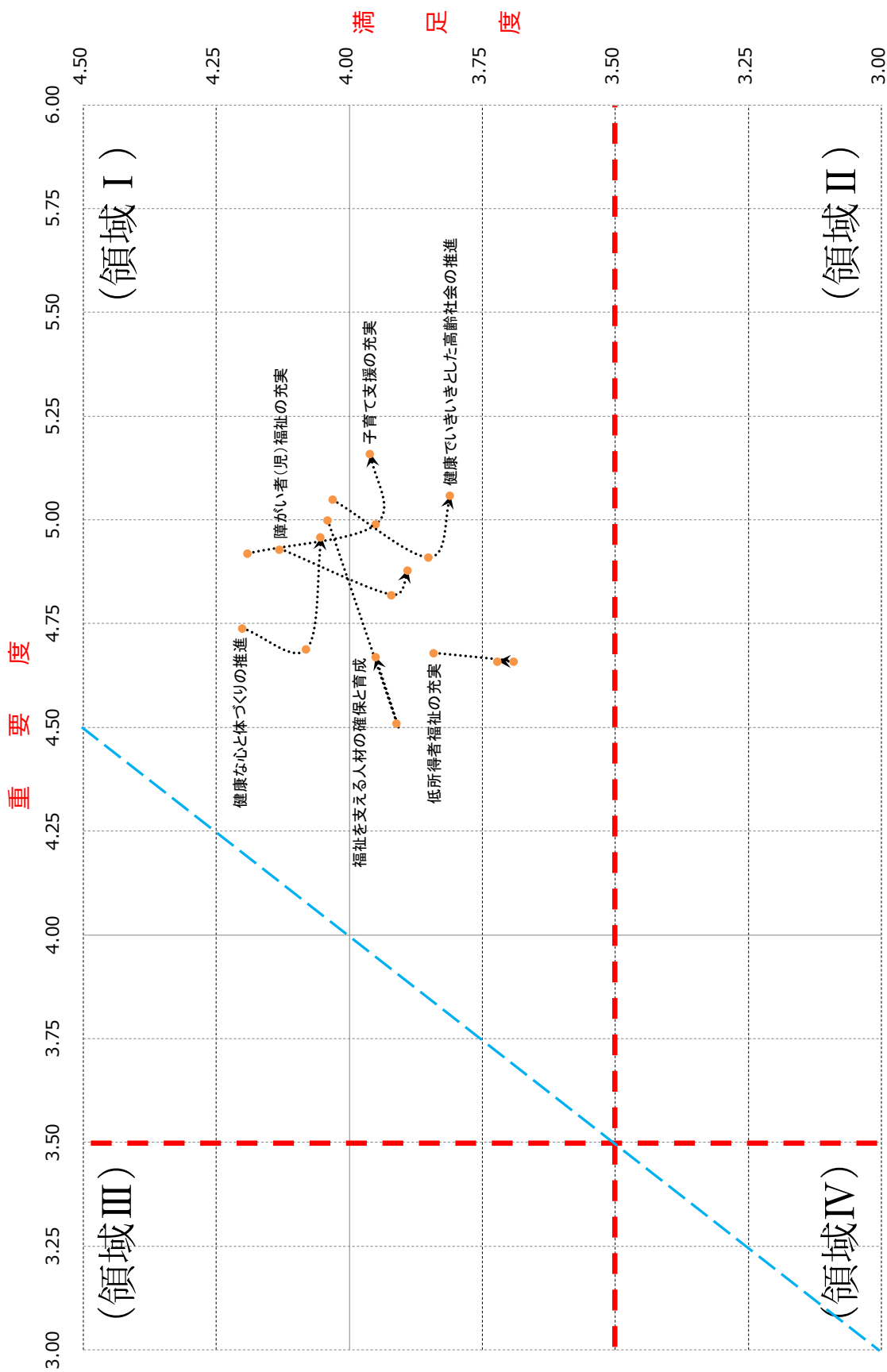
- 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立
- 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
- 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実



※「領域III」と「領域IV」に該当する施策はありません。

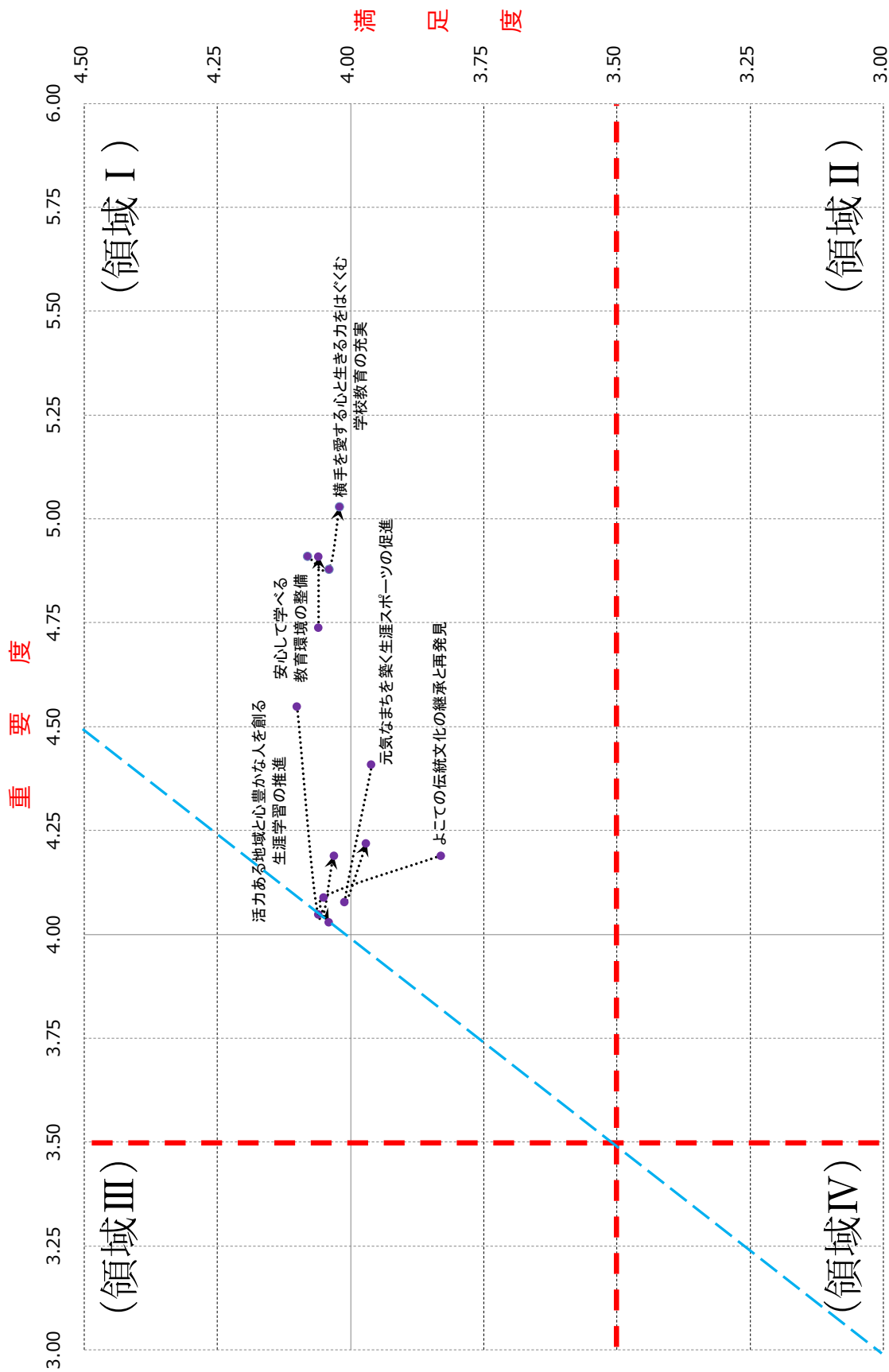
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

政策1：『伸び伸び子育て出来る環境と、みんなが健康にくらせるまちづくりを進めます。』



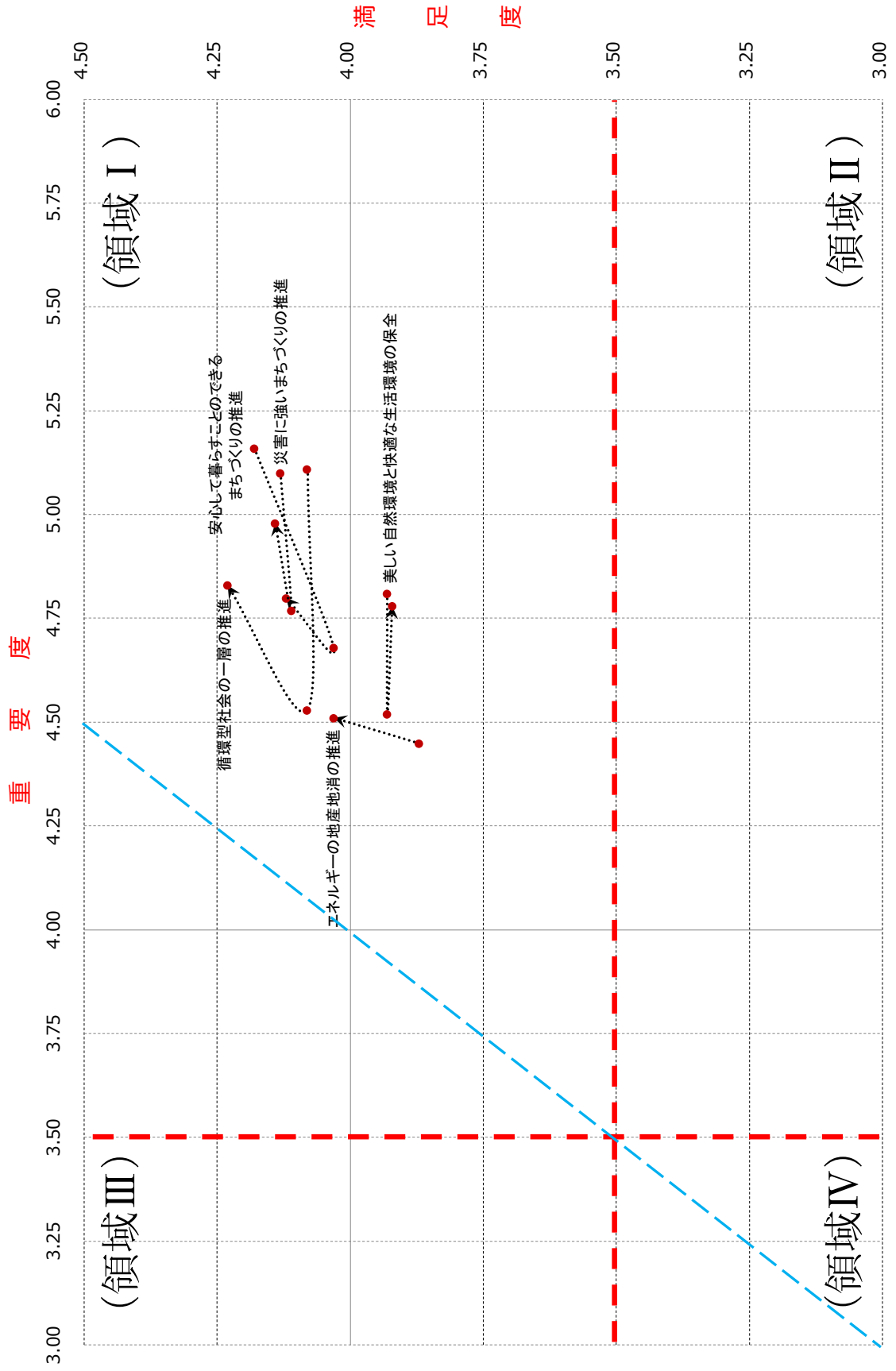
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

政策2：『学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます。』



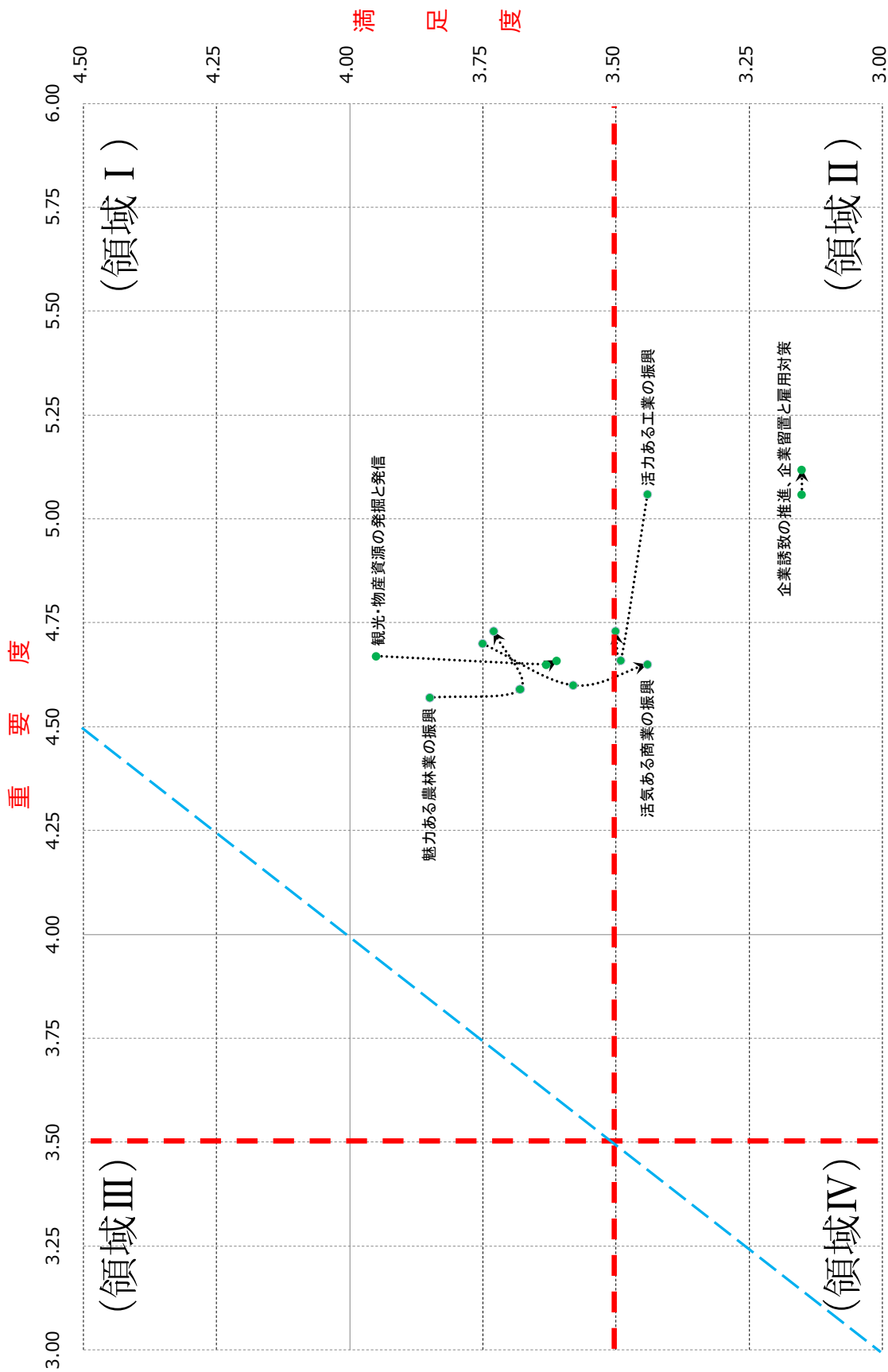
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

政策3：『豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。』



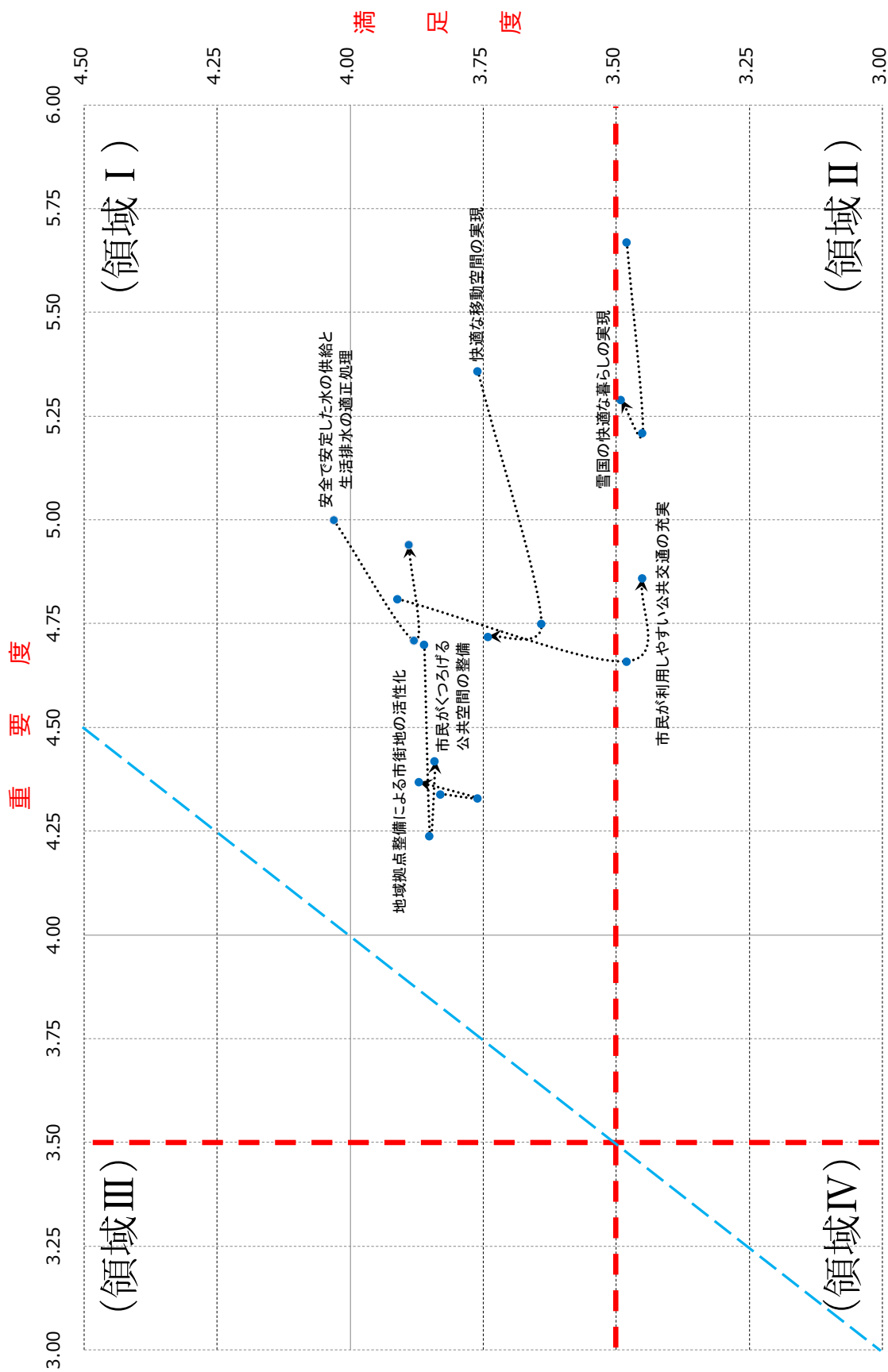
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

政策4：『魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります。』



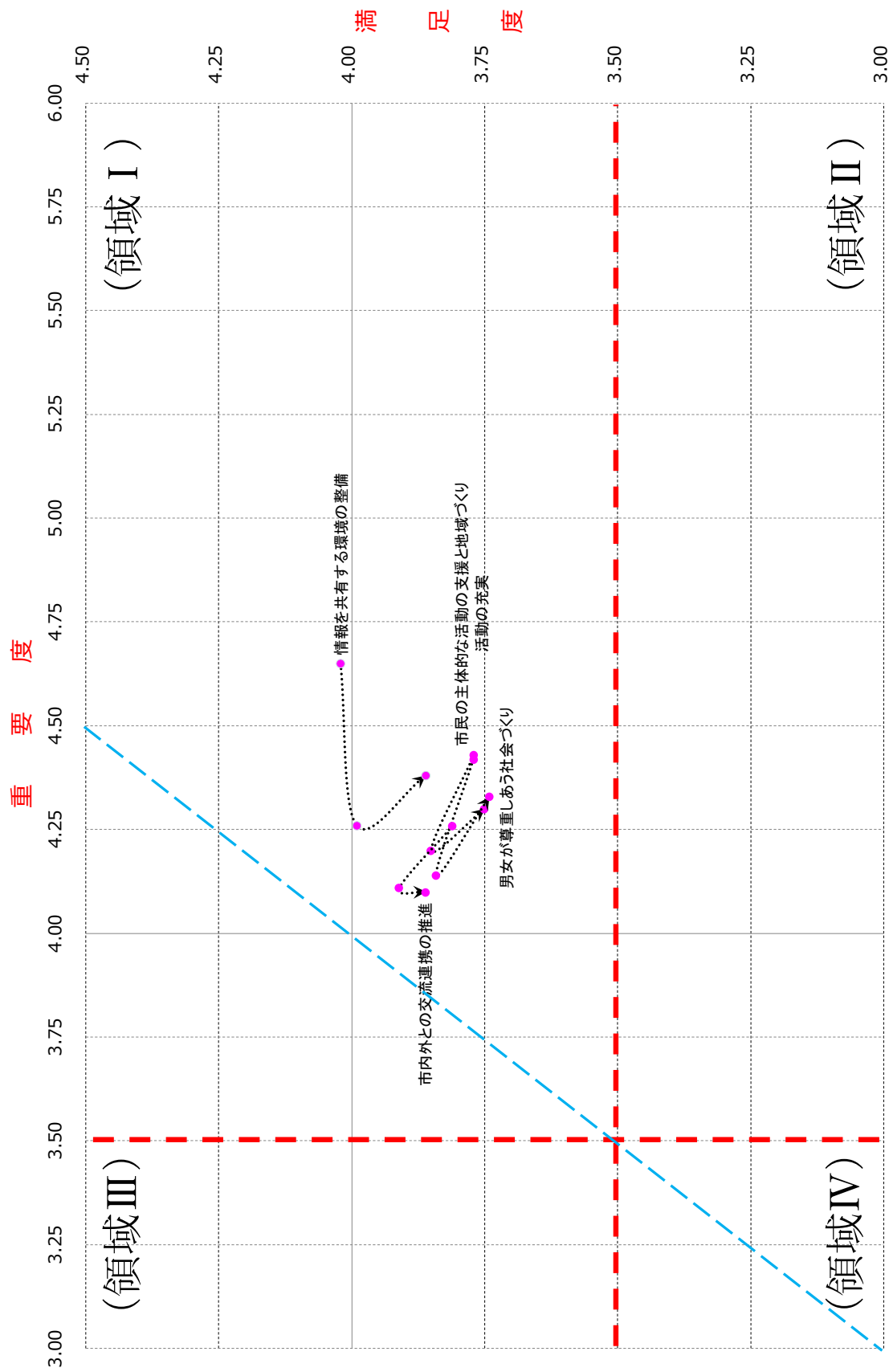
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

政策5：『暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます。』



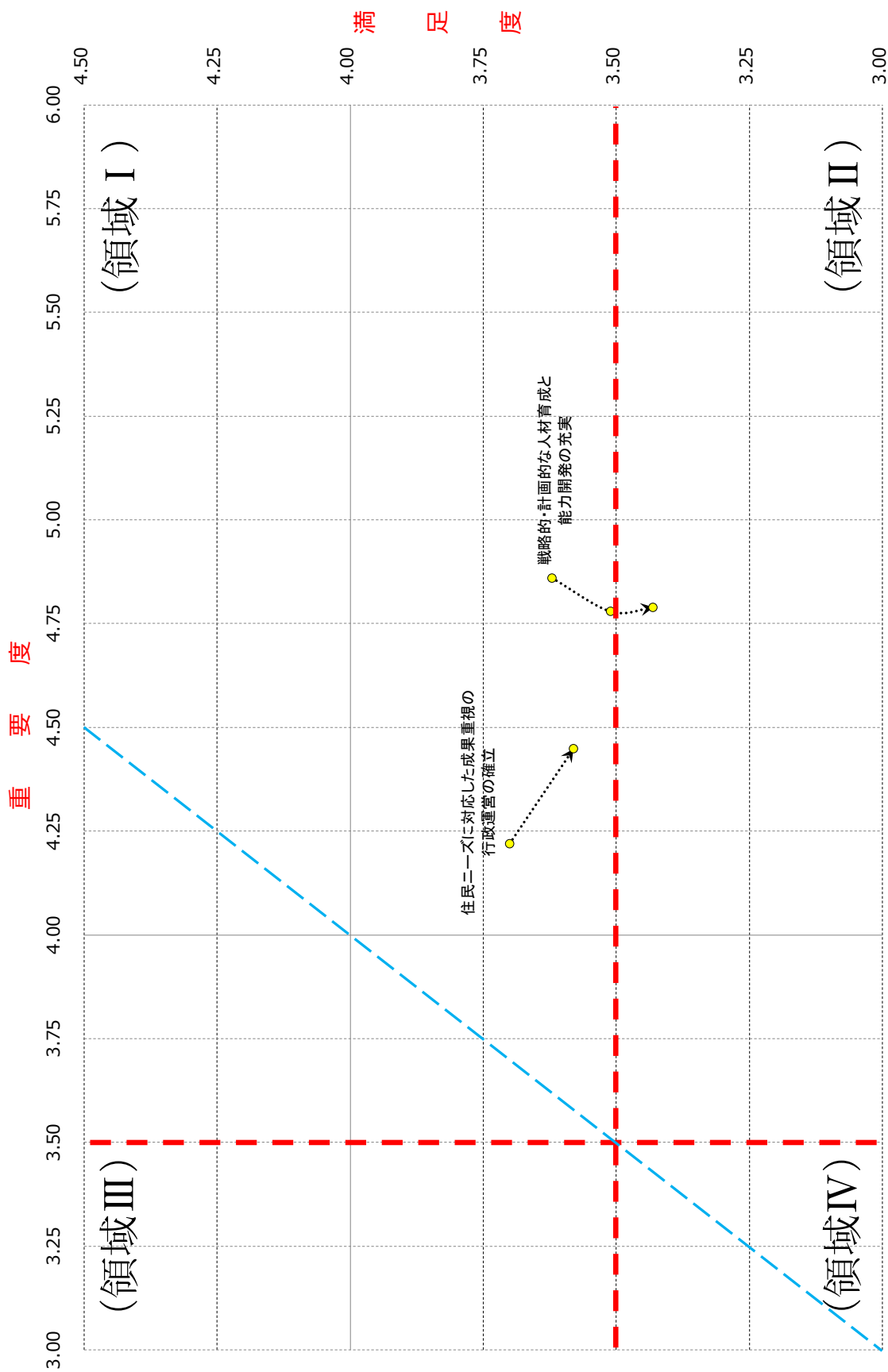
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

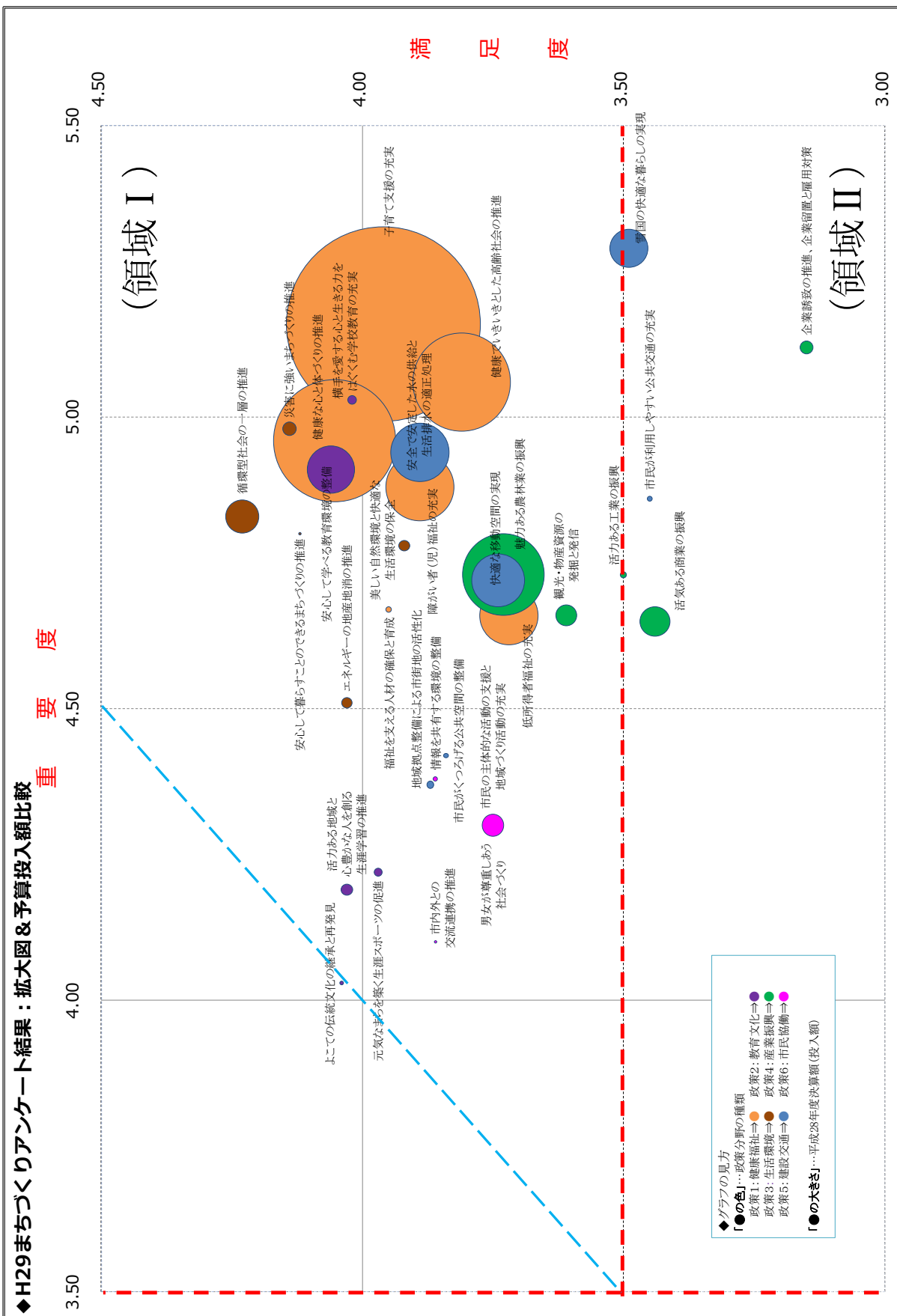
政策6：『やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます。』



◆まちづくりアンケート結果の推移 (H26⇒H28⇒H29)

政策7：『横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます。』





14 自由記載欄で寄せられたご意見等

295人の方から、延べ357件のご意見等を頂戴しました。第2次横手市総合計画の関連施策別に大まかに分類して、原文のまま記載しています。(ご意見のない施策分野もあります)

また、特定の個人や団体を誹謗中傷するものや判読が難しいもの、誤解を与える可能性があると思われるものなどについては公開を控えております。

(1-1 子育て支援の充実)

- 県も市も少子化対策を最重要課題とするべきではないでしょうか。安心して子供が産めて、育てられる環境作りをしてもらいたい。産婦人科と乳幼児を総合的に診てくれる(小児科・皮膚科・耳鼻科・眼科が一カ所にある)センターが理想です。

(60歳代・男性・横手)

- 町民1人としていつも考えさせることがあります。町の集りやいろいろの集まりで感じることは今私の住んでいる部落でも結婚適齢期の男性女性多数います。それほどこの部落も同じだそうです、市でも何とか出合の場を年に2~3回もうけて頂きたいといつも思っている80代女ですがこの先どうなることかいつも心配しているひとりです。それだけでなく秋田県の人口が100万人切ったとのこと。なおさら心配でなりません。どうか市として今一度考えるべきだと思います。

(70歳代以上・女性・平鹿)

- マル福、児童手当に関して、子供が15歳の誕生日を迎えるまでとしたら不平等感がないと思う。今のままだと4月生れと3月生れではサービスに違いがありすぎると思う。

(40歳代・女性・平鹿)

- 子育て支援について医療費の助成はありがたい。・保育料の助成をもう少し受けられるとありがたい。

(20歳代・女性・増田)

- 転勤族としては、保育園の持ち物を統一してほしい。

(20歳代・男性・横手)

- 子供たちが遊ぶ遊具が少ないので増やしてほしい。外でもっとのびのびと元気に遊んでほしい。

(30歳代・女性・十文字)

- 母子家庭となったので、今後の市や国での援助に期待します。子どもを保育園に通わせているが、土曜日の受け入れに対して、あまり積極的でないように感じる。土曜休みの職場でないので・・・申し訳ない気持ちで保育をおねがいしている。

(30歳代・女性・増田)

- 少子高齢化 これからの未来の子ども達の保育園の充実、学童保育の量より質の充実を横手市にお願いしたい。保育園の私立化が進んでいるが市立としての保育園はきちんと残してほしい。あまり市政に協力していませんがごくろうさまです。ありがとうございます。
(70 歳代以上・男性・横手)
- 子育て環境向上、子育て世代への補助の必要性を感じます。
(50 歳代・女性・横手)

(1-2 健康な心と体づくりの推進)

- 市で管理するフィットネス等、もっと向上させてもらいたい。新設等。
(20 歳代・男性・横手)
- <えがおの丘の水泳教室について>
教室に入っておらず、自分の健康のため、時折プールを利用させて頂いております。しかし、利用できる時間が私自身限られており、午前10時からになります。11時からの水泳教室の人達が早々とプールに入り準備しております。フリーで利用する人の為に、1レーンだけ空けて頂いておりますが、高波が立って、自分のペースで運動できません。(あるいは賑やか過ぎる) 11時からであれば、せめて5分位前から準備して頂き、フリーの方々が清々と利用できるよう配慮して頂ければ幸甚でございます。
(60 歳代・女性・雄物川)

(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進)

- 高齢者の福祉については随分と助けられています。ありがとうございます。
(60 歳代・男性・十文字)
- 無職・病気・視力低下の私は収入を得たいと思っておりますがありません。親の年金で生活している為、妻は実家にいます。補助的な仕事があれば幸いです
(60 歳代・男性・山内)
- 私は今、市の援助支援なく会社員として働いています。しかし、横手にずっと住み続けると思うので、老後とか考えると不安なことが多いです。
(10 歳代・女性・十文字)
- 細かいことはよく分かりませんが(説明できない) 高齢者にとっての日常生活がとても不便なように感じます。若者たちはそれなりに日常を送れるが、年配の方たちは普段の買い出しも苦勞されているように感じます。コミュニティバスも一時間に一本、往復 400 円もかけてスーパーに出かける、結局は金も体力も使ってどんどん弱っていく気がするのは私だけかな? 施設に入る事になっても空きはない、金もかかる、この先不安な材料が多すぎて……。何気に秋田県の自殺率が高いのもうなずける今日この頃だ。
(50 歳代・男性・雄物川)

- この先、ますます高齢化が進み、自身も歳をとったときに横手市に住んでいたいかと聞かれると「はい」とは言い難いです。自身の経済状況も将来不安がある中で、その時横手市が老人たちを支えられる体力があるのだろうかという見えない不安がよぎります。
(50 歳代・男性・平鹿)
- やさしくない(人間に) まちなみ。特に老人に活力がない。疲れているまちなみ。商店街がほしい。個店が生き活きたまちなみ。色々なイベントに出てみるが、女性の老いた方はよく参加しているが、男性の老いた方の姿は見え、閉じこもりの状態と伺っている。(聞いている) 健康寿命を保つためにもすべての老人の出番を(継続的) つくっていく政治が求められている。町内会まかせや個人努力任せではなく行政も積極的に関わる取り組みを企画してほしい。きっと男性の老年者は寂しいと思う。
(60 歳代・女性・十文字)
- 高齢者が多いので除雪は、少しの積雪でもこまめに行ってもらいたい。高齢福祉施設を増やしてもらいたい。(低所得者が利用出来る様に)
(70 歳代以上・男性・横手)
- 私も 80 歳なので年齢とともに手足が思うようにならなくなり大変な日々です。でもなるべく人様に頼らず自分のことは自分で買い物も自転車ですてます。身体は動かすように、自分の屋敷の草むしりなどしています。一人暮らしですので、大変福祉の方にお世話様になっております。ありがとうございます
(70 歳代以上・女性・平鹿)
- 全体的にはうまくいっているとは思いますが一人暮らしの人達への対応(行政・個人共に)が不十分に思います。プライバシーもありますのでボランティアも不十分に思います。自分で考えて行動する様に心がけておりますがやはりボランティアはむずかしいです。(個人の意見です)
(60 歳代・女性・山内)
- 私達老人は若い時は姑に気を使い現在は嫁さんに気を使いストレスで病院通いですが交通の便が悪くて困っています。又何も楽しみもなく毎日はいづくばって草とりです。市の方でたまには老人の崑ぶ様なイベントをお願い致します。時代が変わり今は元気で長生きすると若い人達は困っています。本音です。悲しい時代です。市ではどうする事も出来ない問題でしょうが何かの方法で若妻会にでも提案してくれる様切にお願い致します
(70 歳代以上・女性・平鹿)
- 認知症の講習などを行い、理解を高めていったらよいのでは。
(10 歳代・女性・横手)
- 私のように手も足も満足につかうことが出来ない人達のためにも、リハビリなどの施設が多くあったらと思います。
(70 歳代以上・女性・平鹿)
- 介護の必要のない、元気な高齢者が集える施設があればいいと思う。高齢だが畑仕事や家事はできているが、移動手段がなく、温泉施設やカラオケ、外食、買い物などに出かけたいが、「バス停まで遠い、公共の交通では利用しづらい、全部いろいろしたいのでタクシーもいちいち大変？」・・・と、よく高齢者から話を聞くことがある。ある議員に相談したところ、「介護認定」

を受けたら利用できる。その高齢者は、認定受けるほどでなく元気だが、脳卒中の後遺症は少しある。ひとりで入浴は不安で、家では時々入らないことも。自分で自分のことはできるが、少しだけ介助してもらえたら安心のようです。また別の高齢者は、普段は畑仕事してがんばっているが、時々温泉施設に行きたいが家族にはたのみづらいと。温泉、食事、カラオケ、体操などできて、買物（夕飯の支度）もしたい。送迎して連れていってくれたらなーと。一日中、一日かけていろいろできたらと。近所の友だちと一緒にでかけられたらいいと。会員制で、各地域の公民館に集合して送迎する。施設で介助してくれる人がいたらいいが、基本見てるだけ。高齢者の保育園みたいな（介護施設ではなく）元気な高齢者のための施設がほしいと思います。

（40歳代・女性・横手）

- 単身、高齢世帯が増えているが、安心して暮らしていくのに不安に思っている人が多いと思います。50代、60代の会話に「ひとりになったら、ここでは暮らしていけない」と話す人が多く、特に旧横手市以外で中心から離れている所は、色々な点で疎外を感じます。

（50歳代・女性・大森）

（1-6 福祉を支える人材の確保と育成）

- 高齢者の独居が増えているように感じます。独居の人たちが孤独死して何日も放置されることのないように周りの家の人たちとも連携して見守っていければより良いと思います。民生委員の人達だけだと負担が大きいのではないかと心配です。

（50歳代・男性・横手）

- 介護職の給与上げて下さい。

（50歳代・女性・横手）

(2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実)

- 子供の人数が減少しているのだから、学校帰りなど一人になることも多い。心配なので携帯電話を持たせるなどしたいが、中学生が学校に持ち込むことを禁止されている。今の時代に合わないと思う。学校教育についてもっと今の時代に合った考え方や教育委員会などで考えてほしいと思う

(30歳代・女性・平鹿)

- 高齢化社会で、市としてお年寄りに対応する取り組みは満足のものがありますが、中高生、若者（子育て世代）には余裕がないように見えます。部活動の時短（学校に働きかけることと思いますが）、若者のゆとりある生活の援助（奨学金返済の仕方）など考えていただければと思います。

(60歳代・女性・十文字)

- 親として、今、反省していること。子供に「地元に残れ！こんなに住みやすい所はないんだぞ」というつぶやき、教えをしなかった事。⇒子供達に社会人となっても何とか生活していける、いこうという夢、気にさせる働きかけを皆でしていく政策、ベクトルを。(今は都会志向が主流) お金だけではないはず。自分達年寄りも、協力していきたい。いっぱいつぶやきたい。優しくしていきたい。

(60歳代・男性・雄物川)

(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備)

- 小中学生はスクールバスがあり大変便利で助かりました。高校入学となり、路線バスがない、本数が少ないなど通学に大変困っている家庭が多いです。本当にかっかりします。

(30歳代・女性・雄物川)

- 現在横手市だけでなく全国的に子供が少なく、お年寄りが増えています。産めよ増やせよと言っても現在のやり方では、子供を産んで育てていくのに不安で増やすどころか減っていくと思います。私には、今年中学生になった娘が一人いますが、自宅から学校まで今は毎日自転車で通っていますが、冬になると歩いて通います。朝は車で送ったとしても帰りは私の帰りが遅いため歩いて帰ることになりますが、現在、夏でも冬でも関係なく不審者が出ていると学校から連絡がくるため、家に帰ってくるまで心配です。だから、冬だけでもスクールバスを出してほしいと思っています。何かないと動かないじゃないと思います。何かあってからでは遅いのです。もし娘に何かあったら責任とれますか？会社もそうです。年齢関係なく体が動く限り採用できるようにしてほしいです。

(30歳代・女性・十文字)

(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進)

- 大型スポーツ施設を設置してほしい。(スーパーアリーナ等)
(60歳代・男性・十文字)
- 以前、大型体育施設「横手アリーナ」の建設が市で話題になりました。市の活性化・スポーツ振興・コンサート等開催による文化振興・にぎわい創出・若者の定住化等、プラスの効果は多いように思えるが、建設が白紙になったのは大変残念です。由利本荘市での建設も決まり、大仙市にも今後建設の構想があると聞きました。「スポーツ立市よこて」を宣言しているのですから、他市町村に負けていられないと思います。改めて建設を検討してほしいものです。
(50歳代・女性・山内)
- 私はグラウンドゴルフをしていますが、横手市内にある設備はいずれも設備が悪い。GG場内雨風(雷・強風)等の時に避難する設備がないことです。是非、作ってもらいたいと思っております
(70歳代以上・男性・横手)
- スポーツ市立はどこへ？イベント時はいいが、普段はどうですか？箱モノも少ない。夜スポーツする場所も限られている。
(30歳代・男性・横手)
- スポーツ立市をかかげながら、スポーツ施設の整備や用具の充実は非常に不満です。テニスコートのネット、体育館の各種ネットはボロボロのものが多数あります。修理や買い替えを検討していただきたいと思えます。
(50歳代・女性・横手)
- スポーツ立市と言っているわりに、新しいスポーツへの理解・知識・積極性がないように感じます。すでに人気のあるスポーツ(バスケットや野球)に力をいれている所は他にたくさんあるので、もっとスケートやBMXやダーツなど新しいスポーツに力をいれたら良いのではないのでしょうか。
(20歳代・女性・平鹿)
- 大きいスポーツ施設がほしい！！(体育館)
(60歳代・男性・平鹿)
- 今年は市民プールを利用できるのでしょうか。
(60歳代・男性・横手)
- グラウンドゴルフ場の近くに駐車場が有るといいかな。歩くのがつらい。
(60歳代・男性・山内)
- 以前、横手アリーナの建設の議案がありましたが、ぜひ実現させてください。
(10歳代・女性・横手)

(2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進)

- 公共施設（文化センター、B&G、図書館等）老朽化が激しく見苦しい。
(30歳代・男性・十文字)
- 横手市民会館でのイベント等をもっと市報に載せてもらいたい（有償、無償、問わず）。
(60歳代・男性・横手)
- スマートインターチェンジを作るより、コンサートホールを作ってほしい。横手市内はどこもかしこもボロボロのホールしかないの、音楽関係の方がなげいているそうです。湯沢、雄勝、由利本荘、大曲とコンサートが開かれているのに、横手だけ野外しかないのは、悲しいです。年輩の方々には必要ないとおっしゃいますが、外からお金を集めるのにとっても有効だと思います。是非とも高橋市長に頑張ってください、もう一度コンサートホールの案件を議会に通していただきたいです。宜しくお願い致します。
(30歳代・女性・平鹿)
- 老朽化した文化施設を新設して下さい。
(40歳代・女性・十文字)
- 市政運営の市民の満足度を考えるにはまず、目指す姿を明確にし、広く告知して市全体で取り組む必要があると思います。市職員だけの仕事ではなく、市民全体で住みやすい地域となるような策をいろいろ示し、市民が理想の姿を思い浮かべることができる、横手市に対する誇りや愛着も高まると思います。地域文化の掘り起こしの様な、歴史の検証やイベント行事が行われていますが、その時のイベントだけではなく、後々調べ物ができるように資料のある最寄りの図書館等に一連のデータをまとめておいて頂けるよう望みます。特に横手図書館などでは、絶版となっている希少な資料本まで整理されてしまって、単なる貸本屋の様になっています。地元独自の資料だけでも散逸してしまわないよう取りまとめておいていただきたい。
(50歳代・女性・横手)
- 私は、ある公民館の主催する講座に何年か入っています。去年より新しい方が担当してくれております。前までは一年間の行事が10ほど、夏と冬の2ヶ月を除いて、毎月のようにあったのですが、一つずつ少なくなっています。「担当の方々が忙しい」からだと聞いていますが、前のように10ほどの行事をしてほしいです。今年は9つの行事決定です。今までは一人の方が担当していました。今は2人なのにどうして少ないのか？いつも思っています。
(60歳代・女性・横手)
- アーティストを呼んで、ライブ、コンサートができる施設（アリーナ、ライブハウス）を充実させてほしい。
(30歳代・男性・横手)
- 十文字文化センターを建て替えてほしい。（災害があった時や、イベントなど利用するのに使えない。）
(40歳代・女性・十文字)
- 一度は消えてしまったアリーナ建設について議論する必要があるのではないかと。横手でのコンサートは、会場となる施設が不十分で、他地域へ行くことになっており、若者にとって魅力ある地であるか疑問に思う点の一つである。財政面での負担があっても、考える必要があるのではないかと。
(50歳代・男性・横手)

- 生涯学習活動に参加してみたいと思っても平日の日中だったりするのが残念。
(40 歳代・女性・十文字)
- 公民館などの施設管理は長年やるとマンネリになりよくないと思う。3人ぐらいで休みやすく。色々とアイデアもでると思う。
(70 歳代以上・男性・横手)
- 交流センター、公民館など利用者が少ないのに多すぎる。館長まで置く必要は無いと思う。
(50 歳代・女性・雄物川)

(2-5 よこての伝統文化の継承と再発見)

- 個人的に 2016 年以前、雄物川町で開催された刀剣を実際に触れるイベント（刀剣鑑賞会）がとても良かったのでまた開催してほしいです。
(50 歳代・男性・横手)
- 市の伝統的特産品（いぶり大根）などは一部で守られていますが、広い人材に受け継ぐ工夫をして、作業にも全国に広めることにも取り組んだらと思います。
(60 歳代・女性・十文字)
- 書くとなれば難しいですね。（ピントはずれの意見かもしれませんが・・・）景気のいい時の建造物が老朽化して観光客が大型バスでやって来ても、案内するのにも考えさせられる、各資料館（他県も同じような状態だけれども）
(70 歳代以上・男性・横手)

(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進)

- 横断歩道の標識は入学前までに絶対やってほしい。歩道の樹は毎年、落葉の前に切ってほしい。落葉を集めるボランティア袋は毎年無料配布してほしい。
(40 歳代・女性・横手)
- 結婚してから 12 年間横手に住んでいますが、ほぼ何も知りません。出身地での重要無形文化財にも指定されている踊りに携わっているいるため。やはりそちらの方が愛着があります。今住んでいる地域は町の中心部からはなれているため車がないと生活ができません。学校なども遠いです。横手市では防災ラジオなどでお知らせしている様ですが、若い人達は身近にラジオがありません。防災無線があると役立つと思います。（子供達もお昼と遊びから帰る時間の目安になると思う）
(30 歳代・女性・平鹿)
- 空き家の管理について。空き家は不用心ですね。調査にいらした方がいましたが、どうなったか。家主と話し合っしてほしいものです。
(70 歳代以上・女性・横手)

- 横手市に住んでから、堂々と野焼き、家周辺でゴミ焼きしているのに驚きました。けむりで道路での運転に危険を感じたり、妊婦の時には特に健康被害や胎児に影響があるのではと不安でした。安心して住み安全に子どもを育てられるような横手市になって欲しいです。様々な広報などに野焼きをしないような文面がありますが、改善されないので罰則、罰金（あるかもしれないけど）通告しても良いことなど地域でゆるさない体制があればと思います。
- (30 歳代・女性・横手)
- 新築で家建てたが、後ろにある家（昔からある家）の事だが畑があり、ゴミを燃やすドラム缶（焼却炉）の様な物があり、たまにゴミなどを燃やしている家がある。風のある日は煙が全て自分の家の方に来る。相手方は昔からそこでゴミを燃やしていた様だが、こちらが後から家を建てた事もあり、トラブルを避けたいので何も言わず我慢している。横手市では、その様な罰則はないのだろうか？例えば、パトロールを行ったり、通報したら対応してくれるのだろうか？
- (30 歳代・女性・十文字)
- 維持管理削減のために、老朽化や空き施設の解体を希望します。
- (60 歳代・女性・十文字)
- 市報に空き家情報など出してほしい。
- (60 歳代・女性・十文字)
- 最近各地で使用目的に合わない金銭請求などの問題が多く出ていて、一般の目の届かない所は大丈夫でしょうか？
- (60 歳代・男性・大雄)
- 道路の白線が消えたままで、大変危険と感じます。地元住民は慣れていても、他県から来た方は、車線変更に戸惑うと思います。除雪のために冬期間削ってしまったラインは、春先には早めに引いたほうが安全と思います。豊かな風土、自然の恵みの中で、子育てできることに感謝します。
- (30 歳代・女性・雄物川)
- 人口減少の為「おせっかいおじさん」「おせっかいおばさん」が居て、カップル成立してほしいです。まずは行政の方々がお手本を示して指導する。高齢者、多発事故、運転者、歩行者、それぞれに注意してほしい。「熊」対策にも各自注意を！「詐欺」にも各自注意を！
- (60 歳代・女性・横手)
- 町中は明るくてよいのですが、山村は明りが少なくこわいです。明りをふやしてほしい。色々な面で低所得者には負担が大きすぎて困っています。
- (60 歳代・女性・大森)
- 街路灯が LED に変わり、暗くなった。点灯していないことがある。
- (40 歳代・女性・横手)
- 地域の空家、アパートの草がぼうぼうになっている。種などが落ち、あれほうだいです。（ちょう、虫の巣となる。）
- (70 歳代以上・男性・横手)
- いつもお世話になりありがとうございます。当城南町地区は「みずほのロード」が通って戸数も増えているところ、トンネル付近は夜間に街灯が少なく通りが暗いので気味悪いです。確認

の上設置をお願いします。

(50 歳代・女性・横手)

- 大きな通りはあかるいのがあたりまえですが、橋をわたった昔からの横手市内、とくに、横手病院うしろの道やそば八前の道、家があってもうすぐらく、城南グラウンドにその奥は山、くらい横手公園です。とくに、夜おそく仕事で歩いて帰る時は、暗くてこわいです。あぶないです。空き地もあります。ずっと消えたままの街灯がやっとなつきましたが、まだまだ暗くて不安です。もっと明るくして下さい。安心して歩ける場所にして下さい。街灯を増やすなり、明るいものにして下さい。街灯、グラウンドまわりふやすなり明るくして下さい。とてもこわい思いをしました。くらいとき歩いてみて下さい。わかると思いますが。

(50 歳代・女性・横手)

- 街灯を増やしてほしい。

(30 歳代・女性・十文字)

- 地域の防犯等の人を増やしてほしい (防犯指導隊)の人員

(60 歳代・女性・十文字)

(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全)

- クマが出ています。去年もかなり取ってくれましたがまだまだ足りていません。山に行くの業にしている者にとっては毎日が心配でなりません。人間よりクマのほうが多いことにもなりかねません。真剣に考えてもらいたい問題だと思います。横手市は今のところクマに食われてはいませんが、早く早く今のうちに退治してください

(60 歳代・女性・増田)

(3-3 災害に強いまちづくりの推進)

- 日頃から横手市民が安心して生活できる環境作りをされていて、とっても感謝しております。今後の課題として自然災害への対応が課題だと思われます。他の市町村と比べると対応が遅いように見えますので、警察・消防・各地域の消防団との連携をさらに深めて、素早い対応ができれば良いと思われます。

(70 歳代以上・男性・十文字)

- 防災上避難場所となる公共施設のトイレは洋式にして下さい。(学校も!) 普段でも和式で難儀しているお年寄りはいっぱいいますよ! 大きな災害を経験していない横手市は、油断がいっぱいな感じがしますね。

(60 歳代・女性・横手)

- 各地でいろいろな災害があるのに防災無線がこわれて(ずっと前から)います。今年おきた魚井川火災では防災ラジオで一人も死者が出なかったそうです。

(60 歳代・男性・雄物川)

- 防災や防犯に関する予算を付けて頂きたい。最近全国的に地震が多く発生している為。(万への備え)
(50歳代・男性・横手)

(3-4 循環型社会の一層の推進)

- 環境、保全活動は大切な事と思いますが、先に立っている方々の苦勞と、時間がボランティアの域をこえているのではないかと思う。
(60歳代・男性・十文字)
- 生活用水路、農業用水路等より回収してきた缶類はどの様に処理したらよいか。市の方に問い合わせたところ、大変面倒な方法で処理するよう言われました。良心的な行為がアダとならない様に考えてもらいたい。必要以上の規制は逆効果を生むことになりかねないのではないかと。例えば、ポイ捨ての缶類など見て見ぬふりをしたり、集めたものを他のところで不法処理したりしないともかぎらないのでは。
(70歳代以上・男性・雄物川)
- クリーンプラザよこて、日本産の物はテレビなどリサイクル取り扱いしてほしい。ディスプレイ(テレビでなく、パソコン、ゲーム用)ひきとり所がなく困っている。
(70歳代以上・男性・横手)
- 清水沢部落「第4班」は戸数も多いのに「ゴミ箱」がありません。「他の班」に頭を下げて利用しています。遠くて肩身が狭い思いで不便です。是非確認の上、設置をお願いします。
(50歳代・女性・横手)
- 粗大ゴミなどの捨て方が、よくわからず困っています・・・。
(30歳代・女性・増田)

(4-1 魅力ある農林業の振興)

- 農業の良さ、支援をして頂ければ働きやすい環境になります。横手市・県南には探せば職はいくらでもあります。その支援をしていただければ良いと思います。
(40歳代・男性・大森)
- 農業を基盤にした町づくりをしてほしい。土地を保全し、環境を整えていながらも関連した産業を新しく起業して、横手のオリジナル性を創造していきたいと思う。その為にも行政が横手市を何で(どういう方針)で発展を目指すのかをしっかりとってほしい。その中でも農業は大切な部分だと思うので、中心に据えてほしい
(年齢不明・性別不明)
- 人が集まるようなイベントを開催してほしい。農業が若者にもできるように支援したり売場所を考えてほしい。ビオマーケットなど無農薬野菜を作り販売して農業を続けていけるように指導してほしい。
(40歳代・女性・横手)

- 水田2ha、畑3反歩ありますが、現在は年金の中から畑の草を刈ってもらったりしています。田も畑も作ってくれる人がいなかったらどうしようかと心配です。田畑を生き生きと活用できる方法はないのでしょうか？ぜひ考えていただきたいです。
(70歳代以上・女性・雄物川)
- 田んぼを広くする工事があちらこちらであります、小規模農家が農業を続けて行けず手ばなした時大企業が参入しやすいように田んぼを広くしているのでしょうか。農協も頑張っていますが、横手市として農業カンパニーなどの考えはありませんか。
(70歳代以上・男性・横手)
- 今の田んぼの制度は、田んぼをやってきた農家の人達の意欲や生きがいをそぎとる政策で、これでは自殺者が増えたり、悩んだ末、ストレスで病気になるのではないかと思う様なひどい政策と思います。横手市独自の援助・フォローは出来ないものか、切に願います。
(50歳代・女性・横手)

(4-2 活気ある商業の振興)

- 転居したばかりなのでよく分からない事ばかりですがずっと住み続けたいという気持ちは今の所ありません。お店等、閉店時間が早すぎです。(24Hがない) ガソリンスタンドも早い時間に閉まっているのでかなり不便さを感じています。
(40歳代・女性・山内)
- 駅前・周辺のシャッター店や廃きよが多く活気ない。歩いていける距離にカフェや直売所や商業施設が入っていたら、長時間すごせるのに。。。EX)にかほの道の駅内みたいに
(20歳代・女性・横手)
- もっと金の流れをつくらないとどうしようもない。
(20歳代・男性・大雄)

(4-4 観光・物産資源の発掘と発信)

- 市内の観光プランを時刻表に載せ、売り込んでいったらいいと思います。山形はいろんな観光コースを載せています。(プラン例：秋田ふるさと村・武家屋敷・蔵・道の駅・十文字教会・焼きそば・十文字ラーメン・稲庭うどん(ふるさと村)温泉～組み合わせてコースを組む
(60歳代・男性・十文字)
- 横手公園から見る鳥海山は、すばらしい景色だと思いますのでもっと宣伝して、山と川と町並を全国にアピールしてもらいたい。
(60歳代・男性・横手)

(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策)

- 県内・市内には若者が就労する際に条件の良い会社が少なすぎる。公務員と会社員との格差が大きい地域である。小さな会社の誘致では魅力にならない。関東・東海圏のある程度の大企業の誘致を望む。このことが実現すれば若者の県外流出がかなり少なくなると思う。私ばかりではなくほとんどの市民が思っていると思います。

(40 歳代・男性・雄物川)
- 若者が定住しない・できないという課題はかなり大きい。その為には、企業誘致は最優先課題だと思う。横手市アリーナ建設で若者の雇用も生まれると期待していたが、なぜ市議会で反対しているのかわからな。今の事だけ考えるのではなく、10年20年先の世代の事を考えていかないと将来横手市・秋田県は存続できないと思う。横手市は交通のアクセスもよいので、ぜひともアリーナ建設を切望する。他県からの人を呼び込むことで経済も活性化するし、若者も住みやすくなると思う。若者の声をもっと聞いて行政に活かして欲しい。

(50 歳代・女性・平鹿)
- 若い人が仕事を選べる企業が少なく、育てても県外で仕事をしなければいけない現在の市の状況では少子高齢化は進むばかり。少ない若い人も低い給料では結婚もできず、仕事と家への行き来だけで仕事の環境も悪くても我慢して仕事をしていなければいけない状態の人も多く、出会いの場さえ行けない低給料では、前向きになれないと思います。企業誘致と地域の生産物の販売、6次産業等を盛り上げ経済的に豊かな市にしてほしい。一人住まい老人や空き家も多くなり、地域だけでは見守れないので市でもしっかりチェックしてほしい。

(50 歳代・女性・横手)
- 大学進学等で県外に出た後あまり地元に戻ってこない。周りにも若手がない印象が強いです。雇用の幅があれば「戻ってきたい」と思ってもらえるのではないかと個人的には思います。

(50 歳代・男性・横手)
- 全体的に賃金が低く結婚や子育てに不安があります。

(30 歳代・男性・横手)
- 最重要課題は「雇用創出」「雇用拡大」である。

(60 歳代・男性・十文字)
- 時間にあった仕事に付きたい。

(50 歳代・女性・大雄)
- 十文字町に関して言わせていただければ、20代の若者が、本当に少ない。県外流出が著しい。どんなに子育て支援に力を入れても、帰郷はしない。企業誘致も必要であるだろうし、とにかく、給与水準が向上する事を誰もが求めていると思う。公務員と民間の差があまりにもあり過ぎ、公務員になれなければ、ここでは暮らしていけない様な考えが親世代にも浸透している。その考えが打破出来る様な企業を誘致してもらいたい。(20代の若者の母)

(50 歳代・女性・十文字)
- 秋田に、横手に、もっと人が残れるように真剣に取り組んでください。みんないなくなりました。

(10 歳代・男性・十文字)

- ハローワークで求人を見てここに行ってみようと思ってから、入社する前に体験？というか、会社側もここはこうゆう仕事内容です、こうゆう会社ですというのを直接見れる？きける？機会があったら嬉しいなと思います。働くにあたって人と人の関わりは、必ず相性が良いことはないですが、仕方ないことですが、本当に合わない場合もあると思います。1回会社の雰囲気やこれから一緒に働かせてもらう方を見ることによって良く言えば、よし頑張ろう！ってなるだろうし、ちょっとなあと感じる人もいると思います。入ってからこうなっても、すぐ辞めるわけにもいかないと思うので、嫌な気持ちのままズルズル働くので態度にも出るんでないかなあと思ったりしました。文章わかりづらくてすみません。少しでも伝わったら嬉しいです。求人票のイメージと実際に行ってみたら違うのは人それぞれの思い方で、どうしても変わってしまうと思います。ですが、本当に嘘だったり、ずっとうまく流されたりするのは良くないと思います。求人票を出すにあたってその会社を1回見に行ってからの内容にするなど、何かあったら嬉しいです。

(20 歳代・女性・大雄)

- 子育て支援や高齢者福祉・障害者福祉など大事ですが、若い人達が地元で、また地元に戻って就職活動できる受け入れ環境をしてもらいたいです。

(60 歳代・女性・横手)

- 若者が住み続けたいと思えるような市にして欲しい。働きたいと思える企業や、若者が集える(遊べる)施設をもっと増やしてほしい。

(20 歳代・女性・平鹿)

- もし持病を持っていても元気に生活に全く問題がない場合、マイナスになることなく市職員に採用されるという横手市であって欲しいと願っております。県外進学した子ども達が、横手で奨学金を返済しながら働ける企業の誘致も頑張ってもらいたいです。

(10 歳代・男性・十文字)

- 人口がどんどん減少していく。働きたい会社がない。買い物する店がない。

(30 歳代・女性・横手)

- 子育て支援も重要ということは承知していますが、若者がずっと暮らしたいと思える環境整備(例えば、大学で学んだことが生かせる企業、給与等)をもっと前面に出してPRしてほしいと思います。私の周りでも「学んだことを生かせる企業があれば県内に残ったのに(高卒、大卒どちらも)」と話す県外就職者がたくさんいます。素敵で暮らしやすい横手市だからこそ、若者が戻ってくる街になるといいなと思っています。

(20 歳代・女性・横手)

- 県内の小・中学生は学習能力も高く、将来が期待される子供が多い。しかし、大学に入ると、県内、市内には、能力を生かす職が無い。これでは県外に出ていく人の為に支援しているようなもの。今でも教育ローンを支払っている者にしたなら、やるせない。企業誘致、低所得からの脱却、県外に自慢できる産業の構築、etc 急いでほしい。所得の低いところに、人はいなくなる。残るのは老人のみ。

(60 歳代・男性・平鹿)

- 若者が横手で働きたい町づくりを。若者が多く暮らして元気な町づくりを。

(60 歳代・女性・十文字)

- 高校を卒業するとどうしても県外に出てしまう若者が多いのを残念に思う。資格取得できる場がもっとあれば良いと思うがどうしても他市町村に行かなければ取得できない事もあるので、その様な場が増えればと思います。(介護や技術的な)

(50 歳代・女性・平鹿)

- 私は進学先が青森県弘前市で最近あまり横手にはいませんが、弘前に進学してきてから地元の良さが凄くわかり、就職先は地元の横手市にしようと考えています。横手市の改善としては「自分が好きなことに就職できる」ような企業や進学の学校を増加させたりするのが一番いいと思います。また、私は「競技かるた」と言うものをしていて、秋田市に行かなければ、「競技かるた」ができないので横手市に「かるた会（百人一首）」を作ってほしいです。それが私の提案であり、意見でもあります。

(年齢不明・女性)

- 横手市・町・村が住み良い場所になるように一生懸命答えました。子供達が働く場所がもっと多ければいいと思いました。

(50 歳代・女性・大森)

- 横手市も高齢化が進んでいることは現実だ。若者たちは、横手市を離れて行く。此れも現実。市はどちらに投資の配分をするか市民に説明する必要がある。若者離れを止めるには、市単位で出来ない仕組みになっている。理想を述べているのでは対策ではない。(例、誘致企業は100人規模の雇用では役に立たない、トータルで100人規模の企業が必要、立地条件を見直し他に負けない事)

(70 歳代以上・男性・増田)

- 各市町村が合併して早、ん年・・・若い人達が働く場所や秋田県内の賃金の安さが何年も変わらず低い事など、自分が若い時から感じてきましたが、余り改善されているとは思えない事が、とても残念です。公務員や特殊な職業の方達の待遇ばかりが良く見え、差はどんどん開き、製造、商業、農業等への従事者の賃金等の低さが、とても気掛かりです。若い人達が、結婚、子育て出来る様な、対策は何か無いのかと、常々感じています。人口流出を止める手立てを期待します。

(60 歳代・女性・増田)

- 若者が働ける企業の誘致を率先して、横手に若者が一人でも多く定住できる魅力ある街作りをお願いしたい。

(50 歳代・女性・横手)

- 秋田県の人口、また横手市も人口が減り続けている中で、これからどのようにして対策を立てていくか、非常に重要になってくると思います。若年層が地方にあまり残らず、都会へ流出していくのをだまっただけではダメだと思います。(うちの息子もそんな考えでいる一人なのですが・・・) これからの若い世代が、安心して地元で暮らしていけるだけの賃金保障がみこめないうちは、なかなか歯止めがきかないのではないかと思います。横手はとてもいい街、そして魅力を持った街だと思うので、少しでも人口が増えて、活気のある横手市になるように、希望と期待を持って、ここで暮らしていきたいです。

(40 歳代・女性・十文字)

- 若い人が地元へ定着できるようにして欲しい。私のまわりの世帯は全てと言っていいほど若い人がおらず、高齢者夫婦のみとなっている。将来はこの町内はなくなってしまうのかと不安になっています。

(40 歳代・女性・十文字)

- 義務教育のうちは子供達の学力は全国でもトップなのに高校・大学に入れるとなると低所得で子供達の授業料や在学中のアパート代や生活費等の仕送りは奨学金だけでは足りず、所得に定める割合は全国的にみても相当高くなると思われます。冬は、暖房費・除雪用の機具・車や家等も暖かい地方からすれば、大分大きな出費になります。でも冠婚葬祭等の交際量は全国とは変わらずです。一時は核家族が増えていましたが、今は、結婚して子供を生み育てる為の生活が維持できるのか 20 代・30 代の若者が自分の収入では不安に感じているのです。親の援助が必要になってきてる現状になりつつあります。もっと秋田県の所得が高くなるべきです。私、50 代後半で、現在の会社には勤続 30 年ですが、数年前から時給制に切りかえ、でも正社員です。秋田県は日本の中国だそうです。都会のオーナーの見解です。もっと賃金水準を上げてもらいたい。若い人達が元気に働ける職場に力を入れてほしい。

(50 歳代・女性・横手)

- 横手市にずっと住みたいと思っているので、子育て世代やお年寄りだけでなく、秋田に残っている若者や学生が住みやすく、働きつづけられる市であってほしいと思います。

(20 歳代・女性・横手)

- 働くところが少ないし給料が安い。横手市の人々に対してタクシー会社が多い。

(50 歳代・男性・横手)

- 楽しく働ける職場になってほしいと思います。

(70 歳代以上・女性・平鹿)

- 保育士になるため、2 年制の短大に通っています。地元の友達と就職の話をしますが、「地元には戻りたいけど就職先が少ない、あったとしても給料が低いので、実家暮らししかできないよね。」という話に絶対なります。保育士は子どもの命を預かって仕事量も多いけどまだまだ給料は低いので地元に戻ろうか迷っています。みんな戻りたい気持ちはあるので、その部分少しでも改善して頂けるとありがたいです。

(10 歳代・女性・平鹿)

(5-1 雪国の快適な暮らしの実現)

- 80 歳を過ぎたので雪下ろしがつらくなった (70 歳代以上・女性・増田)
- 通学路にもかかわらず、雪捨て場もなく、流雪溝もなく冬期間苦労している。車の交通量は非常に多い。 (70 歳代以上・男性・横手)
- 冬の除雪、私の所は美郷町とすぐ隣になっていますが、横手の除雪は余りにも、雑！！美郷町の除雪を少しは見習ってほしい。(平安の風わたる公園の境いで、すぐ、分かります)今は学校のスクールバスも通りますが、冬は道路が 3 車線になったりで腹立たしいかぎりです！！

(60 歳代・女性・横手)

- 冬期間の除雪や排雪の際に、流雪溝や消雪の為の水（地下水や河川水）の安定供給に、横手市としても、真剣に取り組んでもらいたい。水利権や色々な障害や問題はあると思うが、多面的機能を持つダム建設に賛成しているのだから、行動を起こすべき。河川水が無理なら、農業用のポンプを深井戸等に更新する事業や助成して、冬期用水や防火用水に役立てる様、地域と検討して欲しい。

(30 歳代・男性・雄物川)
- 除雪を助けてほしい。家の前の大きい道路の雪を除雪車に毎朝おいていかれうんざり……。雪のない県に行きたいとつくづく思う。

(30 歳代・女性・横手)
- 除雪は上手、下手はあるが、もう少し丁寧になりたい。

(70 歳代以上・男性・横手)
- 私道の除雪もお願いしたいです。高齢者として不安です。

(70 歳代以上・女性・横手)
- 排雪の予算を取ってもらいたい。駐車場が狭くなっているのが困る。

(30 歳代・女性・横手)
- 市道の雪の除排雪しっかりやってほしい。雪まつりになると、除雪車が市内ばかりになって外れた市外になるとなかなか手が届かないのか来ないため、不便になり困ります、

(50 歳代・男性・横手)
- 大雪の時、一度除雪にでたと言われて、日中に降った分は圧雪になって放置された。狭い道こそ、多く除雪してもらいたい。朝一に大量の雪は大変です。もっとほかの課と協力していいまちづくりをしてください。

(20 歳代・男性・横手)
- 市職員は現場を良く見ること。市民は行政の良し悪しの判断は除雪がていねいかで決まる。(外の市町村との比較する)

(60 歳代・男性・十文字)
- 冬の除雪ですが、雪が多い時には各部落迄には廻りかねる時もあるのはわかりますが道路がせまいのには除雪がないのででこぼこになり、歩く人や車の人が大変です。見ている方でも、事故にならないかとすごく心配ですので、出来れば集落の除雪をもう少し回数を増やして下さい。お願いします。

(40 歳代・男性・十文字)
- 除雪対策は、根本的に考えを変えなくては。道路の除雪、相変わらず道路の雪を各家に押し付けている。何年も進歩が無く押し付けられた側は高齢になっていて対応ができない。行政、メーカー、建設業界、研究機関等が一体になり改革する必要有り。横手市が提言すべき。老人、市を離れて行く。

(70 歳代以上・男性・増田)
- 雪、地域差がある。キレイに除雪されている地域もあれば、本当に同じ市内かと思うような雑な除雪のところもあるので、改善してほしい。流雪溝を増やしてほしい。

(30 歳代・女性・十文字)

- 変則勤務の仕事をしており、冬場の除雪作業はとても重要に感じています。除雪車が道をゆずって下さったりなど少しでもスムーズに通行出来る様配慮してくれる方が居てとてもありがたいと思います。

(30 歳代・女性・平鹿)

- 冬期間の除排雪も丁寧に対応してもらっていると思いますが、道路によって除排雪の状況に差があると感ずることがあります。

(50 歳代・女性・横手)

- 冬は、もっと市民のことを思った雪よせして下さい。ブルが置いていった雪のかたまりをかたづけるのが大変です。かたづけないと車が出せません。本当につらくて大変です。年より女には。

(50 歳代・女性・横手)

(5-2 快適な移動空間の実現)

- 十文字町に在住していますが、町内の幹線道路岸の美化（花の植え付け）運動を推進してほしいです。町内の沿線は殆ど雑草だらけで見苦しい。

(30 歳代・男性・十文字)

- 電車の数を増やしてほしいです。一人暮らしはお金がかかるため、大学のほうに自宅から通学しているのですが、周りにいる同じ立場の人たちも希望しています。大切なのは十分に分かりますが、改善策を考えてもらいたいです。せめて一時間に 1~2 本はほしいです。よろしくお願いします。

(60 歳代・女性・増田)

- 市道（神明社～東北電力社宅）について。私の子供 2 人は小学校から高校まで通学路としてました。通学中はたいへん危険な思いをしました。中・高は自転車通学で、何度もパンクの修理をしました。今だに、現状のままで、改良の事は聞こえてきません。その子供達も、大学生、社会人になり、今では、通る事はありません。十数年間期待してたのですが、どうにもなりませんね。

(50 歳代・男性・横手)

- 横手駅西口から駅前まで出れる道路があれば、流れ的にも良くなると思います。大仙市の駅の周りは東西南北どこからも駅に向かう事ができ、その為、街の活性化につながってると思います。

(50 歳代・男性・横手)

- これだけの市町村が一緒になったのだから、動線を考えて道作りをしてほしいです。もっともって考えなければいけない事がいっぱいある様におもわれます。先を読む力のある人がほしいですね。一中高年のひとり言です。

(60 歳代・女性・平鹿)

- 通勤時、道路は広くしてもいつも車が渋滞する場所は同じなのでそれをなんとかして欲しい
(十文字～だいご間)

(60 歳代・女性・十文字)

- 町内の要望で毎年のように「ガードレールの補修」をお願いをしているが、全く対応してくれない。勤務中の飲食は慎むべき(職員) 退屈そうな臨時職員が目立つ
(40 歳代・男性・横手)
- 鉄道が非常に不便。是非「こまち」か「つばざ」の乗り入れを実現させていただきたい。隣の山形県に行くのに時間がかかりすぎる。高速道路の整備も必要ではないかと思えます。
(50 歳代・女性・横手)
- 横手駅の利便性が悪い。駅前～駅裏にいける(自転車)で通路がほしかった。
(30 歳代・女性・横手)
- 公共交通機関をもう少し活用したい。便数増加や料金の値下げ、より活用しやすい方法を検討してほしい。・高速道路の車線が増えるよう交渉してほしい。
(20 歳代・女性・増田)
- 十文字町の旧国道 13 号線、梨木から町内に向かって車を運転して、いつも思っているのですが深夜の街灯は、あんなに必要なのでしょうか。一度、走ってみて下さい。
(50 歳代・女性・十文字)
- 横手大森線大上橋朝の交通渋滞がすごすぎる。早く工事が終わるとたすかります。
(50 歳代・女性・大森)
- 以前道路に穴でパンクした際対応が……。土曜などでてなるべくへらしてもらいたい。
(20 歳代・男性・横手)
- 冬道塩カリまきすぎ。新車が一年で足廻りがサビだらけ。アンケート取るだけではなく、行動してください！！あなたに言っています！！何言ってんだこいつと思われてもかまいません。私が 30 代になる前になにも変わっていなければ県外へ移ります…
(20 歳代・男性・山内)
- もっと住みやすいまちづくりに努力が必要だと思う。道路の整備、最重要課題。
(50 歳代・男性・大森)
- 山形から横手までの新幹線を切にお願いしたい。
(70 歳代以上・女性・平鹿)

(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実)

- 今は車で何でも買いに行けますが、70 代～80 代になった時の事を考えるとやはり買い物手段が心配。
(50 歳代・男性・横手)
- 私の住んでいる村は大仙市ととなり合わせです。ほとんど大曲の方へ買物に行ってます。いつの日か免許返納の時が来ると思いますのでその頃にはワゴン車でも回ってくれたら良いなあと思っております。
(70 歳代以上・女性・大雄)

- 私は市内に住んでいる者ですが、実家が雄物川町です。3~4年ほど前に路線バスが廃止になり、一人暮らしの母親が非常に不便を感じております。デマンド交通を時々利用しておりますが、市内で運行しているコミュニティバスを一日一回でなくとも、週に一往復でも運行していただけないものかと願っております。病院や買い物への足がなくなってしまい、不定と不便を感じております。ご検討よろしく申し上げます。※母の住んでいる地域は、館合地区です
(50歳代・女性・横手)
- 社会の縮図は我が家庭に全モラーされています。60代の夫婦の働きで経済を支援されています。長男の子育てには更に経済と家事仕事をし、次男宅には子育てを主にしています。保育園や小学校へ向かえや親が仕事で出かけ後、学校登校する時間までの留す番をして私も仕事に行く生活です。次男は給料が低い為自分の保険をかけられず(20代の時は私がかけてやりケガ(会社)した時、大変にたすかりました。妻の夜勤や研修などで次男が主に家事で残業もできずの生活をしている。三男も県外で仕事をしています。こちらに来たい希望あるが職場がない状況です。市で、もう少し子育てや高齢者への支援や(特に外出時の移動手段)に支援して下さい。いずれ車での移動できなくなるだうと考えています
(60歳代・女性・横手)
- 高齢者の免許返納した場合の優遇の割合を30%以上に上げてほしい。
(60歳代・女性・十文字)
- 路線バスの本数を増やしてほしいです。
(30歳代・男性・十文字)
- 年々高齢者だけの家庭や一人暮らしの人が増えています。自動車の運転ができない人や免許を返納した人もいて買い物などの移動が困難になってきています。市外だとバス停や駅に遠い所に住んでいる人も多いです。乗合いバスの本数を増やしたり、もっと細やかな道を回ってもらえたら乗られる人も増えるのではないかと思います。食料品や日用品が買える移動スーパーのようなものがあるといいなと思っている人もいます。若者が少ないとか高齢者が単に多いとかでなく高齢者に優しい、高齢者が暮らしやすい街になればと思います。
(50歳代・女性・平鹿)
- 町内の個人商店がなくなり、大型店まで行くようになるのでよこまるくんのようなバスが十文字にもあるといいなあと・・・茶飲みともだちと話しています。
(60歳代・女性・十文字)
- 病院、買い物を主とする循環バス(老人用)があるといい。集落をまわって乗り合いしたりして・・・
(50歳代・女性・大森)
- 朝日が丘に住んでおりますが、羽後交通に助成金を出しているのなら運行行程について話し合っていたきたいと思っております。朝日が丘の場合、午前中は駅方面行、午後は駅方面からのみ。午前中出掛けても戻りの足がなく、午後出掛けると帰りがない・・・結局戻りは歩くかタクシーになってしまう。デマンド交通も循環バスも中途半端で路線バスに乗り換え等出来る人は車を運転していますし、タクシー降りてバス時間に合わせるには、バスの遅れや気候にもよる。朝日が丘も高齢化が進む中、循環バスの乗り入れを検討頂きたい。町中に出掛ける手段があれば・・・と思っております。
(60歳代・女性・横手)

- 路線バスも通らない「ザイ」が、まだ多くあります。生活に不便をきたすので、定期便として、1日2,3回の乗合バスを出してほしい。

(50歳代・男性・大雄)

- 今後、10年間の横手市は、県全体での人口減少による、市の国力の減少が考えられるので、県外から人を呼びこまないといけない。市長が代わってから、イベントが増えて、市を知ってもらえる機会は増えていると思うが、横手市は、住むには、豪雪地帯で雪かきが大変であったり、暖房費が多くかかったり、車社会なので車が必須であったりと、移住するには他県や、同県の他市に比べてハードルが高めだと思う。これから、更に高齢化すると考えると、車の運転ミスも社会問題になっている今日では、循環バスの様な安価な交通手段を拡張させることが市としてできることかと思う。

(30歳代・男性・雄物川)

- このアンケートがまとまり、将来の町づくり、地域づくりの参考となれば大変意義あることだと思います。これから益々高齢化が進み、交通上の不便さは買い物や通院、その他様々な面で暮らしにくくなって来ると思います。近隣の店は潰れ、遠く離れた大型スーパーに出かけるということは大変です。高齢者には免許も返納を命じられ、運転も意のままにならない現状は危惧を感じます。

(60歳代・女性・横手)

- デマンドは大変ありがたいので続けてほしいが、利用できる区間が決まっていたり、デマンド運行中のシールを貼るのは、利用者にとって、不便だったり、いやな気持ちになるらしい。家族が送迎できない時や、高齢者、障害者などが主に利用すると思うので、改善していただければありがたい。デマンドを利用する家族が3人いるので、ぜひよろしくお願いします。できれば、予約なしや、時間帯の制限もなくしていただければ助かります。上下水道については要望書などを集めたりしなくても良いように早急に、全市内が上水道になるようにしてほしい。

(50歳代・女性・雄物川)

- 将来車に乗れなくなる老人がたくさんおります。そうなった時は、病院行きの朝と帰りの1日1度でいいから小さな乗り合いバスがあると安心だなあと考えてます。

(70歳代以上・女性・雄物川)

(5-4 地域拠点整備による市街地の活性化)

- 立派な駅から見ても、旧ユニオンの建物がただ建っているだけなのが、非常に残念です。横手市は秋田県の中でも主要市なのに、駅の目の前があれば、観光できた方々が見てきつとがっかりだと思います。駅から近くに喫茶店がないのも問題かと思っています。以前、県外からきた観光客に、お茶ができる所を聞かれたことがあります。駅前再開発も、本当に目の前の再開発がされていないのではどうかと思います。期待しています。

(30歳代・女性・横手)

- 広い市を維持し続けるコストよりもスモールシティ化して商業や交通の充実をするコストの方が効果的である。

(40歳代・男性・横手)

- 市中心部は、スーパーや病院等、市民が利用しやすい施設を充実させ、又、交通や駐車場の面でも、利用しやすい様整備も行ってほしい。市役所と商業施設が一緒になっている様な建物も良いと思う。(岩手にあるような) 一方、住宅地では空家や住宅の老朽化、安全面、地域のつながり、子供が安心して自然と触れ合える場所、学校への通いやすさ、心がやすらげる様な景観等を考え、整備されると、とても良いと思う。住宅地がごちゃごちゃしていて道もせまく安全面でも不安。他、市町村や他県とも協力できる体制づくりをしてほしい。

(30 歳代・女性・横手)

- 横手駅の周りがひどい。廃ビルがそのまま。秋田市、他の市のように駅前にショッピングモール等を建てて欲しい。若者がどンドン県外に行ってしまう。他の県から出張で来た方にも「駅前にこんなに何も無い所はめずらしい」と言われたことがある。改善してもらいたい。

(30 歳代・男性・横手)

(5-5 安全で安心した水道水の供給と生活排水の適正処理)

- 市の上水道につきましては、ときおりドロ水や黒い粉状の粒子が入りますので改善していただければ大変ありがたいと存じます。

(60 歳代・男性・雄物川)

- 下水道の設置について。費用がかかりますが暮しを考えた時に、ぜひ設置していただき、それによって生活用水も流すことなく、悪臭もなくなると思います。人口が少なくなって、家族構成も対称に費用のかかることは後送り大変です。横手市全体を考えてみますと、住みよい街です。整備された道路、人情味あふれた市民、行政、ありがとうございます。

(70 歳代以上・女性・横手)

- 水道管理のあり方、崩壊前の対策。

(70 歳代以上・男性・横手)

- 大雄地区にも下水道工事をしてもらいたい。

(40 歳代・男性・大雄)

- 前田地区 雑飲料水のため池の水がきたないのでもっと整備してほしい

(60 歳代・男性・大森)

(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)

- 家の横が土手で毎年桜の花を楽しませて頂いておりますが、かなり老木なのでそのまま手入れされず年月が過ぎたら倒れるのではないかと心配しております。

(30 歳代・男性・横手)

- 児童公園などに設置してあるトイレなどがとても汚れているので定期的に誰が掃除をするか、決めた方が良くと思います。

(60 歳代・女性・十文字)

- 公園の数をもう少し増やしてほしい。(大きくなくとも遊具を充実させる等)

(20 歳代・女性・増田)

- 市民、年代を問わず、集える施設が多くあれば良いと思います。
(50歳代・女性・平鹿)
- 横手公園のバラ園はその後どうなったのでしょうか。笑顔の少ない街のような気がします。他の方達にも声かけ、案内とか優しさのある街であって欲しいです。
(70歳代以上・女性・横手)

(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)

- 市民同士のコミュニケーションなどとれる行事がもっとあれば参加したいとも思います。横手は生まれ育った町なので大好きです。
(10歳代・女性・十文字)
- 高齢化が深刻な問題ではありますが、横手市の魅力が若者に伝われば流出を防げると考えます。小手先の対策ではなく、確たる魅力に磨きをかけて行って欲しいと願います。
(30歳代・男性・十文字)
- 旧町村の中心部（地域局周辺）の衰退ぶりは目をおおうばかりではないですか。元気の出るまちづくりはいいのですが、イベント、広告関連産業にお金が流れているだけで、地域住民の手づくりがなくなってきている。表面上の活気だけ。口按配のいい人がうまくやっていく。社会は劣化してきていると思う。
(60歳代・男性・雄物川)

(6-2 男女が尊重し合う社会づくり)

- 個人的にワークライフバランスを充実させようと努力して毎日生活しています。その中で子供達や自分のパートナーの個性を大切にしており、それが受け入れられるような地域社会であれば良いなと思っています。今はまだ集団や他人と同調することが重視される傾向にあるように思います。横手市・職場や学校・地域コミュニティー・個人がそれぞれ公助・共助・自助のバランスを上手くとって生活していける場所であればさらに良いなと思います
(30歳代・男性・横手)
- 少子化対策として、子世帯への負担減など力を入れているようだが、「金を積めば産む」といった男性的発想はやめてもらいたい。富国強兵時代の殖産工業であるまいし、女性としては大変不愉快である。社会からは産むことを奨励され、家にいれば夫と子どもの世話、誰のための自分の人生なんだと思う。男女の家事負担の不均衡が埋まらない今、「母さん手当」を強く望む。母さん手当は、子の数によらず、また、父子の方には父にあげて下さい。
(30歳代・女性・横手)

(6-3 情報を共有する環境の整備)

- アンケートに回答して、自分がいかに横手市民として横手市の活動に無関心だったかを知りました。毎月市報を読んだり、市のホームページを定期的に見ているつもりでしたが、色々な活動に取り組んでいたんだな、と思いながら回答しました。過去に2度、進学・就職で県外へ出て、他県の市の活動等を見てきましたが、横手市は市職員の頑張りがよくつたわってくると思います。地域に密着したサポートは大変素晴らしいと感じます。しかし、他県と比べると、アピールが少ない、情報提供がうまくいってないと感じることも少なからずあります。一応、若者として、インターネットの情報を頼りにしている部分があるので、市報の冊子の他にネット情報も充実してほしいです。飲食店や野外イベントの情報をまとめたものを、市で作ってほしいと思います。運営もしっかり行ってほしいです。たまに、更新を放置されているのかな？という情報サイト（市運営だと思います）があったので。
(20 歳代・女性・横手)
- いつも市民の為、色々ありがとうございます。月二回の広報誌のことですが、表紙の写真等は今までと違って「あれ？」と思わせる斬新さがあると思います。中の文字が前の広報誌よりも読み難いように思います。特にインフォメーションなど字数が多く（文字が小さく逆に読まないでしまう時もあります。又、ニューストピックスも写真も小さく文字も小さく盛り過ぎのように思います。職場でこの件について話したことがありますが、私以外にも同じことを言っていました。
(30 歳代・男性・横手)
- 横手のまちをもっと全国にPRして活気のあるまちに。
(60 歳代・男性・増田)
- 回覧・配布物が多い。紙の無駄が多い。広報誌はつき一回にして予算の削減をしてはどうですか
(60 歳代・女性・雄物川)
- 市報発行を月2回から月1回へ経費減少へ。チラシが多すぎる、配るのが大変である（町内で配る際）。各町内への外灯設置へ(夜暗い)
(40 歳代・女性・横手)
- もっと情報発信してほしい。何も分からない。
(30 歳代・女性・横手)
- 仕事場に横手 FM が流れているのでチャレンジデーなど情報が入ってきますが家にいる人はまったくわからず・・・そのへんのことを頭にいれてアピールしてくれればと思います。
(40 歳代・女性・平鹿)
- 市の広報で今こんなことに力をいれている。こんなことを守ってほしいなど、もっと強くアピールしてほしい。出来る範囲で構いませんので。
(60 歳代・男性・横手)
- 横手市の広報は他市町村より充実していて見るのが楽しみ。交通の充実も楽しみ。
(20 歳代・男性・横手)
- 市報を読みやすくしてほしい。あまりに細かくて読みにくいです。(60 歳代・女性・十文字)

- 横手市にはよこて FMがあるがそれでは物足りない。特に秋田はTBS系のテレビ局がなく、数々のスポーツ中継が無料で見るができない。秋田市にはケーブルテレビなどがある、青森の八戸などは無料でフジテレビ系が見れるようになっている。そこで横手市に TBS 系のテレビ局を作る。雇用の創出にもつながる。予算的に無理ならばケーブルテレビを作り、市議会中継や横手イベント防災とともに発信してもらいたい。横手で TBS 系のテレビを見れるとなれば、県内外でも横手に住んでもいいとの選択になると思う。特に秋田より安くならなければならない。若者の流出、県外からの移住には重要なことと思う。東北で TBS 系のテレビを見れないのは秋田だけである。

(50 歳代・男性・平鹿)

- よこて市の広報誌はカラーで確かに見やすくはなっている。しかし、老人が増え、若者が減り、納税者も少なくなってきたのに、あんなオールカラーの広報誌が必要だろうか？二色刷りとオールカラーでは広報誌にかかる税金も段違いだと思う。作り手側からすれば、少しでも見やすく、皆に見てほしいと思う所は分かるが、税金であるという事を忘れないでほしい。少しでもコストを抑え、その分の予算を学校や福祉にまわしてくれたらいいのにと常々思っています。

(40 歳代・女性・十文字)

- 今、この時代仕事や家庭などで何不自由なく暮らしてる人もいれば、逆に 1 日生活していくのも大変な人もいるわけで、もっとそういう低所得者やお年寄りなどから、税金などさまざまな分野でのお金の取り方などもっと少なくして頂きたいのと、将来、今年金などを払っている人達にも必ずきっちりとした形での年金を受け取れるようにもっと情報を分かりやすく教えて頂きたいと思います。

(30 歳代・男性・横手)

- 市報から「おくやみ」欄が無くなり残念です。自身が生まれ育った地域に対する、最後のご挨拶と思っていました。掲載の賛否は遺族が決定しますので、問題は無いものと確信しておりました。できれば、市報へ、同欄の復活を希望します。

(60 歳代・男性・平鹿)

- ラジオを聞く機会が若い人は少ないと思いますが、先日機会がありラジオを聞いてみると、とてもおもしろかったので、テレビ CM などでもっと内容などを宣伝してみてもいいでしょうか。

(20 歳代・女性・山内)

(7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進)

- イオンスーパーなど、大規模な人の集まる所、及び平鹿病院や市立病院などに市役所の出先窓口をもうけ、市民サービスを出前する。もしくは、定期的に移動バスにて市民サービスを各地に出前するなど、市民に利用されやすい行政をにうることが大切と思う
(60歳代・男性・横手)
- グループホームへ入所している母がいますが、年に何度か市役所へさまざまなサービスの申請手続きをしに行きます。同じような手続きならば、市役所へ行く回数を減らすことはできないのでしょうか?その度仕事を休み、数分で終わる手続きをしに行かなくてはなりません。それと、受付カードのタッチパネルがわかりづらいです。もっと具体的に書いてください。
(40歳代・女性・横手)
- 各種証明書や申請書などで会社を休み、又は会社を抜け出し、市役所に出向くという状態は市民サービスに欠けているように思える。全てとは言わないが、市民生活に関わる市民課や福祉課、子育て支援課といった部署は土曜日、日曜日のいずれかの窓口を開くなどの対応があってもいいと思う。
(60歳代・男性・横手)

(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)

- 昔建てた箱モノは今たぶん赤字の施設となっていて維持が大変だと思います。それでも残して運営していくのがベストなのでしょうか? (温泉以外)
(60歳代・男性・十文字)
- 市の運営が赤字という現状でも職員議員等の給料が下がらないという不思議。一般企業とはあまりにもかけ離れた現状で、理解しがたい。
(60歳代・男性・横手)
- 市の予算の公平な分配が重要と思う。
(60歳代・男性・増田)

(7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実)

- 臨時職員があまりにも物事を知らなすぎる。職員になる前にもう少し役所の仕事というものをしっかり教えてから採用してはいかかかと思う。先日の公園でのスマホで写真をとろうとした者がいたが、五十嵐市長時代には飲酒運転したものは「クビ」にしてたが、ささいな事でも「クビ」にしてもらいたい
(50歳代・男性・大森)
- 市職員は市民の為に働くという事を自覚してほしいものです。上から目線ではなく。
(70歳代以上・女性・増田)
- アンケートをとるだけでなく少しは改善が見られるとうれしく感じます。過去数回解答していますが、何か改善されていると思う事はありません。市職員の対応もその場限りの様に感じる対応をうけた事もありますし、職員の資質向上が見られると嬉しいと思います。地域局ばかりがきれいに立てかえられても、内で務める人も変わっていかないといけないのではないかと思います。私の住む地域局はとても良い対応をしてくれていますが、他の地域局で手続きをした時にその様に感じました。
(30歳代・女性・山内)
- 市職員の一部の人の対応の悪さ、市外から来た私にとってはかなしい気持ちになりました。もう少し当たり前という対応・態度を見直したほうが良いと思います。それも街づくりに必要なことですよ！
(30歳代・女性・十文字)
- 生産性の少ない行政は、職員給与をカットし、生産性の高い企業創出に予算を振り向けた方がよい。～税収拡大したときのみ、職員の報酬を引き上げる。
(60歳代・男性・十文字)
- 横手市役所の職員は他の市町村役場の職員よりも親切な対応を心がけているように感じます。横手市は春夏秋冬、四季折々に楽しむことができる良いところです。それを売りに、外にアピールできれば、若者の定住促進につながると思います。
(40歳代・男性・十文字)
- 全ての面において満足度の高い行政サービスを目指すより、成果を上げている既存の活動、団体、個人のサポートなど、裏方、下支えの仕事に力を入れてほしい。市が旗を振る活動は総じてセンスが悪く、魅力にとぼしい。市民に注文をつける上から目線の市職員も見かけるが、何か勘ちがいをしているのではないか。目立たないが重要で人知れず高いレベルの仕事をしている行政の方も多くいると思う。安易な評価はできないとも思う。
(40歳代・男性・横手)
- 市の職員が多すぎます。一般企業を基準に考えましたらあんなにいらんないと思います。忙しく仕事をしている人はほんの人握りと見受けられます。今の半分にしても大丈夫だと思います。(高いボーナスもらっているのもそれくらいの忙しさは当然だと思います)一度採用されれば定年まで安心という考えは改めてほしいと思います
(50歳代・女性・山内)

- 「公務員は全体の奉仕者である」法律(地方公務員法)に記載されていますが、地域局では住民が窓口に来て、席に座ったまま対応が悪い。市役所職員は偉いと勘違いをしている職員がいるように感じます。

(60歳代・女性・雄物川)
- 市道の修理。(アスファルトがわれている) 4～5年前に道路の修理に来ていた市の職員(臨時)時間のルーズさにあきれました。

(60歳代・女性・横手)
- 職員の方々の意識がまちまちで統一されていないと感じる。また手続き1回で済まず不便。

(70歳代以上・女性・横手)
- 窓口職員の対応が1部ですが、不親切に感じます。高齢になると良く聞きとれない時もあり、親切に心がけて欲しい。

(70歳代以上・男性・横手)
- 「働き方改革」のとき。市職員の方の働き方がそんなに忙しそうに見えません。私の税金ですから、給料・手当を下げるか税金を下げるか市民に還元してほしいです。私は低所得者です。

(50歳代・女性・横手)
- 職員の方の明るさがほしい。窓口の挨拶もほしい(明るく) 2・3階は息苦しさを感じます。予算もあるでしょうが、お花など多くあればホットします。

(60歳代・男性・横手)
- 市役所の方は他の市町村より丁寧ですよ。

(20歳代・男性・横手)
- 市職員のレベルに差がある。もっときちんとした対応をしてほしいし、公人であることを自覚して勤務してほしいと思う。また、大森病院と横手病院とでは、職員の対応がちがすぎる。大森病院が、高齢者の患者が多いせいなのか？横手病院の職員の態度にイヤな思いをさせられることがあるので改善を望みます。

(30歳代・女性・大雄)
- 市職員の何人かは仕事が出来ないのに他人のせいにするところがある。サービス業であることと公務員であることの違いをわからない。人にサービスすること、公共の間であることを忘れてる。残念。

(20歳代・男性・平鹿)
- 市民からの苦情、要望に対してもっと積極的に取り組んで頂きたい。(事務的処理ですまらず)相手の気持ちになり、相談によって結果を出して頂きたい。今までできなかったからこそ、今後は問題にしっかり取り組んで頂きたい。

(70歳代以上・女性・大森)
- 市職員と非常勤との給料の差、待遇の差がありすぎると聞いている。職員と同じ仕事をしている非常勤はやるきがなくなると思う。ある職員は携帯電話を仕事中にいじっているとも聞かれる。職員の給料を下げるべきと思う。

(50歳代・男性・雄物川)
- 横手市は職員が多すぎる様に思われます。

(60歳代・女性・雄物川)

- 一般人にとって役場の職員はいざという時頼れる人達であってほしい。(現在で不満があるわけではありませんが・・・) 現在は困ることは有りませんが、いずれ老いてゆく。その時のくらしに不便を感じないような生活環境でありたい。

(60歳代・女性・大森)

- 市役所にいつ行っても、職員皆さんの対応態度が親切でハキハキ明るくてすばらしいと思います。今後とも市民のために頑張ってください。私も一市民として応援いたします。

(70歳代以上・男性・横手)

- 地方公務員の一般企業への1年や半年の出向をよるとよい。一般企業の目線に立つにはこれが良いと思う。

(40歳代・男性・十文字)

- 市の職員の方々には、とても親切に対応していただき、有難く思っていますが、特に「クリーンプラザよこて」の職員の方々は、対応が親切で、いつ行っても気持が良いと感じています。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(60歳代・女性・横手)

- 市民課に限らず、他の部での対応がお粗末に感じます。前は違ったのに・・・辛口に言えば、役人顔の人が多くなったきがします。(私だけでなく、他の人からも同意見がありました。)

(60歳代・女性・横手)

- 地域局の主な窓口には地元の職員をお願いします。(気軽に対応できない)

(60歳代・女性・大森)

(横手市の取り組み全般について)

- 観光や旅行などで他市・他県に行ったときは、横手の良さをアピールしています。住みよい街・元気な街をみんなで創っていくことができるよう願っております。
(50 歳代・女性・大森)
- 福祉の充実と除雪対策と交通の利便性を特に考えてほしい
(50 歳代・男性・横手)
- 一時的な（フェスやイベント等）よりも長期的な人口削減対策を望んでいます。
(40 歳代・男性・大森)
- ハード面の整備も重要ですが、もっと働き方・暮らし方に柔軟に対応できる市になってほしいと思います。人口が減少する今、ひとりひとりの暮らしを充実できる町が求められと思います。「よそ者・若者」は「昔のやり方を「改善するアイデアを持っています。これらをコーディネートし、組み合わせることで魅力ある町になるのではないのでしょうか。もっと対話ができる場を、機会を設けていただきたいです。大きくなくても小さな場から広がっていく方が浸透は早いと思います。
(70 歳代以上・男性・大森)
- 住んでいて希望に満ちた、横手市になってくれる事を望んでいます。
(60 歳代・男性・横手)
- 生まれ育った横手市が大好きです。全国での知名度上位の“かまくら”“横手焼そば”“増田の蔵”などなど自慢できるものがいっぱい！！それをもっともっと利用して横手を全国に発信しましょう。スポーツに力を入れる“スポーツ立市（?!）”も良いとは思いますが、お年よりの増えているので、介護関係にもっと力を入れてほしいです。家族での介護には限界があります。公共の介護施設（デイ、ショート）で家族が心身と家計にやさしくできるような、横手市になってほしいです。
(50 歳代・女性・平鹿)
- 市全体が活性化できるよう市民全体で考える場をもうけて、色々な案をとりいれてほしい。
(50 歳代・女性・雄物川)
- 市報で知る市の人口減少が気になります。いろいろ対策をお願い致します。
(60 歳代・男性・横手)
- 昔からの活動と、最近始まった活動、重複している物がないか、ネットの普及により、わざわざ集合するまでもないような事などは、少し減らしていても良いのではないのでしょうか？私たち中年が、高齢になっても活動していける社会事業にしてほしいと思っております。
(60 歳代・男性・十文字)
- 足をひっぱらないで、手をひっぱって、元気で明るく笑顔が多くなるような市政、又、市民作りを頑張りましょう！！なせ秋田は自殺者が多いのか？他県から来た者にはわかるような気がする。
(60 歳代・女性・横手)
- よそ者、バカ者、若者と協力して頑張してほしいです。
(40 歳代・男性・大雄)

- 地域局の職員の方々が、一緒懸命頑張って下さる姿勢に感謝致します。しかしながら小さな場所にはなかなか目がむけられず、予算がないの一点張りで、何が必要で何が必要でないのか、設置に今金がかかっても、後々、金がかからないという事もあります。力のある議員がいないと、やっていただけないという事は非常に残念に思います。

(60 歳代・女性・平鹿)

- 核家族化がすすみ、高齢者のみの家庭が増え、農業から離れる者が多くなり、農地が荒れていくのではないかと心配です。年金生活者は夫婦でようやく生活できる状態。高齢になると自家用車も運転できなくなったら、どのように買い物したり、通院する時はどうするのか？特に冬場は除雪、屋根の雪下しなどこれからの老後がとても心配です。横手市も「コンパクトシティ」のような形態を考えていかなければいけないのではないのでしょうか？少子高齢化に合った市の運営の仕方を考えて頂きたいと思います。

(60 歳代・女性・雄物川)

- 横手市というより、これから先、若い人が少なくなり 20 年後 30 年後はどうなっているんだろうと不安はあるが、市長や職員に頑張ってもらいたい

(60 歳代・女性・横手)

- 今後もっと地域社会が活発な活動、(子供・若者・老人)等を巻き込んでできるよう、行政が今以上に先頭になってやってもらいたい

(30 歳代・男性・大森)

- 状態をできるだけ正しく把握した上で対処していただきたい事象を見ることがあり、残念なときがあります

(年齢不明・性別不明)

- 若者がいる町作りが必要です

(60 歳代・男性・横手)

- 子供・若者が元気に楽しく暮らせる町。横手の良さ、強みをどんどん PR できる町にできれば最高だと思います

(40 歳代・男性・山内)

- 学生ですが、進学したいと思っても学びたい学校が地域にないため一度出ざるを得ない環境です。他県は自動車が無くても交通の便も良く、冬は雪が降らないか、降っても少量なので時間の使い方が有効です。横手市を魅力的に見せる(感じさせる)には、郷土愛よりも近代的な方向へ行かないと若者は減るばかりではないかと考えます。思いきって地下道を増やして、全天候型道路を作ったり、他県への移動のしやすさをすることで、逆に横手に住む人がふえるのではないかと考えます。

(10 歳代・女性・山内)

- 県外からの U ターン・I ターン者を対象とした施策は耳にするが、そもそもけんない在住者が「秋田県に居たい」と思うような施策が少なく感じる。(奨学金の返還の減免等)秋田県の人口減少問題について、県外からの誘致ではなく、県内在住者の定住への重きを置くべきだと思う

(20 歳代・男性・横手)

- 合併後、町村が寂れてきている感じがある。一方で十文字町は、若者が定着していると世間では感じている。分散した活性化を望む
(50 歳代・女性・大森)
- 自分からは一銭も金を出さないのに「市から金を出してくれ」という連中が多い。市も金がないのだから、場合によっては「住民負担」の上で、物事を行っても良いと思う。たとえば、温泉施設だって「一人一回入浴 1,000 円」なら施設を成せると言えば、文句を言っている連中は何と答えるだろうか？現状を理解させる方法が必要かと思う
(50 歳代・男性・増田)
- 高齢者が安心して暮らせる市を目指す必要があります。雪対策、若い人も仕事につける地域も重要ですね。横手市としては都市化を目指す必要はなく、田舎らしく住みやすい地域であって欲しいと思います。車の必要な社会ですが、高齢となって運転できなくなった場合の生活をどうやって助けるか重要ですね。難題が山積しておりますが、市の積極的な対応を期待しております。
(50 歳代・男性・平鹿)
- 時代変化の中でどうする事も出来ない事がある。人口減少対策は増やす事が無理と判っている。減っていくことで、どう政治を執っていくか、今、はやりの終活的考え方が政治課題ではないかと思う。行政として前向き姿勢は必要なのがも知れないが、少なくなる人口、良くはならない経済環境に於いて、今居る住民が安心して年老いていける政治を目指してほしい。
(60 歳代・男性・十文字)
- 色々な取り組み（デマンド交通やいきいき教室等）をしているのはわかるが、特に断続性がないこともあった。新しく企画し、市民のためにアイデアを出しているのだろうが、行政として「こんな取り組みをしました！参加者が〇人です」＝成功ではない。その企画をしてどうなるのか？どうだったのか？続けていけるのか？（予算は？）その満足のために無理をしいられている人はいないのか？行政の方針に振りまわされていないか？……。本当に市のため、市民の生活のための企画なのかやり方なのか？！よく考えてほしい。このアンケートの予算、そして結果がどのように生かされるのか？！住みやすい我がふるさとのためにがんばって下さい。
(50 歳代・女性・横手)
- 横手市に住んで 47 年になりますが、交通産業、環境に恵まれて住みよい横手市でこれから続けてもらいたいと思います。
(60 歳代・女性・横手)
- 人口を集めるためには、大規模商業施設が必要→大森町に建設すると、横手市・大曲市から距離が等しいためよいと思う。秋田市からは、高速道路があるためアクセスがよいと思う。資格取得の際の補助金をもっと出してほしい。東北自動車道への道が狭すぎる。横手市は、広いため旧市内だけではなく、その他合併して市になった市町村も同時に活性化しなくてはならない。具体的には、ファミレス・飲食店等の建設、パチンコ屋の設置等。その他まだ沢山あるが、職員には、他県の人口が多い市を実際に見て（街並み）、感じとってほしい。このままだと、衰退の一途をたどっていくと思う。私は、生涯横手に住みたいとは現在のところ思っていない。
(30 歳代・男性・大森)

- 誰しも思うのは平成の合併はナンゾヤと・・・なにひとつ良くはなってない・・・スポーツシンコウもいいけどそれで若者にこの地に生きることができるのか！市議会、そして市長ももう少し考えての行動が必要。みてくれの市報なんぞムダ！山形をみならうべし。※こういうアンケートをとる自体が無責任と無ダ！

(60 歳代・女性・雄物川)

- 農村社会の崩壊が迫ってきている感があります。横手市だけの問題ではないが、地方が人間らしい生活を維持してゆくために何が大事なことから、大胆な発想と行動力で、国県に強く要望し、国が本気で地方を支援してくれるよう望む。

(60 歳代・男性・横手)

- 予算の制限があるというのは分かるが横手市の全体の将来図を描き、それに向かっての完成を目指すべきと思う。人口減少をいかに食い止めるか、移住定住する人を増やす方策や観光に訪れる人へのアプローチや増やすことを考えるべきと思う。その他様々数多くあると思いますががんばって下さい

(60 歳代・男性・十文字)

- 今の市政は、良いとは、言えません。若者にも、年寄りにもやさしくない。これでは、横手市に住みたいという若者は、増える事はない。

(70 歳代以上・女性・増田)

- 現状維持するのが精一杯だけの政治に感じ、フレッシュ感が全くない。税金を有効に活用して欲しい。大改革が必要かもしれない。いつまでたっても向上しない気がする。

(60 歳代・男性・雄物川)

- 若い人が住みやすい街づくりをお願いします。

(20 歳代・女性・横手)

- この先の公共施設のマネジメントのことばかり考えずに、今現在この市に住んでいる人たちのことを考えた維持論を考えた現状維持論を考えるべきだと思います。このままなくすことばかり進めていくと唯一人々の楽しみや交流の場を奪うこと。魅力ある町づくりはそこに住む人たちの満足する気持ちからだだと思います。

(30 歳代・女性・雄物川)

- 市政は全市民に平等であるべきだと思います。ある一定の地域(旧〇〇町)や地区、施設を整備しても一部のみの満足で終わるのではないのでしょうか。新事業への着手も良いと思いますが、古くからあるものに目を向ける必要もあると思います。

(40 歳代・女性・平鹿)

- なかなか皆のいい様にはいかないと思うので 70%位をめざしてがんばって下さい。御苦労様です。

(50 歳代・女性・大雄)

- 若者が定着できる為の具体的施策を多方面から意見を募る事ができるようにしていく。また高齢化が叫ばれる中、具体的に何をどのようにする事が個人、自治体としていい方向になるのか、多数の意見集約や他、自治体の現状を市民に知らせる事も必要かと思う。歩道のひびわれより雑草が目立つ。市の駐車場の花壇？の草が美化を損ねている。職員が対応できないものか？民間では職員により美化をはかっていると思う。また、空き地の雑草も見苦しいし、空き家も危

険だし、防犯上よくない。また増加していると思う。

(60歳代・女性・増田)

- 何でも 100 点的な行政でなくメリハリをつけた多少偏りがあっても個性のある市行政になったほうが良いと思う。他の行政との差別化も必要である。結果的に魅力ある地域となり活性化につながるのでは！新しい事業等は魅力がありますが、既存の設備等の保全も大事な事業です。道路の補修や上下水道設備の計画的なメンテナンス等も怠らない様に計画的にお願いします。

(60歳代・男性・横手)

- 皆が住みやすい町づくりにしてほしいです。(60歳代・女性・横手)
- アンケートの満足度について、どの様に答えて良いかわからない項目もあり、参考にならないかもしれません。40年ぶりに故郷に単身で戻り、数年生活しております。自然の景色と旧友に接することが癒しになっております。このところ増田町は観光客で賑わっていて、喜ばしいことと思います。昔からの町並みや蔵などの保存に異存はありませんが、ただ観光に力を入れるあまり、見かけだけ繕った町並みには違和感があります。交通について申し上げれば、路線バス、鉄道しか利用手段がない者にとっては、バスと列車の時刻が都合良くつながらず（特に日中の時間帯）乗り継ぎに不便を感じます。路線バスで横手まで行くと、往復で数百円高くなります。年金暮らしには厳しいところです。（病院に通院で利用します。）そして、十文字駅を利用してつくづく思うことは、高齢者がプラットホームに出る階段を昇り降りする姿が大変辛そうだということです。また、観光客や帰省される方が大きな荷物を持ってあの階段を昇降するのを見ると、本当に気の毒に思います。駅員も1名しかいない様子で手伝ってもらえそうもなく、私がお手伝いすることもあります。・・・エレベーターの設置は高い費用がかかると耳にしますので、改札口からすぐ列車に乗られるホームをつくることは出来ないのか、横手市としてJRに働きかけることはできないのでしょうか。（十文字駅は上・下線単線でも良いのではないかと思います。）増田町に秋田・山形新幹線を利用して来る観光客にとって最寄りの駅は十文字駅ですので不便を感じないようにして欲しいと思います。また、高齢者の除雪対策についても講じて欲しいと思います。今、生活している人々が住みやすい、やさしい環境をつくるのが大事だと、市政を担う方々に感じて頂き、対策を講じて欲しいと切に願います。もちろん、文化遺産を守っていくことも大事なことと思います。横手市が益々生活しやすい地域になりますようによろしくお願い申し上げます。

(60歳代・女性・増田)

- 合併によるスケールメリットについて盛んに言われてましたが、今ではスケールデメリットが大きいかと思っています。各種施設等の統廃合で少しは予算面で自由度が出るのかと期待しても、地域要望は取上げてもらえないこともあり、予算がない、優先度が低いなどと言われると合併前よりも行政側との距離が格段に広がった気がします。地域活性化とは良く耳にしますが、そのためにイベントをやることはまだしも、そのみが行政のやることだとの意識ではないでしょうか。

(60歳代・男性・地域不明)

- 若者が離れていかない、県外からの就職者が増えるなど秋田県がもっと活性化してほしい。

(10歳代・女性・増田)

- 若い人達が仕事を持ち、家族を持ち、住みやすい市となれる事を望んでいます。文化を感じられる美しい町。

(60 歳代・女性・大森)

- 最低賃金を上げてほしい。高齢者が免許返納した際（障害者）、交通の不便の解消。危険な場所、十字路などの信号機設置。（ガードレールなど。）高齢者世帯の大雪の際の除雪の援助。福祉の支援を受けていない一人暮らし高齢者の交流の場を増やしてほしい。（認知症予防。）定期的な訪問。話し相手。犯罪のない市にしてほしい。助け合い、支え合いの、あたたかい市にしてほしい。

(40 歳代・女性・横手)

- 横手市以外の友人に、横手でおいしいものが食べられるところや遊べるところを聞かれた時に、パッと答えられず……。自分の車を持つようになった今も、休日に出かけるのは横手市外です。唯一期待していたスポーツ施設の話も消えてしまい残念です。もっと若者の声を聞いて欲しいです。高齢者も大切ですが、若者が胸を張って市外の人々に自慢できる横手市を作りたいです。

(10 歳代・女性・横手)

- 横手市に来て20年になりますが、当初よりも、交通、病院、観光など、良くなってきた部分がたくさんあり、住みやすい町だと思っています。高齢の方が多いので、高齢者福祉はとても大事だと思うのですが、町としての未来を考えると、若い人を呼び込むためのスポーツ、観光施設を充実させたり、産業振興に力を入れたりすることが、重要なのではないのでしょうか。スポーツ施設の計画が頓挫してしまったこと、私の周囲では残念がっている人が多いです。まちづくりは重要なことばかりですが、未来を見すえた町づくりを希望しています。

(40 歳代・女性・横手)

- 各種支援体制にもっと柔軟性が必要と思う。必要なところに必要な支援がいない。ケースバイケースの対応を求めます。

(30 歳代・女性・十文字)

- 「地方創生大全」木下斉著を読んでもください。観光とかで税金をドブにすてる前に。

(40 歳代・男性・十文字)

- すべてにおいて、目に見えるところだけでなく、もっと深いところで困っている事があるはずです。（子育て支援も、低所得も、教育も）本当に困っているところを支援してほしいです。

(40 歳代・女性・横手)

- 若者が定着する為には年寄りの考えも柔軟にしていけないのではないかと思います。子どもと高齢者に支援のスポットが当たりがちですが、若い人たちが伸びのびと考えて活躍できる環境があるべきだと思います。

(40 歳代・女性・横手)

(アンケートについて)

- アンケートだけで何も変わらないと思う
(40 歳代・男性・雄物川)
- アンケートとか無駄遣いをやめてほしい。市役所で相談する時に隣と近いのでプライバシーが気になる
(40 歳代・女性・雄物川)
- アンケートをとる年齢・対象者を考えてほしい。今の若い年齢層に質問するべきである。
(50 歳代・女性・雄物川)
- 市民の声を聞くことになるとは思いますが、横手市で相談する方(役員)は何故、役所の元職員や長い間いろいろな役員を続けている一部の市民だけなのでしょう？同じメンバーで市民の代表としてこのアンケート結果を相談するのであれば今までと何も変わらぬと思います
(40 歳代・男性・横手)
- アンケートに参加できる機会があると市に対して希望が持てます。数字だけで終わらないように頑張ってください。
(60 歳代・女性・十文字)
- 今、住んでいる人達が住みやすいと感じる街になれば自然に人が集まる街になるとは思います。このアンケートがまちづくりの“ものさし”として有意義に使われることを望みます。
(30 歳代・男性・横手)
- この様なアンケートが無駄。こんなアンケートしても横手市は良くなりませんし発展もしない。
(40 歳代・男性・横手)
- アンケートを要望する場合、粗品があればと思います
(50 歳代・女性・横手)
- 問 36 について。重要度については答えられるが、現在の満足度においては、項目によっては回答が難しい。
(60 歳代・女性・雄物川)
- 代筆の為、本人の理解できる項目しか記入できません。
(60 歳代・女性・大雄)
- この封筒が入るポストは限られていますのをご存じですか？
(60 歳代・男性・平鹿)
- このアンケートは毎年きます。そのコストが無駄になってませんか？
(40 歳代・男性・横手)
- 36 は答えるのに難儀しました。
(60 歳代・女性・横手)
- すぐ封ができるよう工夫
(30 歳代・男性・十文字)
- 若者の意見なのでぜひ読んでいただけたらと思います。
(10 歳代・女性・横手)
- 今回のアンケートの選択肢は、とてもあいまいでこの集計結果をどんなふうにか活かすのか、疑

間が残る。これにどれだけの経費をかけてるのか、お役所仕事・・・・というイメージしか持てない。

(50歳代・女性・十文字)

- アンケート形式はもちろん大事なことでありますが、もっと大事なことは「地域の人々との語り合い」から導きだされていくものだと思います。そこには、アンケートでは得られないコミュニティの特性だったり、気質（地域ごとの）と深い関わりがあるからだと思います。その点をお忘れなく。そして、結果で得られた知見を確実に地域住民にお返しいただき、受け止めてもらえるよう、努力を切にお願いいたします。皆様のお力を信じて！

(年齢不明・女性・十文字)

- 何万分の一声でも、真摯に拾い上げ、取り組んでいくという覚悟で、このアンケートを書かせたのでしょうね。決して無駄にしないで下さい。行政の立場第一で行政が行うアンケートなら、何の役にもたちませんから。

(50歳代・男性・横手)

- アンケートをもっと簡易的な物にしてほしい。インターネットでの回答受付とか、マークシート方式とか選べたらよい。このアンケートにはどれくらいのお金がかかっているのでしょうか。

(40歳代・男性・横手)

- みんなの税金を使ってこのようなアンケートをするのに、このような良い紙を使う必要はあるのでしょうか？内容にしても、二重に同じことを聞いているように思うので、あまり実のあるアンケートとは言えないように感じます。もっとコストをおさえて実のあるアンケートにしなければ、ムダに終わると思います。せっかくのアンケート、職員のみなさんも忙しい中大変でしょうけど、みのりあるものになるようがんばってください。

(50歳代・女性・山内)

- 今回のアンケートがよりよいまちづくりに役立つことを望みます。

(30歳代・男性・大森)

- 返信遅くなり、大変申し訳ありません。

(30歳代・男性・平鹿)

(その他)

- 私は母さん・ばあちゃんです。日々、家族が幸せに安心安全に暮らせるようにと頑張っています。市長さんは今、何を頑張っているのでしょうか。選挙が近くなると会えるでしょうかね。
(60 歳代・女性・十文字)
- 若者？ 中年？ が気軽にお手ごろに飲食できる場所が少ない。外食産業がもう少し活気づけば、横手が元気になるのではないのでしょうか。また、子どもが遊べる場所ももっと欲しいですね。大人も子どもも長時間楽しめるような場所。できればインドアアウトドア両方。基本的には横手が大好きなので、活気ある横手にしていきたい。
(40 歳代・男性・横手)
- 娯楽施設があまりにも少な過ぎる。パチンコ店を 2～3 店減らして、ボウリング場の一つでも整備してほしい。
(50 歳代・男性・横手)
- 昭和 59 年～住んで、人生を終えるまで住みます。最初はなじめず、とてもイヤな思いも致しましたが、住めば都、今はこの町が好きでたまりません。何か一つでも、人の役に立つ様に人生を送っていければと思っております。この町に来て、住んで心から幸せだと感じております。いつまでも健康でありたいと願っております。
(60 歳代・女性・横手)
- 特にありません
(70 歳代以上・男性・平鹿)
- 市長はもっと小まめに各地区のイベントや会合に出むいてコミュニケーションを取るべきであると思う。
(60 歳代・男性・横手)
- 将来的に移住を考えていますので特に有りません。
(50 歳代・男性・横手)
- 市長・市議会議員の皆さま。次の選挙に当選するための活動では無く、未来の横手の姿を考え、次の市長・次の市議会議員に引き継いでいける活動をしていただきたいと思います。他の市町村・都道府県・国でもやっていない事を横手から初めましょう。始めるのではなく、「初め」ましょう。『皆さまだったら、必ず出来ます。』
(50 歳代・男性・横手)
- 誰が横手の市長がやっても変わりません。もっと大型店舗（イオンモール e t c）など横手に誘致したりして横手から出ていかななくても横手で充分と思うくらいの住みやすい所にしなければならない。農業どうのこうのやる前にまずは人を受け入れるなどの事を考え人を増やすことを考えろ！！あと外を見まわせ（北上市、盛岡市、仙台市など）いい所を学びどうしたら人口が増えるか考えろ！！ケーブルテレビ（TBS 系）が見れない地域にいたいとは思わないから人口が減るのでは。こんな意見は役所の下っ端しか見ないから書いてもムダだよ（悲）これが市長に届かない市民の声。このままだと 10 年後には横手市は 5 万人いるかないかになるよ。
(40 歳代・男性・横手)
- 高齢者が増えている中でお年寄りが楽しみにしている温泉がなくなっていくのはとても残念

で、市民全体で一つでも多く存続できるように協力できないものかと思います。

(60 歳代・女性・十文字)

- 特別ありません

(70 歳代以上・女性・平鹿)

- 住みやすい横手市です。

(60 歳代・男性・十文字)

- 人が集まる場所がない。コンサート場・サッカー場・体育館など・人が集まればお金も動く。

(30 歳代・女性・横手)

- 話が進む(事業が進む)と、官・公・民の立場や役割の線引きを忘れて、他人に求める(他人の責任を追求する)ようになる。気をつけたい

(50 歳代・男性・横手)

- 横手と言ったらという目玉になる場所がない。情報も少ない。

(30 歳代・女性・横手)

- 市民の意識を変えなくてはいけないと強く感じます。

(50 歳代・男性・横手)

- 路線バスを通勤、通学ラッシュ時は今の大きさのまま、その他はもう少し小さめにしてもよいのでは。

(10 歳代・女性・横手)

- 遊びに行ける場所が少ない。パチンコ屋ばかりいない。

(30 歳代・女性・平鹿)

- 約四年前に横手市に住み始めました。初めて高速バスで横手駅前に上陸したときの率直な感想は「駅前に何も無い」「商店街がない」「さみしい」でした。駅前のホテルに泊まっても、周りに店がなかったのでホテルの中でご飯を食べて終わりという感じでした。駅前の廃虚感がどうにかならないかなとずっと思っています。横手市から秋田を元気に出来ると思うので、これからも頑張っていきたいと思います。

(20 歳代・女性・雄物川)

- 市政運営にいつも御苦勞様です。改めて、自分は勉強不足を痛感しました。特に「問 36」以降に関しては、最も大切なことなのに、さて現在、どうなっているのか・・・と。配布物は良く読んでいるつもりだったのですけれど、今後実に気をつけて目を通す様にします。

(70 歳代以上・女性・平鹿)

- 冬が長く、仕事のストレス解消の場所がない。パチンコ店ばかりで、薄給の自分には行けない。老人施設ばかりで、働きざかりの私達の楽しめる場所がない。有名人のコンサートが来てくれる施設、通年使用できる温小プールなど(若い人にはラウンド1や映画館)を是非作って頂きたい。今のままでは、他県へ移動するしかないと切実に考えている。横手は楽しくない。新幹線はなぜ来ないのかも不思議である。

(50 歳代・男性・横手)

- 家族で温泉施設を利用しています。今年度いっぱい廃止となる可能性があります、地域の人達の交流の場として重要であることを忘れないで下さい。

(40 歳代・男性・平鹿)

- 横手市はとても住みやすく、居心地も良いと思っています。ただ、個人的なことです。子育てを行っている今現在、やはり給与が少なく生活も苦しい状態です。転職も視野に入れておりますが「また一からのスタート」と思うとなかなか一歩が出ません。子供達には生活が苦しいという姿は見せたくないですし、様々な体験もしてほしいと考えています。無償、または低価格で体験できるイベント等がもっと増えると良いなと思います。

(30 歳代・女性・増田)

- 観光や産業振興など確かに地元愛を高めるために必要なことと思います。しかしながら、モノだけに目を向けるのではなく、1人1人の個人がいかに元気になれるか、そういうヒトの資源をアップさせる取り組みが恒常的に求められている気がします。各地にオピニオンリーダーが存在すると思いますが、その方々が若い方を中心に、心の交流をする、また心のエネルギーを促進させる会を開くことによって、自ずと地域が活性化していくのではないかと感じています。

(40 歳代・男性・横手)

- すくすくカード、お店でカードを使えるという表示があるのは見るが、どのような特典をうけられるのか、まったくわからない。小さい雑誌をくばられて、それには、うけられるサービスを書いているが、いちいち持ち歩いて確認することはまずない。お店の人に聞いてもサービスがわからない場合もある。すくすくカードの表示といっしょに、うけられるサービスもしてもらえたら、もっとすくすくカードも活用されるのではないかと思う。

(30 歳代・女性・横手)

- 税金に対する不公平感を感じず。「正直者が馬鹿を見る」質問項目「リ」3によって優遇されているような住民税、国民健康保険税など払っていない人が毎日飲み歩いていると・・・本当なのではないでしょうか。こんな小さな自治体でも付度とか癒着があるのでしょうか。みんな、大なり小なりその事は解かっている・・・。解かっています。

(50 歳代・女性・十文字)

- 市民のために毎日ありがとうございます。紫波町のオガールのような総合的なまち作りで、田舎の不便さを感じないコンパクトで機能的な特区を作ってほしい。一人暮らしの家の雪下ろし、交通の便など大変なので、市営で管理する団地とか施設を作って暮らしやすくしてほしいと思う。上記の特区にくっつけて、徒歩で病院、役所、買い物ができるような便利な町をつかってほしい。暮らしている人が幸せな横手になるように。外から人を呼ぶことより、住んでいる人の満足度（給与、仕事のやりがい、遊び、交通の便）が上がると思います。

(30 歳代・女性・大雄)

- 十文字はコンパクトシティだと思う。自転車で移動できる範囲に商業施設や医院があり、様々な方面へ旅行にも行きやすい。(高速道路の整備等により。)災害も少なく、地元の道の駅も活気があふれている。しかし大学進学を機に県外へ出る若者が多くとても残念だと思う。もっと若者が魅力を感じるスポットやイベント等活躍できる場を増やして欲しい。私は十文字町が大好きです。

(20 歳代・女性・十文字)

- 高校生が今の横手市に何を思い考えているか知ることが大切だと思います。若い人達の意見がこれからの横手市を作るし未来だと思います。

(50 歳代・女性・十文字)

- 気軽に足を運べる、何か時間を有効に使える様な場所があるといいと思いました。横手市内にもっとカフェの様なものが欲しいです。
(20歳代・女性・山内)
- 30～50代独身者が多いように感じます。もったいない！
(50歳代・女性・横手)
- 職員の方々には日々がんばっておられ、感謝です。これからもよろしくお願いします。
(50歳代・女性・横手)
- 「かんぽの宿」の温泉が好きだったので、何らかの形でリニューアルされることを望んでいます。横手市は住みやすい街だと思います。
(50歳代・女性・横手)
- 親子で集えるような場所が十文字・増田にもあると嬉しい。南の街（マルシメ）がとり壊しとなり、そこに次は何ができるのか？
(30歳代・女性・増田)

Ⅲ 巻末資料

1 アンケート調査票

2017（平成 29）年度

横手市まちづくりアンケート

～ご協力をお願いします～

返信用封筒に入れ **7月2日（日）までポストに投函**（切手不要）

日頃より、市政の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

横手市では、向こう10年間の“まちづくりの指針”を定めた「第2次横手市総合計画」を平成28年に策定し、分野ごとに設定した「目指す将来の姿」を実現するため様々な施策を実施しております。

このアンケートは、それら施策の達成度を確認する大切な“ものさし”となります。設問数も多く、大変お手数をおかけしますが、今後のまちづくりの方向性を検討するための大切な調査となりますので、ご協力をお願いいたします。

平成 29 年 6 月

横手市長 高橋 大

アンケートのご記入にあたって

- ① この調査票は、横手市にお住いの18歳以上の方から無作為に抽出した3,000人にお送りしています。
- ② 封筒のあて名にあるご本人についてお答えください。（代筆も可）
- ③ このアンケートは無記名で、回答は統計的な数値として処理いたします。

アンケートに関するお問い合わせ

横手市総合政策部 **経営企画課**

電話番号：**0182-35-2164**

受付日時：月～金 8：30～17：15
（土・日・祝日を除く）

はじめに、性別や年齢等をお尋ねします

次の質問項目ごとに、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

(ただし、質問項目「リ」は3つまで)

質問項目	選 択 肢
イ. 性別	1. 男性 2. 女性
ロ. 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上
ハ. 現在お住まいの地域	1. 横手 2. 増田 3. 平鹿 4. 雄物川 5. 大森 6. 十文字 7. 山内 8. 大雄
ニ. 職業	1. 農林業 2. 自営業(商工業、サービス業など) 3. 会社員(常勤) 4. 会社員(パート・アルバイトなど) 5. 専業主婦(夫) 6. 公務員、団体職員 7. 学生 8. 無職 9. その他()
ホ. 家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居(親と同居) 4. 二世帯同居(子と同居) 5. 三世帯同居 6. その他()
ヘ. 同居家族に高校生以下の子どもは	1. いる 2. いない
ト. 同居家族(自身を含む)に65歳以上の方は	1. いる 2. いない
チ. インターネットを利用していますか(パソコン・携帯電話などを含む)	1. 利用している 2. 現在は利用していないが、今後利用したい 3. 現在も利用していないし、将来利用する見込みもない
リ. 市の情報を主にどこから得ていますか(主なもの3つまで)	1. 市報よこて 2. 市のホームページ 3. 市議会議員や市職員など市政運営に関わりのある人 4. 市発行のチラシや回覧 5. 横手かまくらFM(ラジオ) 6. 市のフェイスブック 7. その他()

市の施策に関連した意識や行動などについて

次の質問項目ごとに、あなたに該当する番号を選んで○をつけてください。
質問項目によっては、具体的な内容を記載いただく場合もあります。

【住みよさ・定住意向について】

問1. 横手市は住みやすいまちだと思いますか。(○はひとつ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい

「3」または「4」と回答された方は、その理由をお書きください。

問2 これからも横手市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 今の地域に住み続けたい
2. 市内の別の地域に移りたい
3. 県内の別の市町村に移りたい
4. 県外に移りたい

問3 横手市に愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

1. 感じる
2. 少しは感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

【健康・地域福祉について】

問4 ご自身の健康状態をどう感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. とても健康だと思う | 2. 健康なほうだと思う |
| 3. あまり健康ではないと思う | 4. 健康ではないと思う |

問5 健康のため、特に気を付けていることはありますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分な睡眠 | 2. 栄養バランスの良い食事 |
| 3. 食事の量 | 4. 塩分の摂取量 |
| 5. お酒を飲む量 | 6. たばこを吸わない |
| 7. 歯の健康 | 8. なるべく体を動かす |
| 9. 特に気を付けていない | |

問6 横手市は、障がいがある人もいきいきと暮らすことのできるまちだと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そうは思わない |
| 5. わからない | |

問7 横手市は、高齢者が安心して暮らせる「地域での助け合い・支え合いの体制」ができていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. できている | 2. どちらかといえばできている |
| 3. どちらかといえばできていない | 4. できていない |
| 5. わからない | |

問8 過去1年間にボランティア活動を行いましたか。(〇は1つ)
(有償・無償、個人・団体を問いません。地域での奉仕活動を含みます。)

1. 行った
2. 行っていない

【学び・スポーツについて】

問9 横手市の子どもたちにとって、安全・安心で充実した学校教育環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そうは思わない
5. わからない

問10 普段、何らかのスポーツや運動をしていますか。(〇は1つ)
(ウオーキングや体操、ヨガなどの運動を含みます。)

1. 週に2回以上している
2. 週に1回程度している
3. 月に1回程度している
4. 数か月に1回程度しかしていない、または、していない

問11 過去1年間に、スポーツ大会やスポーツ教室など、ご自身が体を動かすイベントに参加しましたか。(〇は1つ)
(市、NPO、民間等、主催者の別は問いません)

1. 参加した
2. 参加しなかった

問12 過去1年間に、市内で芸術・文化に触れる機会がありましたか。実際に体験した機会に○をつけてください。(〇はいくつでも可※「4」の場合を除く)

1. 自ら芸術・文化活動に参加した
2. 演劇やコンサート鑑賞、美術館・資料館などに足を運んだ
3. その他()
4. 機会がなかった

問13 過去1年間に、生涯学習（※）の活動を行いましたか。（○は1つ）

1. 行った
2. 行わなかった

※生涯学習 … 生涯にわたって行う学習活動（文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動、趣味・レクリエーション活動など）

問14 普段、本（電子書籍を含む）を読みますか。（○は1つ）

1. 読む（1カ月に_____冊程度）
2. たまに読む（2～3カ月に1冊程度）
3. まったく読まない、または、ほとんど読まない（年0～2冊程度）

問15 郷土の歴史・文化財・伝統文化をどのくらい知っていますか。（○は1つ）

1. よく知っていると思う
2. まあまあ知っていると思う
3. あまり知らないと思う
4. 知らないと思う

問16 次の項目について、満足度をお聞かせください。（○はそれぞれ1つ）

項 目	現在の満足度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満
1 生涯学習の機会とその情報提供	4	3	2	1
2 公民館や交流センター等の数や設備	4	3	2	1
3 スポーツ大会やイベント、スポーツ教室への参加機会とその情報提供	4	3	2	1
4 スポーツ施設の数や設備	4	3	2	1
5 芸術・文化活動の機会とその情報提供	4	3	2	1
6 芸術・文化施設の数や設備	4	3	2	1

問20 過去1年間に、防災訓練に参加しましたか。
(○はいくつでも可 ※「5」の場合を除く)

1. 町内会、自治会、自主防災組織等の地域団体
2. 事業所(職場)
3. 学校
4. その他()
5. 参加していない

問21 お住まいの地域の消防・救急体制に、どのくらい安心できますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 安心している | 2. ほぼ安心している |
| 3. やや不安を感じている | 4. 不安である |

問22 環境に負荷を与えないために、暮らしの中で環境に優しい行動をしていますか。
(○は1つ)

1. 意識して行動している
2. 行動していない

「1」と回答された方にお聞きします。

どんな行動をしていますか。(○はいくつでも可)

1. 電気製品の電源をこまめに切ったりコンセントを抜いたりしている
2. エコ・省エネ製品を買うようにしている
3. エアコン等の室内温度の設定に注意している
4. 冷暖房が必要なときは、集まって過ごすようにしている
5. 節水や、風呂の残り湯等の再利用に努めている
6. ごみの減量と分別・適正排出に心がけている
7. 車の運転は、エコドライブを心掛けている
8. 緑のカーテンに取り組んでいる
9. 省エネ等の講習会に参加したり、家庭で話題にしたりしている
10. 食べ残しや食材の余りなど(食品ロス)を出さないように心がけている
11. その他()

問23 あなたのご家庭では、再生可能エネルギー設備（※）を設置していますか。
または、設置する予定はありますか。（○は1つ）

1. すでに設置している
2. 今後1年以内の設置を予定している
3. 将来的には設置したいと考えている
4. 設置の予定はない

※再生可能エネルギー設備 … 太陽光発電、風力発電、小水力発電等の発電設備
や地中熱利用システム、木質ペレットストーブ
など

【産業・雇用について】

問24 普段から「地産地消（※）」を意識した生活を送っていますか。（○は1つ）

- 1. 意識している
- 2. やや意識している
- 3. あまり意識していない
- 4. 意識していない

※地産地消 … 地元で生産された農林水産物を地元で消費する取り組み

関連して、すべての方にお聞きします。地産地消のメリットとして、印象や実感に近いものはどれですか。（○はいくつでも可）

- 1. 安全・安心である
- 2. 価格が安い
- 3. 旬な食材が手に入る
- 4. 新鮮な食材が手に入る
- 5. 健康意識の向上
- 6. 地域の農林水産業の振興
- 7. 地域の活性化
- 8. 食料自給率の向上
- 9. 物流距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる

問25 あなたは、下記の品物等を主にどこで購入しますか。

（ ）内に、該当する数字を1つずつ記入してください。

- （ ）食料品・飲料 （ ）日用品・生活雑貨 （ ）衣料品
- （ ）靴、かばん （ ）家具 （ ）家電製品
- （ ）書籍 （ ）外食

※次から1つ選んで、その番号を（ ）の中に記入してください。

- 1. 市内の個人商店や小規模な専門店
- 2. 市内のスーパーマーケット
- 3. 市内の大型専門商業施設（ドラッグストア、ホームセンターなどを含む）
- 4. 市内の大型複合商業施設（イオン、ラッキー、トラストなど）
- 5. 県内の他の市町村
- 6. 県外
- 7. 通信販売（インターネット、テレビショッピングなど）
- 8. その他（コンビニなど）

問26 若者が、働きたい・働き続けたいと思うまちになるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 働きたいと思うような企業が多くできる
2. 志望する職種に就ける
3. 給与水準の向上
4. 地元就職のための情報提供
5. 地域経済の活性化
6. 横手市の風土や暮らしへの愛着
7. 就職活動にかかる時間や費用の負担軽減
8. 奨学金の返済に対する助成
9. 余暇を楽しむ場所が多くできる
10. その他 ()

【雪対策と道路交通について】

問27 横手市の雪対策事業について、あなたの満足度をお聞かせください。
(○はそれぞれ1つ)

項 目	現在の満足度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満
1 市道のうち幹線道路（主な集落を結ぶ幅の広い道路）の除排雪	4	3	2	1
2 市道のうち生活道路（幹線道路以外の道路）の除排雪	4	3	2	1
3 歩道の除排雪	4	3	2	1
4 大雪に関連する道路状況や除雪に関する情報提供	4	3	2	1

問28 横手市の道路と道路交通について、あなたの満足度をお聞かせください。
(○はそれぞれ1つ)

項 目	現在の満足度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満
1 自動車通行の円滑さ	4	3	2	1
2 市道のうち幹線道路（主な集落を結ぶ幅の広い道路）の整備状況	4	3	2	1
3 市道のうち生活道路（幹線道路以外の道路）の整備状況	4	3	2	1
4 市道の交通安全対策（カーブミラー、ガードレール、街路灯、歩道や側溝など）	4	3	2	1

【移動・公共交通について】

問29 日常生活を送る上で、移動に不便を感じていますか。(〇は1つ)

1. 不便を感じている
2. やや不便を感じている
3. あまり不便を感じていない
4. 不便を感じていない

「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

市内の移動における、あなたの主な交通手段は何ですか。(〇は1つ)

1. 徒歩や自転車
2. 自分が運転する自動車
3. 自分以外の人が運転する自動車
4. 鉄道・路線バス・タクシー
5. コミュニティバス・循環バス・デマンド交通
6. その他()

※コミュニティバス：平鹿・山内・大森（冬季のみ）地域で市が運行するバス
 循環バス：横手地域で市街地を循環しているバス（よこまるくん）
 デマンド交通：予約に応じて運行する乗合タクシー（のりあいくん）

問30 公共交通について、あなたの満足度をお聞かせください。(〇はそれぞれ1つ)

項 目	現在の満足度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満
1 路線バスの本数や経路等の便利さ	4	3	2	1
2 鉄道の本数等の便利さ	4	3	2	1
3 駅や主要なバス停での乗り換え (電車・バス・タクシー等へ)の便利さ	4	3	2	1

【まちなみ・景観について】

問31 横手市のまちなみや景観が、調和や秩序が保たれた形で形成・保全されていると思いますか。(〇は1つ)

1. よく形成・保全されていると思う
2. まあまあ形成・保全されていると思う
3. あまり形成・保全されていないと思う
4. 形成・保全されていないと思う

【上水道について】

問32 市の水道水を直接飲んでいきますか。(〇は1つ)

1. 直接飲んでいる
2. 浄水器等を利用して飲んでいる
3. 直接飲むことは少ない
4. 直接飲まない
5. 自家(地下)水を飲んでいる

【公園・緑地について】

問33 お住まいの地域にある公園や緑地(トイレ、東屋、遊具等を含む)は、適正に維持管理されていると思いますか。(〇は1つ)

1. よく維持管理されていると思う
2. まあまあ維持管理されていると思う
3. あまり維持管理されていないと思う
4. 維持管理されていないと思う
5. わからない

【地域社会・コミュニティについて】

問34 過去1年間に、町内会等の地域活動や行事に参加しましたか。(○は1つ)

1. 参加した
2. 参加しなかった

「1」と回答された方にお聞きします。
どんな活動に参加しましたか。(○はいくつでも可)

1. 文化・学習活動(伝統行事を含む)
2. 健康・スポーツ活動
3. 老人クラブ活動
4. 子ども会活動
5. 環境美化活動
6. レクリエーション活動
7. 防災訓練
8. 防犯活動(防犯パトロール等)
9. 学校活動への協力
10. その他()

【男女共同参画について】

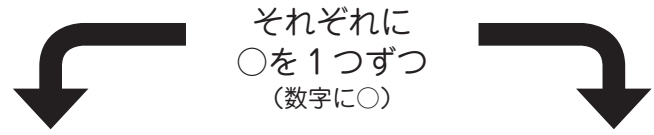
問35 ご自身の実感として、横手市が性別に関わらずみんなが活躍できる「男女共同参画社会」になってきていると思いますか。(○は1つ)

1. 思う
2. やや思う
3. あまり思わない
4. 思わない

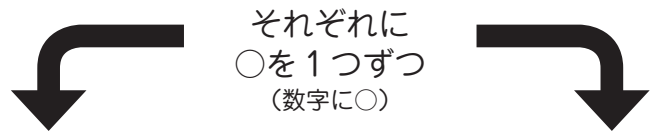
「3」または「4」と回答された方にお聞きします。
どのような場面でそう思いますか。(○は1つ)

1. 家庭生活
2. 職場
3. 地域活動
4. その他()

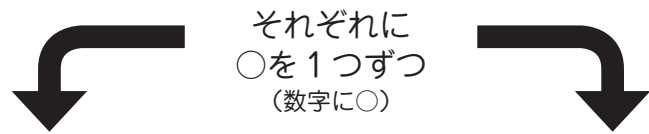
問36 まちづくりの各分野への「重要度」と「満足度」をお聞きします。
 (「重要度」と「満足度」それぞれに○を1つずつ)



項目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	重要あまりでない	重要でない	重要全くでない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
1 児童福祉（子育て支援）の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
保育所等の運営や支援、学童保育、相談窓口、ひとり親家庭への支援、医療費助成制度（マル福）、母子保健事業												
2 保健活動・健康づくりの推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
健康診断、「健康の駅」事業、生活習慣病の予防活動（栄養指導等）、心の健康保持と自殺予防、公立病院の運営												
3 高齢者福祉の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
雪下ろしや雪寄せなどの生活支援、老人クラブ活動への支援、介護サービスや介護予防活動												
4 障がい者（児）福祉の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
義足などの補装具の支給、就労支援、医療費助成制度（マル福）、障がい者関係施設の運営												
5 低所得者福祉の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生活保護制度の運用と自立のための相談援助、生活困窮者への相談・指導、市営住宅の運営と管理（維持修繕）												
6 地域福祉の向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
社会福祉協議会・民生児童委員・ボランティア団体等の活動支援、災害時を含めた地域の支えあい体制の構築												
7 学校教育の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
特色ある学校教育・食育・情報モラル教育の推進、不登校等のスクールカウンセラー配置、教育扶助や奨学金貸付												
8 教育環境の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
適正な規模による学校教育環境の整備（学校統合）、学校施設の長寿命化対策、スクールバスの更新と安全な運行確保												
9 スポーツ・レクリエーションの振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生涯スポーツの推進（チャレンジデーなど）、体育施設の運営管理、各種スポーツ大会やイベントの開催												

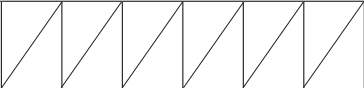


項 目	重 要 度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	重要でない あまり	重要でない	重要でない 全く	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
10 生涯学習の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生涯学習施設を中心とした講座等による学習機会の提供、社会教育団体の活動支援、公立図書館の運営と施設管理												
11 地域文化の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
後三年合戦関連史跡など文化財の保存・活用、シンポジウムの開催、埋蔵文化財の発掘調査、各資料館の運営・管理												
12 交通安全・防犯対策の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
交通指導隊や防犯指導隊の活動、交通安全施設等の整備、「よこて安全・安心メール」の運用、無料法律相談等												
13 自然環境と快適な生活環境の保全	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
森林環境整備、動植物の生態系に配慮した水辺空間の保全と水質調査、ごみの不法投棄監視、公害防止等の取り組み												
14 消防・防災体制の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
消防車両の更新、防火水槽・消火栓設置、消防団活動と機材の配備、防災訓練、救急救命士養成、各種防災計画の策定												
15 環境保全政策の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
クリーンプラザよこての運営（ごみ収集事業）、堆肥センター運営、分別によるごみの減量化と資源化の徹底												
16 省エネ・地球温暖化防止活動の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
公共施設へ再生可能エネルギーの導入、街路灯のLED化、クールビズ・ウォームビズ等の啓発活動												
17 農林業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
新規就農者や担い手の育成支援、基盤整備、農産物の6次産業化支援、地産地消や食育への取り組み、間伐の実施												
18 商業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地域商店街への支援（賑わいや販売促進イベント、空き店舗活用）、起業や創業のための事務スペース提供等の支援												
19 工業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地元企業が行う技術力向上や販路拡大への取り組みに対する支援												



項 目	重 要 度						現 在 の 満 足 度					
	非 常 に 重 要	重 要	や や 重 要	重 要 あ ま り で な い	重 要 で な い	重 要 で な い 全 く	非 常 に 満 足	満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満	非 常 に 不 満
20 観光の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
観光協会等観光推進団体との連携・支援、誘客増加に向けた観光施策の企画と実施、地元産品の物産振興												
21 企業誘致の推進と雇用対策	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
県等と連携した企業訪問、進出企業へのきめ細かな支援、市内企業への人材育成支援を通じた若者定着												
22 雪対策の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
歩車道の除排雪、地域の除排雪設備等への支援、大雪時等の情報提供の充実												
23 道路網の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
市道の新設や拡幅、市道や橋の維持管理、スマートインターチェンジ設置、国道や県道に関する要望活動												
24 公共交通機関の利便性の向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
高齢者等の移手段の確保（不採算バス路線への支援、デマンド交通・コミュニティバス・循環バス等）												
25 市街地等各拠点地区の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
増田地区の伝統的町並みの保存、横手駅周辺地区の整備、適正な土地利用のための規制と誘導、景観保全												
26 上水道の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
老朽化した管路の更新や耐震化、安全でおいしい水供給のための水源水質管理												
27 下水道等の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
下水道施設や農業集落排水施設の整備、浄化槽設置に対する助成、下水道への加入促進												
28 公園・緑地の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
公園・緑地等（トイレ・遊具等含む）の維持管理、墓地公園の整備、市民との協働による施設管理の推進												
29 市民との協働・活動支援	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地区会議や地域づくり協議会の設置、地域活動への支援、町内会館や集会施設の整備に対する補助												

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

項 目	重 要 度						現 在 の 満 足 度					
	非 常 に 重 要	重 要	や や 重 要	重 要 あ ま り で な い	重 要 で な い	重 要 全 く で な い	非 常 に 満 足	満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満	非 常 に 不 満
30 男女共同参画社会づくりの推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
啓発活動（優良事業所・事例紹介）、DV（ドメスティックバイオレンス）防止キャンペーンの実施												
31 広報・広聴の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
多様な媒体を活用した市政情報や市の魅力の発信、市民からの意見募集、公文書等情報公開												
32 他自治体等との連携・交流の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
近隣自治体（北上市等）や友好都市（厚木市・那珂市）との交流、地域のふるさと会、国際交流												
33 成果重視の行政運営の確立	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
行政改革の推進、行政評価制度の導入、組織機構の見直し、行政サービスの向上とコスト削減												
34 市職員の資質向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
「市民の立場で考え、変革しつづける職員」の育成を目指し、職員の研修の充実等を実施												
35 横手市の取り組み全般の満足度							6	5	4	3	2	1
横手市の取り組みの総合的な満足度について、あなたのお考えに近いものを選んでください												

◆最後に市に対するご意見・ご提案・ご感想などございましたら下欄にご記入ください。

以上でアンケートは全て終了です。
ご協力ありがとうございました。



横手市